アラウーノ専用手洗い（連動水栓）

使いかたガイド

GHA7R2E 系／ CH110TFE 系／ CH110TE ／ GHA8T2E 系

アラウーノ専用手洗い（連動水栓）を
お買い上げいただいたお客様へ
この使いかたガイドは、取扱説明書とともに大切に保管してください。

便器洗浄と連動して水が出る

約7秒後※に水が止まります。

●止／出ボタンを押しても止まります。



水が出ないときは

●手洗い有無の設定を「有」にしてください。
リモコンのボタンを同時に2秒以上押すごとに切り換わる。

CH160：パワー脱臭 と 便座

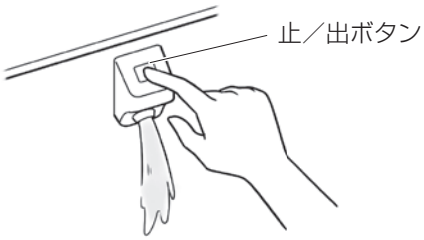
CH1602＊G(スティックリモコン)：  と 

ブザー音が鳴ります。 「無」（ピー）⟷「有」（ピ）

止／出ボタンを押して水を出す

もう一度押すと止まります。

●約1分後※に自動で止まります。



※出荷時初期設定時間（時間変更 は裏面参照）

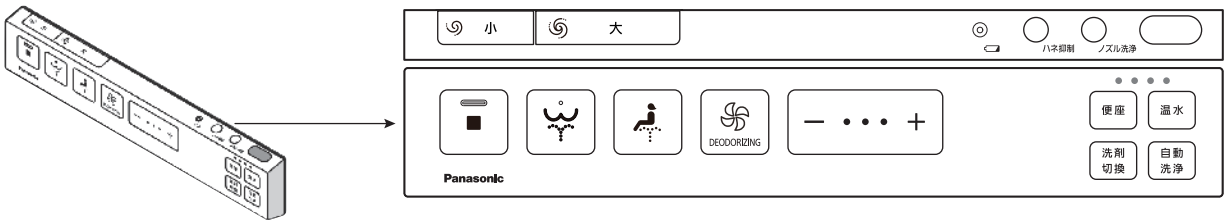
設定方法

アラウーノのリモコンで設定する。

フラットリモコン



スティックリモコン



イラストは、CH1601の場合で説明しています。

裏面へつづく

イラストは、CH1601の場合で説明しています。
CH1602＊Gの場合は、本体取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

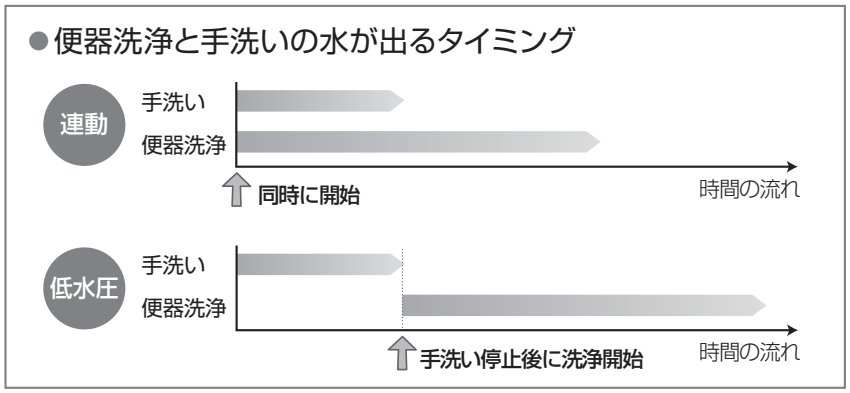
手洗い連動モード

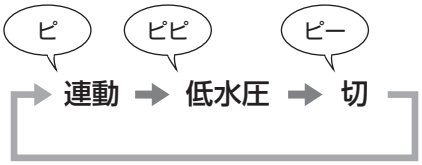
（出荷時設定：連動）

「連動」を設定すると、便器洗浄と連動して手洗いの水が自動で出ます。
便器洗浄の勢いが弱い場合、**「低水圧」**に設定してください。手洗いの水が止まってから便器洗浄します。

温水 と ノズル除菌 を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

CH1602*G（スティックリモコン）の場合は「小洗浄」と「おしり」ボタン。





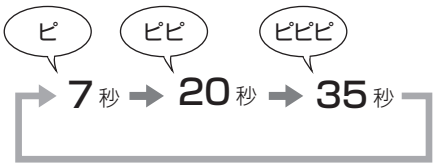
手洗い停止時間（連動）

（出荷時設定：約7秒）

便器洗浄と連動して手洗いの水を出す場合、
自動で水が止まる時間を変更することができます。

強 と ノズル除菌 を同時に2秒以上押すごとに、
時間が切り換わる。

CH1602*G（スティックリモコン）の場合は「大洗浄」と「+」ボタン。



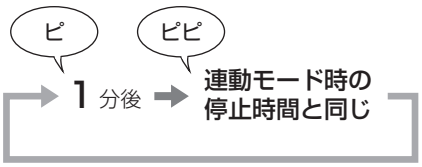
手洗い停止時間（止／出ボタン）

（出荷時設定：約1分後）

止／出ボタンで手洗いの水を出す場合、
自動で水が止まる時間を変更することができます。

便座 と ノズル除菌 を同時に2秒以上押すごとに、
時間が切り換わる。

CH1602*G（スティックリモコン）の場合は
「大洗浄」と「DEODORIZING（パワー脱臭）」ボタン。



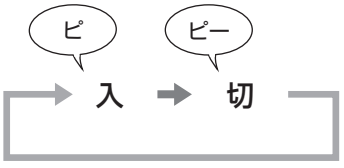
着座時連動設定

（出荷時設定：入）

便座に座った状態で便器洗浄した場合、手洗いの水を自動で出すか
出さないかを設定することができます。

弱 と ノズル除菌 を同時に2秒以上押すごとに、
設定が切り換わる。

CH1602*G（スティックリモコン）の場合は「大洗浄」と「−」ボタン。



※「切」を設定した場合、着座中は便器洗浄と連動しませんが、 止／出ボタンで
手洗いの水を出すことができます。

Panasonic

取扱説明書

温水洗浄一体型便器

全自動おそうじトイレ

アラウーノ

CH1601/CH1602



品番一覧



フラットリモコン	
床排水	壁排水
CH160∗WS□(K)(7)(L)	CH160∗PWS□(K)
CH160∗WSY(7)	CH160∗WSY
CH160∗WSX	CH160∗PWSX

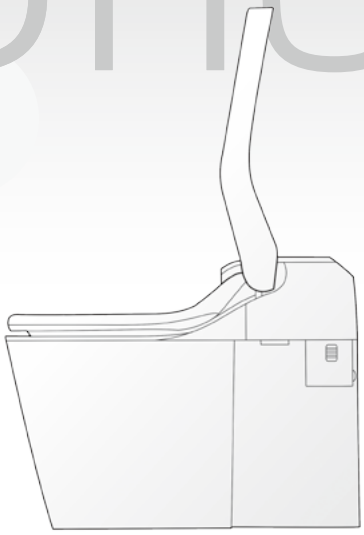


スティックリモコン	
床排水	壁排水
CH160∗WS□■(K)(7)(L)	CH160∗PWS□■(K)
CH160∗WSY■(7)	CH160∗WSY■
CH160∗WSX■	CH160∗PWSX■

∗……アプリ対応あり：1／アプリ対応なし：2
■……リモコンが白色：S　リモコンが黒色：B
□……アルファベットが入る場合があります
(7)…寒冷地仕様
(L)…タイル床仕様

A·La·Uno

◎このたびは、アラウーノをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
◎取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
◎ご使用前に「安全上のご注意」(4〜7ページ) を必ずお読みください。
◎保証書は「お引き渡し日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



使いかた・お困り時お役立ち情報

トイレ お客様サポート (CH160)

●アラウーノ製品本体にもQRコード∗が記載されています。ぜひご利用ください。



お手入れ・使いかた動画

※読み取りに対応していない端末もあります。

【パソコンから閲覧】 https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/ch160/
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/operation/body/#Anchor07

保証書別添付

∗パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をしてください。
（詳しくは18ページをご参照ください。）

全自動おそうじトイレ アラウーノとは？

流すたびに“泡”でおそうじ

「洗剤タンク」に洗剤を入れると、便器洗浄するたびに泡が出ます。細かい泡が便器内をめぐり、おそうじします。



どんな洗剤を入れたらいいの 26ページ

洗剤はどこに入れるの

泡が出ないとき 42ページ

停電や断水のときは使えるの 30ページ





水あかをはじく スゴピカ素材（有機ガラス系）

陶器と違い、汚れの原因「水あか」が固着しにくい素材でできています。

お手入れはどうするの 20ページ

便ふたにも便座にもさわらず流せる自動機能 (CH1601のみ)

あちこち触らずに自動で便ふた開閉。
さらに「クローズ洗浄モード」では便ふたを閉じた後に便器洗浄するから、清潔に使えます。

機能の設定を変えるには 14ページ

クローズ洗浄モード

基本の使いかた(詳細は 16 ページ)

1 トイレルームに入る

人が近づくと**人体検知センサー**[*1]が働き

- **便ふたが開く**
  (CH1601のみ)



2 便座に座る

- **オート脱臭**
  においを自動で脱臭します。

3 便座から立ち上がる

- **オート脱臭**
  着座時の約 1.5 倍の風量で強力に脱臭します。(約 1 分間)

約10秒後・・・

- **自動便器洗浄**
- **クローズ洗浄モード**
  便ふたが閉じてから便器洗浄を行います。
  (CH1601のみ)

4 トイレルームから出る

約3分後・・・

- **便ふたが閉じる**
  (CH1601のみ)



スマートフォン連携で便利に、快適に（CH1601のみ）

専用アプリで便利と健康をサポートします。

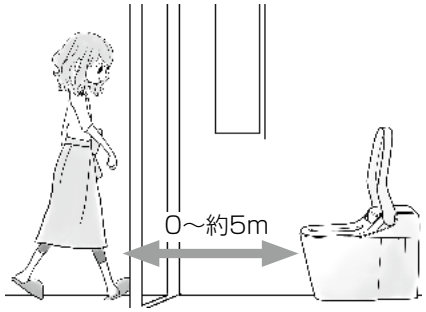
どんなことができるの

＊1 人体検知センサーについて（CH1601のみ）

- 人体検知センサーは便座先端より正面距離約５ｍまで検知します。
  （検知距離は冬場は長く、夏場は短くなります。）
- 室温が約 30℃を超えると人と周囲の温度差が少なくなり、検知しにくくなります。

人体検知センサーによる動作：自動便ふた開

人体検知センサー検知エリア



- 人体検知センサーは、人がトイレルームに不在の状態から入室したことを検知して働きます。
  電源プラグを差し込んだときや、自動便ふた開設定を「入」にした直後など、人がトイレルームに居続けている状態では働きません。
  （急に便ふたが開くことがないようにするためです）
  また、トイレルームの周囲環境（窓から入る太陽光や風、静電気、電気的ノイズなど）によっては、人が入室していなくてもセンサーが働く場合があります。

<トイレルームにセンサー付き照明を使用している場合>

- 便座や便ふたが自動で閉じる際に、センサー付き照明が点灯することがあります。
  その場合は、センサー付き照明の点灯時間を６分以上に設定してください。

もくじ

はじめに

- 安全上のご注意 …… 4
- 知っておいていただきたいこと …… 8
- 準備する …… 9
- 各部のなまえと機能（本体） …… 10
- 各部のなまえと機能（リモコン） …… 12

使いかた

- 機能の設定変更 …… 14
- 基本の使いかた …… 16
- アラウーノアプリ（CH1601のみ） …… 18

お手入れ

- お手入れカレンダー …… 20
- おすすめの洗剤と道具 …… 21
- 基本のお手入れ（便器外側、便器内側、洗浄ノズル） … 22
- 気になる汚れ（洗浄ノズル、水たまり面） …… 23
- 気になる汚れ（カビなどの黒ずみや黄ばみ） …… 24
- 気になる汚れ（脱臭フィルター、脱臭吸込口、電源プラグ） …… 25
- 洗剤を補充する …… 26
- 便ふたの取り外しかた …… 28

こんなときは

- 便器が詰まったとき …… 29
- 停電や断水で水が流れないとき …… 30
- 長期間使用しないとき（７日以上） …… 34
- 水の流れが悪いとき …… 36
- 凍結を防ぐ …… 37
- 故障かな？ …… 39

おわりに

- 定格・仕様 …… 44
- 著作権など …… 45
- 保証規定 …… 45
- 定期点検 …… 46

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

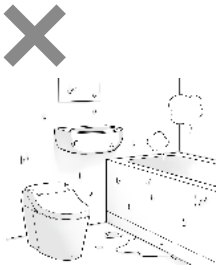
⚠警告

設置・工事に関すること

禁止

●浴室内など湿気の多い場所、水洗いできる床には設置しない（タイル床仕様を除く）

感電・火災・故障の原因になります。



必ず守る

●アース工事を確認する

アース工事がされていないと漏電のときに感電するおそれがあります。アース工事はお買い上げの販売店にご依頼ください。

●必ず上水道に接続する

ぼうこう炎や皮膚の炎症、機器の故障などを起こすおそれがあります。

全般

禁止

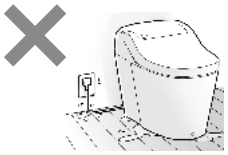
●絶対に分解したり、修理・改造はしない

感電・火災・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



●本体や電源プラグ・リモコンに水や汚水をかけない また水がかかったまま使用しない

感電・火災・けがの原因になります。



●本体・便座・便ふたに乗ったり、強い衝撃を加えない

製品が変形や破損（割れ）し、転倒してけがをするおそれがあります。



禁止

●本体を破損したり、故障したまま使用しない

感電・火災・けがの原因になります。

必ず守る

●化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師に相談する

身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

●低温やけどに注意する

●暖房便座を長時間使用する場合はやけどに注意する

便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

下記の方が、暖房便座を使用するときは、周囲の方が便座温度の設定を「低」にしてください。

・お子様　・お年寄り　・ご病人
・自分で温度調節のできない方　・皮膚感覚の弱い方
・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
・深酒、疲労の激しい方

●心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

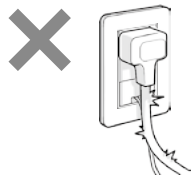
電源プラグ・コンセント

禁止

●ぬれた手で電源プラグを触らない

●傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
また電源コードを破損するようなことはしない

感電・火災・けがの原因になります。



●電源コードを無理に引っ張らない

けがや発火、発煙の原因になります。

必ず守る

●必ず交流100 Vで使用する

●コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●電源プラグは確実に根元まで差し込む

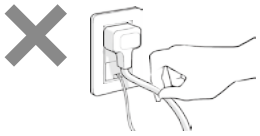
差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。

●電源プラグのほこりは定期的に取り除く

火災の原因になります。

●コンセントから抜く場合は必ず電源プラグを持つ

コードを引っ張ると破損し、感電・ショート・発火の原因になります。



電池

禁止

●電池は誤った使いかたをしない

- ●金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち込んだり、保管しない
- ●新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない
- ●加熱・分解したり、水や火の中に入れたりしない

感電・火災・爆発や電池の液漏れにより周囲汚損の原因になります。

必ず守る

●電池は正しく取り扱う

- ●⊕⊖は正しく入れる
- ●長期間使用しないときは機器から取り出しておく
- ●必ず指定の電池を使用する
- ●乳幼児の手の届かないところに置く
- ●使えなくなった電池はすぐに取り出す
- ●電池を破棄する場合、テープなどで絶縁する

電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

・万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
・液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗った後、医師に相談してください。
・万一液漏れが起きたときは、販売店にご相談ください。

アプリ対応あり

禁止

●自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

本体からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。近くに火災報知機などがある場合は、誤作動しないか確認してください。

●病院内や医用電気機器のある場所で使用しない

本体からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

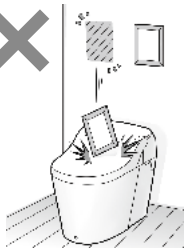
⚠注意

全般

禁止

●本体・便座・便ふたにかたい物を落とさない

変形・破損・水漏れの原因になります。



●本体ががたついたまま使用しない

水漏れや破損・転倒によるけがの原因になります。

●便ふた・本体の上に重い物や割れ物を置かない

落下破損によるけがや水漏れの原因になります。

●便ふたにもたれかからない

破損によるけがの原因になります。

禁止

●便器にたばこなどの火気を近づけない

便器が破損してけがをしたり、火災の原因になります。

●便器にヒーターなどを近づけすぎない

便器の変形・破損によるけがや水漏れ、火災の原因になります。特にハロゲンヒーータイプの暖房器具は、便器から1 m以上離してご使用ください。

●開口部から指や物を入れない

感電・やけど・火災の原因になります。

必ず守る

●便座、便ふた開閉時、指などをはさまないように注意する

けがの原因になります。

水漏れ防止

禁止

●給水ホースや排水管などに力を加えない

●給水ホースは故意に折り曲げない

●給水ホースが傷ついたり、ふくれたりしたまま使用しない

水漏れの原因になります。

●給水ホースに洗剤・薬品・芳香剤などをかけない

水漏れの原因になります。
付着したら水拭きで拭き取ってください。

禁止

●止水栓を開いたままストレーナを外さない

水が噴き出し拡大損害になります。

必ず守る

●ストレーナおよび温水タンク排水栓はしっかりと締め付ける

●ストレーナのねじ部に砂などの異物がないようにきれいに水洗いする

水漏れの原因になります。（36ページ参照）

お手入れ

禁止

●便器のお手入れには下記洗剤を使用しない



製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。（21ページ参照）

【使用してはいけない洗剤】

- ●酸性洗剤　●アルカリ性洗剤 *1
- ●重曹、アルコールを含む洗剤 *2
- ●トイレ掃除用ペーパー *3
- ●オレンジオイルを含む洗剤
- ●柑橘系の香りを有する洗剤
- ●消臭剤　●滴下するタイプの消臭液
- ●苛性ソーダや強塩酸などの薬品
- ●シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1… 湿布法（24ページ参照）でお手入れを行う場合は使用可能です。
*2… エタノール、イソプロピルアルコールなど
*3… 花王製トイレクイックルは使用可能です。（当社試験により確認済み）

●掃除の際に、電源コードを屈曲させない

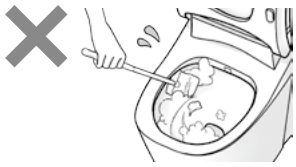
コード内の芯線が断線し、異常発熱や発煙・発火の危険があります。

●便器に汚物・トイレットペーパー以外のもの（ナプキンなど）は流さない
一度に大量のトイレットペーパーを流さない

便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

●便器洗浄中に便器吐水口をブラシなどでふさがない

水漏れの原因になります。



●便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しない

便器から汚水があふれて室内浸水の原因になります。

●便器に熱湯（約80℃以上）をかけない

便器が割れて、水漏れの原因になります。

凍結防止

禁止

●凍結防止ヒーターを使用する場合は切タイマーを使用しない

便ふた部の結露で床をぬらす原因になります。

●不凍液を直接便器に入れない

便器の破損による水漏れの原因になります。
不凍液を使用する場合は、便器内のため水を排水し、不凍液を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。

必ず守る

●寒冷地以外の地域でも、冬場周囲温度が0℃以下になる場合は、施工業者に依頼して屋外配管・露出配管に凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する

凍結すると配管、便器内部が破損して水漏れの原因となります。（37ページ参照）

●凍結するおそれのある場合は、凍結防止を実施する

凍結すると配管、便器内部が破損して水漏れの原因となります。（37ページ参照）

・暖房するなどしてトイレを暖めてください。

知っておいていただきたいこと

●便座カバー、保温用便座シート、便ふたカバーは使用できません。

使用すると、便座便ふたが正常に開閉しない場合や、故障する場合があります。

●電動開閉の動作を手で止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。(CH1601のみ)

故障の原因になります。

●サイドカバーを外したまま使用しないでください。

外したまま使用すると、動作不良を起こす場合があります。

●なるべく深く後ろへ座ってください。

着座位置が前すぎると、おしり・ビデ洗浄水が飛び散りやすくなります。

●おしり・ビデ洗浄について

- おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- おしり・ビデとも洗浄時間は10秒～20秒を目安にご使用ください。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。
  ※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。
- おしり・ビデ洗浄中、本体部裏側のノズル根元付近から水が出ます。
  これは構造上必要なもので、故障ではありません。
- おしり・ビデ洗浄中に立ち上がると、数秒間洗浄水が出たままになります。必ずリモコンの (■ 停止) を押してから立ち上がってください。
- 一週間以上使用しないときは温水タンクの水を抜いてください。水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となります。

●温水タンクは約0.6Lです。

洗浄強さが「中」のとき約50秒使用すると、洗浄水温が低下します。

●直射日光を当てないでください。

直射日光が製品に常時当たる位置への設置はお避けください。
リモコン信号の受光部に強い日差しが当たると、信号が受信できず、動作しないことがあります。
また、製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。
日光が当たる場合は、カーテンなどで遮光対策をしてください。

●便器と温水洗浄便座は一体型で分離できません。

温水洗浄便座は専用部品です。市販の温水洗浄便座と組み合わせることはできません。

●水面から便器内部にホースやかたい物などを挿入しないでください。

故障の原因になります。

●水道水圧が足りないと便器洗浄水の勢いが弱くなり、排水不良や汚れの原因となります。

- 使用水道圧範囲は0.05 MPa(流動時)～0.75 MPa(静止時)です。
- アラウーノ専用手洗いユニットを併設する場合の使用水道圧範囲は0.1 MPa(流動時)～0.75 MPa(静止時)です。
- ストレーナにごみが残っている場合もあります。ご確認のうえ、清掃してください。(36ページ参照)
- シャワーなど他の水廻り製品と同時に使用された場合、洗浄水の水流が弱くなり、便器に汚物が残る場合があります。
- 上水道で加圧ポンプを使用している場合、便器洗浄の吐水が遅れる場合があります。

●レンジフードなどの換気時はトイレルーム内と排水管内との圧力差が生じないよう、窓を開けるなど十分な給気を行ってください。

給気が不十分な場合、便器洗浄時に飛まつがかかったり、排水管からにおいが逆流することがあります。

●シリコーン配合のヘアケア製品などを多く使用する周囲環境では洗浄不良(便器洗浄しない)などが起こる可能性があります。

シリコーン配合のヘアケア製品などの使用量を減らしていただくか、トイレルーム以外での換気を十分に行ってください。

●単独浄化槽の場合

マンホール部から泡が漏れる場合があります。(浄化槽の維持管理業者に相談し、消泡剤で泡を消すなどの対応をしてください。)

●排水管で「ピタ」「ピチャ」などの音が発生する場合があります

洗浄後に便器の封水を確保するために、配管内部の水が若干あふれる(オーバーフローする)仕組みになっており、その際に排水管で音が発生する場合があります。
故障ではありません。
このオーバーフローの音は、水圧変動や便器排水口の状態によっても変化することがあります。

●給水ホースが振動したら

洗浄中、給水ホースが振動したり、給水音が大きい場合があります。これは水道水圧が高いことによるもので、故障ではありません。この場合、止水栓を絞ってください。
(ただし止水栓を絞りすぎて洗浄性能が不十分とならないように注意してください。)

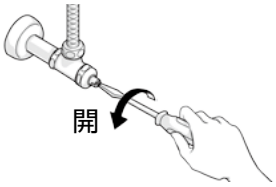


準備する

ご使用の前に、下記の内容を必ず確認してください。 ※イラストはフラットリモコンで説明しています。

1 止水栓を開く

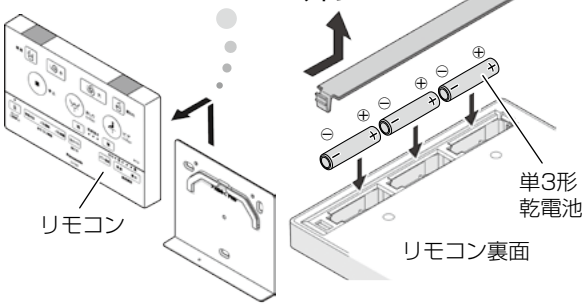
- 止水栓は開いていますか。閉じている場合は開いてください。
- 水漏れはありませんか。もし水漏れがあれば施工店にご連絡ください。



2 リモコンに電池を入れる

- 単3形乾電池(スティックリモコンの場合は単4形アルカリ乾電池)を3個ご使用ください。
- 電池の ⊕⊖ を正しく入れてください。
- 電池寿命は約1年です。交換するときは3個すべて新しい単3形乾電池(スティックリモコンの場合は単4形アルカリ乾電池)に交換してください。
- 長期間使用しないときは電池を取り出してください。

リモコンホルダーからリモコンを外し、*1 電池を入れてください。

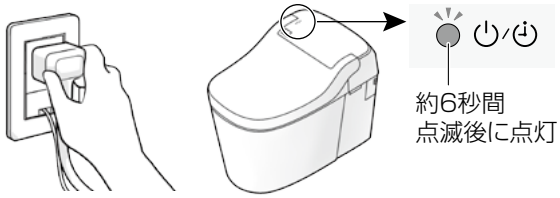


WEB サイトでもご覧いただけます。
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/s160/howto/battery.html

3 電源プラグをコンセントに差し込む

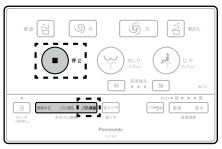
電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。

※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。



4 温水タンクへ給水する

便ふたを開け、ノズル除菌 を押す。


CH1601

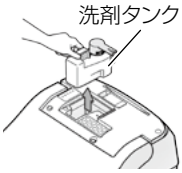
- 本体の温水タンクに給水を始めます。1分経っても水が出ない場合は、再度 ノズル除菌 を押して給水してください。
  それでも水が出ない場合は、水道の元栓または止水栓を開いてください。

水が出ることを確認し、■ 停止 を押す。

- 水が止まります。
- 洗浄水温は適温になるまで、約5～10分かかります。

5 洗剤タンクの確認をする

便ふたを閉め、洗剤タンクの状態を確認してください。
(トップカバーの外しかたは10ページ参照)



- 洗剤が入っているか確認してください。
  (補充方法は26ページ参照)
- 洗剤タンクが正しく取り付けられているか、確認してください。(取り付けかたは27ページ参照)

6 洗剤開始ボタンを押す

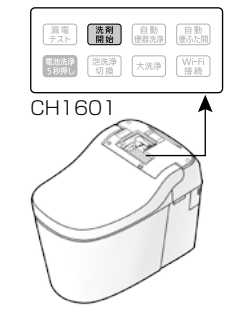
洗剤開始 を押す。

モーター音が鳴り、洗剤供給を開始します。

※約1～2分後「ピー」と鳴って、洗剤供給が終了してから次の作業を行ってください。

※この操作を完了させないと洗剤が投入されず、泡が出ません。

本体ボタン(CH1601)の場合



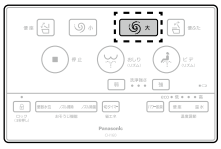
CH1601

7 便器洗浄面へ給水する

大 を押す。

排水動作後、便器洗浄面に給水し、泡が出ることを確認してください。

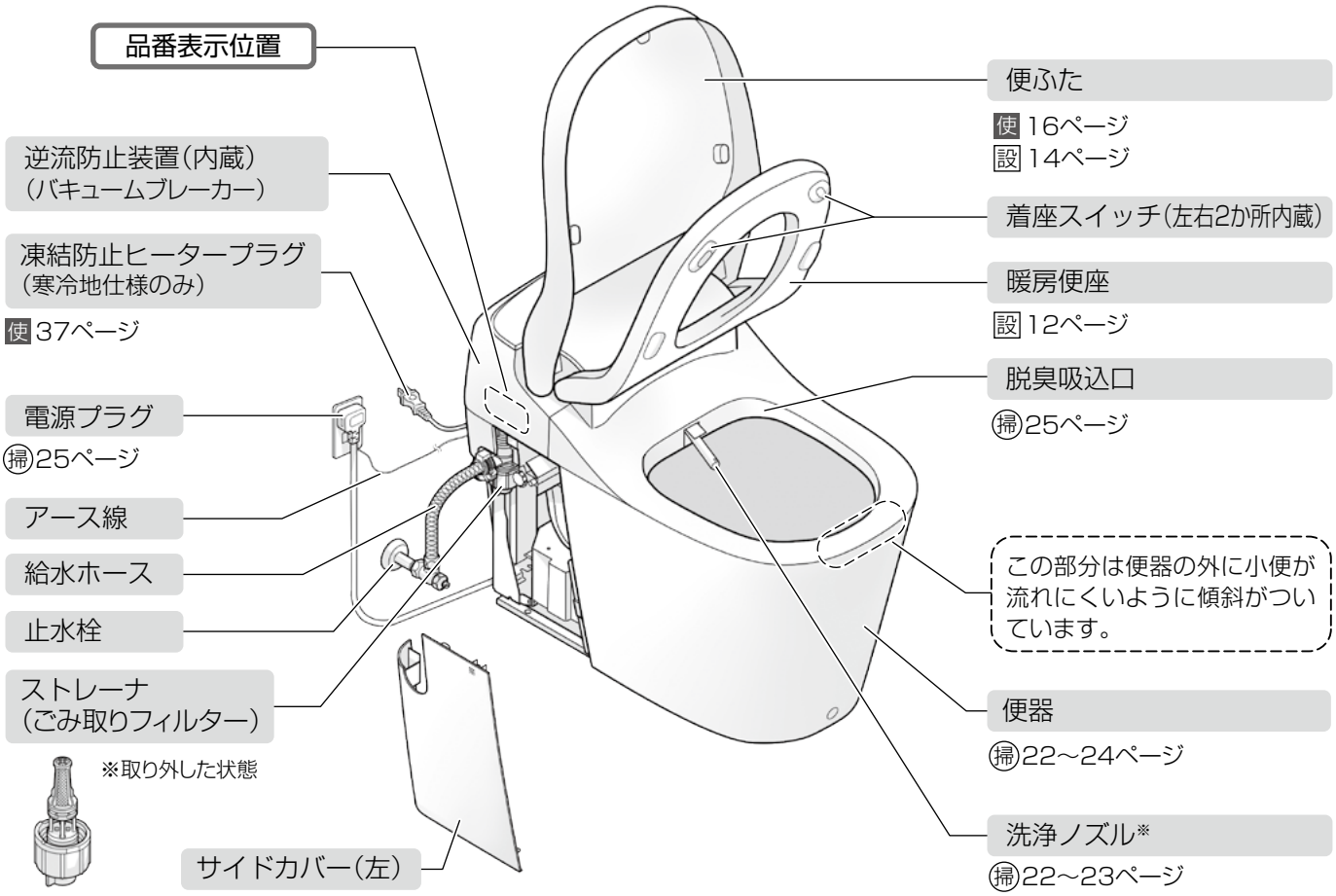
泡が出ない場合は、もう一度 洗剤開始 を押してください。


CH1601

各部のなまえと機能(本体)

使: 使いかた
設: 設定方法
掃: お手入れ

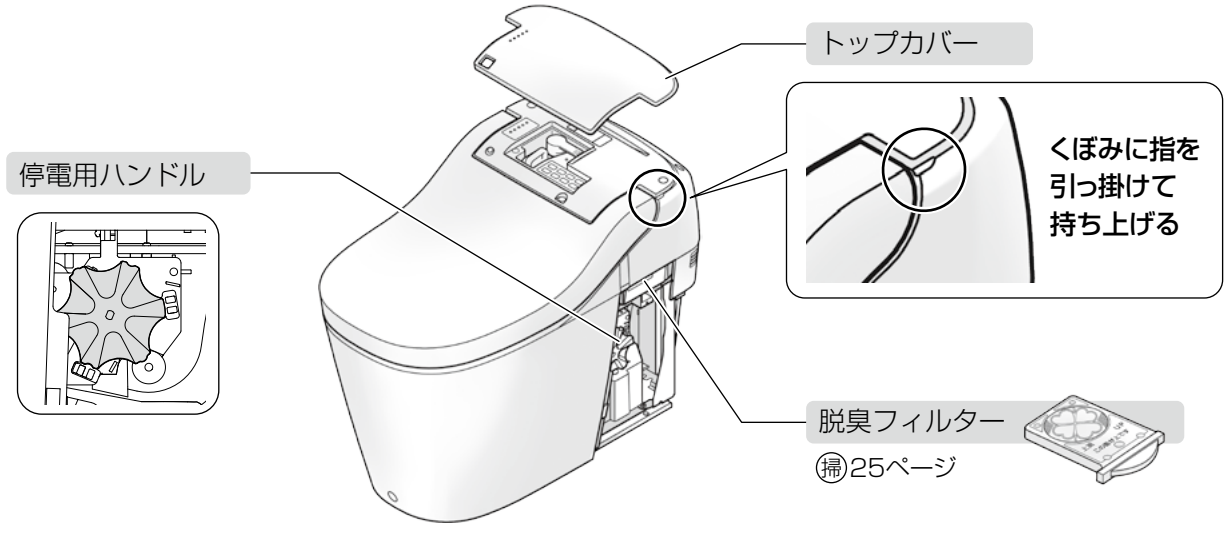
イラストはプランの一例です。プランにより形状・機能が異なります。



※説明書内のイラストは、参考のためすべての機能を表示しています。
※洗浄ノズルは説明のために、引き出した状態で表しています。

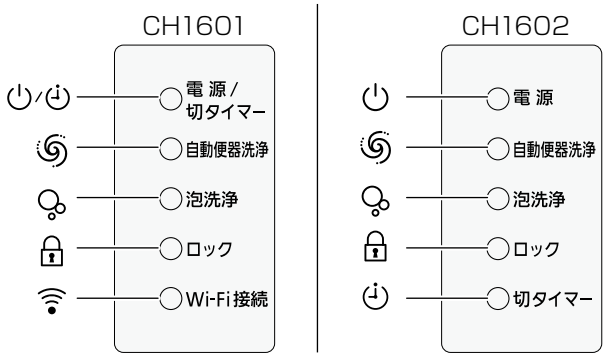
本体右側

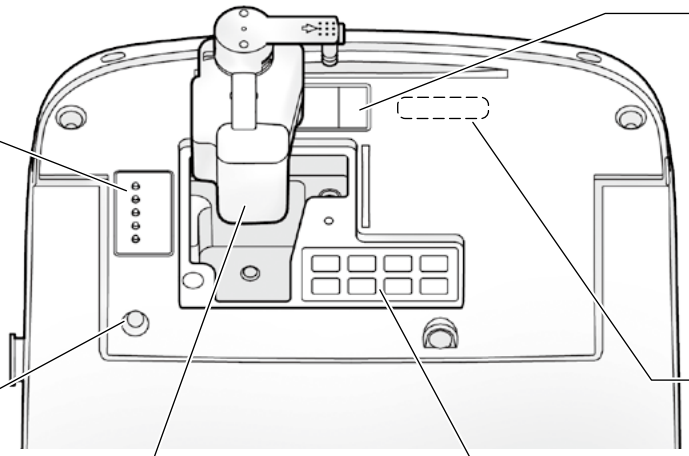
イラストはサイドカバー(右)を外した状態です。



本体表示部

電源ランプ以外は人がいないときに消灯します。
（CH1601のみ）
※機種によりランプの配置が異なります。





電池ホルダー*

使 30～31ページ

＊使用電池（別売品）
停電時に便器を排水するための電池です。
9V角形アルカリ乾電池はお近くの電器店·コンビニエンスストアなどでお買い求めください。

品番製造年表示位置

人体検知センサー
（CH1601のみ）

使 3ページ

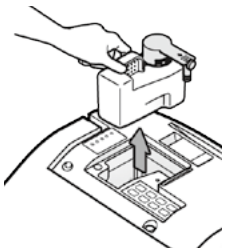
イラストはトップカバーを外した状態です。

洗剤タンク

掃 27ページ

取り外し

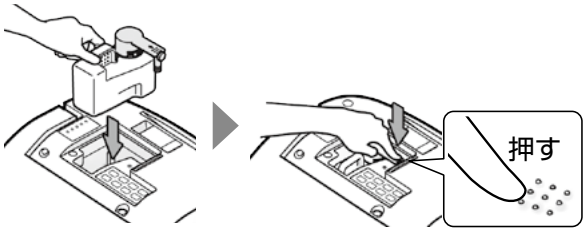
洗剤タンクの取っ手を持って、取り外す。



※洗剤が垂れた場合は必ず拭き取ってください。

取り付け

ホルダーにはめ込んで、洗剤タンクをしっかりと押し込む。



本体ボタン

漏電テスト
使 46ページ

洗剤開始
洗剤を補充した後に押してください。
掃 27ページ

電池洗浄 5秒押し
使 30ページ

泡洗浄切換
設 14ページ

自動便器洗浄
設 14ページ

（CH1601のみ）

自動便ふた開
設 14ページ

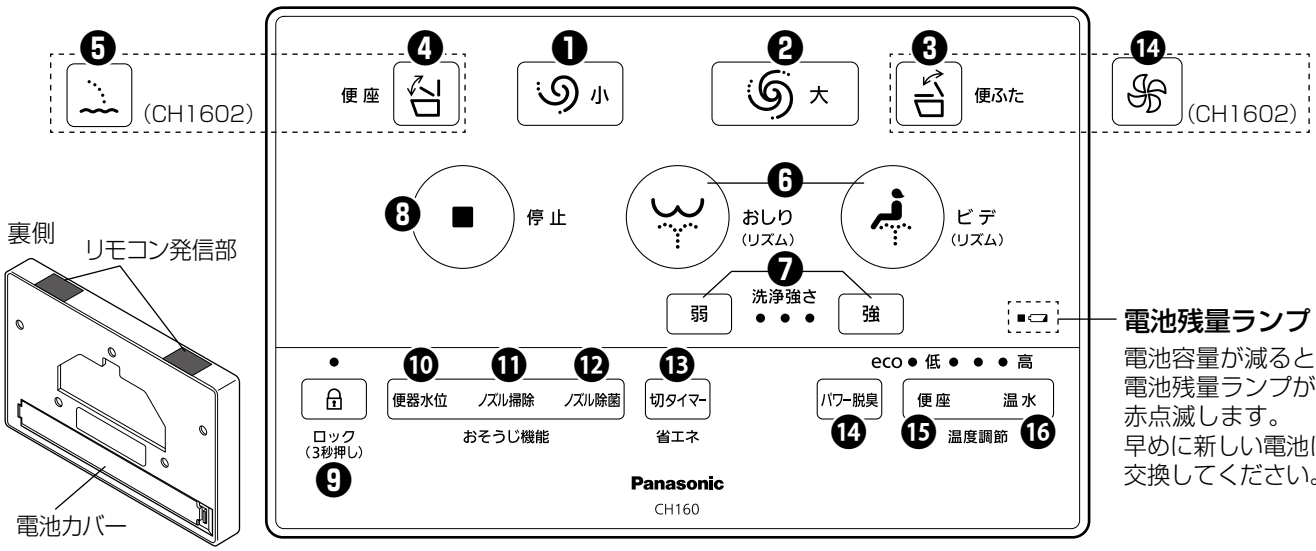
大洗浄
大洗浄を行います。

Wi-Fi接続
アラウーノアプリ接続時に使用します。アプリの接続については18ページ参照。

各部のなまえと機能(リモコン)

フラットリモコン (イラストは CH1601 の場合)

設定の変更は▶14～15ページ



便器洗浄

❶ 小洗浄
小用時やトイレットペーパー (目安 3m まで) を流すとき。

❷ 大洗浄
大便時やトイレットペーパーを流すとき。

便ふた・便座

❸ 便ふたの開閉(CH1601)
便ふたの開閉を電動で行います。

❹ 便座の開閉(CH1601)
便座の開閉を電動で行います。
便座を開くと、ハネ抑制が作動します。
設定に応じて水面が下がり、泡で覆われます。

❺ ハネ抑制(CH1602)
ハネ抑制が作動します。
設定に応じて水面が下がり、泡で覆われます。

⓮ パワー脱臭
着座中にオート脱臭(着座時)の約 1.5 倍の風量で強力に脱臭することができます。

⓯ 便座温度
便座の温度調整ができます。

eco ○ 低 ○ ○ ○ 高
eco ➡ 低 ➡ 中 ➡ 高 ➡ 切

おしり・ビデ洗浄

❻ おしり洗浄・ビデ洗浄
ノズルから温水が出て、洗浄します。
洗浄中にもう一度押すと、強弱を繰り返す**リズム洗浄**になります。

❼ 洗浄強さを変える
洗浄中、洗浄強さを3段階に調節できます。

1 2 3
弱い ⟷ 強い

❽ 作動している機能を停止します。

⓰ 温水温度
おしり・ビデ洗浄水の温度調整ができます。

eco ○ 低 ○ ○ ○ 高
eco ➡ 低 ➡ 中 ➡ 高 ➡ 切

お手入れ

⓫ ノズル掃除
洗浄ノズルのお手入れができます。

⓬ ノズル除菌
約 1 分間、洗浄ノズルを洗浄します。

その他

❾ チャイルドロック(3 秒以上押す)
主要ボタン以外にロックをかけます。
小さいお子様がいたずらしたり、誤ってボタンを押したりするのを防ぎます。

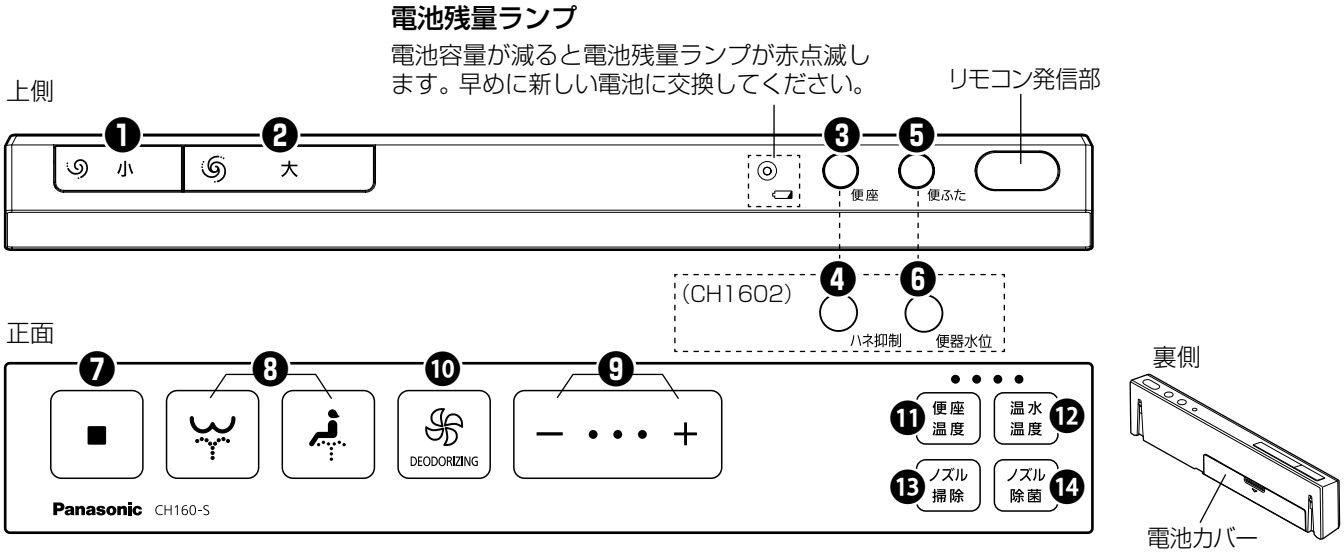
❿ 便器水位
便器の水位を約2～3cm下げることができます。
「大洗浄」または「小洗浄」を押すと元に戻ります。

⓭ 切タイマー
設定した時間に応じて暖房便座・温水温度を「切」の状態にすることができます。

WEB サイトでもご覧いただけます。
お客様サポート
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/s160/howto/#namaetokino

スティックリモコン

設定の変更は▶14～15ページ



便器洗浄

❶ 小洗浄
小用時やトイレットペーパー (目安 3m まで) を流すとき。

❷ 大洗浄
大便時やトイレットペーパーを流すとき。

便ふた・便座

❸ 便座の開閉(CH1601)
便座の開閉を電動で行います。
便座を開くと、ハネ抑制が作動します。
設定に応じて水面が下がり、泡で覆われます。

❹ ハネ抑制(CH1602)
ハネ抑制が作動します。
設定に応じて水面が下がり、泡で覆われます。

❺ 便ふたの開閉(CH1601)
便ふたの開閉を電動で行います。

❿ パワー脱臭
着座中にオート脱臭(着座時)の約 1.5 倍の風量で強力に脱臭することができます。

⓫ 便座温度
便座の温度調整ができます。

○ ○ ● ○
eco➡低➡中➡高➡切

おしり・ビデ洗浄

❼ 作動している機能を停止します。

❽ おしり洗浄・ビデ洗浄
ノズルから温水が出て、洗浄します。
洗浄中にもう一度押すと、強弱を繰り返す**リズム洗浄**になります。

❾ 洗浄強さを変える
洗浄中、洗浄強さを
3 段階に調節できます。

1 2 3
− ○ ○ ○ +
弱い ⟷ 強い

⓬ 温水温度
おしり・ビデ洗浄水の温度調整ができます。

○ ○ ● ○
eco➡低➡中➡高➡切

お手入れ

⓭ ノズル掃除
洗浄ノズルのお手入れができます。

⓮ ノズル除菌
約 1 分間、洗浄ノズルを洗浄します。

その他

❻ 便器水位(CH1602)
便器の水位を約2～3cm下げることができます。
「大洗浄」または「小洗浄」を押すと元に戻ります。

機能の設定変更

下記の機能は、ボタンを押すごとに設定を変更することができます。

同時2秒 …同時に2秒以上押す

分類	設定内容		操作ボタン	お知らせ方法（ランプや音） 太字は出荷時設定
便ふた・便座	**自動便ふた開** （CH1601のみ） 自動で便ふたを開く／開かない	本体ボタン	自動便ふた開	「ピッ」：**入** 「ピー」：切
便ふた・便座	**クローズ洗浄モード** （CH1601のみ） 便ふたが閉じた後に自動で便器洗浄をする／しない	本体ボタン	自動便ふた開 5秒以上押す	「ピピッ」：入 「ピー」：**切**
便器洗浄	**自動便器洗浄** 便座から立ち上がると自動で便器洗浄をする／しない	本体ボタン	自動便器洗浄	本体表示ランプ 「ピッ」：**入** ― 点灯 「ピー」：切 ― 消灯
便器洗浄	**泡洗浄切換** 便器洗浄時、泡が出るパターンを変更	本体ボタン	泡洗浄切換	本体表示ランプ 「ピッ」：**大洗浄時のみ** ― 緑点灯 「ピピッ」：大小洗浄時 ― 緑点灯 「ピー」：洗剤を入れない ― 消灯
便器洗浄	**洗浄水量** 大洗浄時の水量	リモコン	フラットリモコン：ノズル掃除 と 弱 同時2秒 スティックリモコン：− と ノズル掃除 同時2秒	「ピッ」：**標準（5L）**※1 「ピピッ」：増量1（6L） 「ピピピッ」：増量2（8L）
便器洗浄	**洗剤投入量** 1回の使用洗剤量	リモコン	フラットリモコン：弱 と 便座 同時2秒 スティックリモコン：− と 便座温度 同時2秒	「ピッ」：少なめ 「ピピッ」：**ふつう** 「ピピピッ」：多め
便器洗浄	**洗浄開始時間** 便座から立ち上がった後自動便器洗浄が始まるまでの時間	リモコン	フラットリモコン：ノズル掃除 と 便座 同時2秒 スティックリモコン：ノズル掃除 と 便座温度 同時2秒	「ピッ」：5秒 「ピピッ」：**10秒** 「ピピピッ」：15秒

機能の設定変更について詳しくはこちら

https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/s160/howto/#setteihenko

※1 …CH1601＊＊Kは標準（4.8L）、CH160＊＊Xは標準（5.5L）

設定の記憶について
●設定を変更すると、次回使用時以降同じ設定内容になります。
●電源プラグを抜いても、お客様が設定した状態を記憶しています。
停電の場合も同様です。

⚠注意

禁止

凍結防止ヒーターを使用する場合は切タイマーを使用しない

便ふた部の結露で床をぬらす原因になります。

分類	設定内容		操作ボタン		お知らせ方法（ランプや音） 太字は出荷時設定	
その他	**便器水位** 便器の水位を約2～3cm下げる	下げる	リモコン	フラットリモコン：便器水位 スティックリモコン：<CH1601> ノズル掃除 と ノズル除菌 同時2秒 <CH1602> 便器水位	「ピッ」：実際の水位をお確かめください。	
		元に戻す	リモコン	小 または 大		
	切タイマー 設定した時間に応じて暖房便座・温水温度を切る	設定	リモコン	フラットリモコン：切タイマー スティックリモコン：＋ と 温水温度 同時2秒	「ピー」：**切**（タイマーなし） 「ピピピッ」：8時間 「ピピッ」：6時間 「ピッ」：4時間	本体表示ランプ 赤点滅 ● 約10秒後 赤点灯 ●
		解除	リモコン	フラットリモコン：切タイマー スティックリモコン：＋ と 温水温度 同時2秒	CH1601：本体表示ランプ 緑点灯 ●	CH1602：本体表示ランプ 消灯 ○
	定期便器洗浄 長時間使用しない場合自動で便器面を洗浄		リモコン	フラットリモコン：ノズル掃除 と 強 同時2秒 スティックリモコン：（洗浄） と ノズル掃除 同時2秒	「ピー」：**切** 「ピッ」：24時間 「ピピッ」：6時間	
	ハネ抑制泡投入 水面を下げて泡で覆うことで、男性小便時のハネを抑制		リモコン	フラットリモコン：弱 と 温水 同時2秒 スティックリモコン：－ と 温水温度 同時2秒	CH1601：「ピッ」：毎回 「ピピッ」：**eco** 「ピー」：切	CH1602：「ピッ」：毎回 「ピピッ」：**eco**
	オート脱臭 便座に座ると便器内に発生した嫌なにおいを自動で脱臭する／しない		リモコン	フラットリモコン：強 と パワー脱臭 同時2秒 スティックリモコン：DEODORIZING と ＋ 同時2秒	「ピッ」：**入** 「ピー」：切	
	チャイルドロック 主要ボタン以外にロックをかける／かけない		リモコン	フラットリモコン：🔒 3秒以上押す スティックリモコン：（洗浄） と （ノズル） 同時2秒	本体表示ランプ 「ピッ」：入 ― 点灯 ● 🔒 「ピー」：**切** ― 消灯 ○ 🔒	

基本の使いかた

※リモコンボタンは、フラットリモコンの図で説明しています。



1 トイレルームに 入る

2 便座に 座る

自動ではたらく機能

人が近づくと

自動便ふた開（CH1601のみ）

人体検知センサー＊1 が働き、
便ふたが自動で開きます。
（便座は自動では開きません。）

次の間は、自動で便ふたが開かない場合があります。
・自動で便ふたが閉じた直後
・手動または、リモコンの「便ふた」を押して便ふたが閉じた直後「便ふた」を押すと、便ふたが開きます。



設定の変更は▶14ページ

＊1 人体検知センサーについて詳細は 3 ページ

オート脱臭

においを自動で脱臭します。

設定の変更は▶15ページ

手動（リモコン）で操作する

リモコンの詳細は▶12・13ページ

便ふたを手で開く



立って小便をするとき

CH1601  を押して、便座を開ける。
ハネ抑制が作動します。

CH1602  を押したあと、手で便座を開ける。
ハネ抑制が作動します。

- 破損のおそれがあるため、便ふた、便座の開閉中は無理な力を与えないでください。
  破損防止の機能が働き、カチカチと音が鳴る場合があります。
- 便座と便ふたは別々に開閉してください。
  同時に開閉すると、便座表面に傷がつく原因になります。

おしり・ビデ洗浄

 ノズルから温水が出て、洗浄します。

弱 強 洗浄中、強さを 3 段階に調節できます。

温水 洗浄水の温度を調節できます。

■ 停止します。

お知らせ

- 冷水除去のため、着座時にノズル周辺から水が出ます。
- 温水が出るまで約 10 秒かかることがあります。
- 洗浄強さが「中」のとき、約 50 秒使用すると、洗浄水温が低下します。
- 2分間連続使用すると、自動的に停止します。
  リモコンの洗浄強さのランプも2分で消灯します。
  続けてご使用になりたい時は、再度ボタンを押してください。再度設定温度になるには数分かかります。

3 便座から 立ち上がる



オート脱臭

着座時の約 1.5 倍の風量で強力に脱臭します。(約 1 分後に停止)

設定の変更は ▶15ページ

約10秒後・・・

自動便器洗浄

着座時間により、大洗浄か小洗浄かを自動判断します。

※10 秒以上着座しないと、自動便器洗浄しません。
※泡洗浄切換の設定が「洗剤を入れない」になっていると、洗剤投入しません。

設定の変更は ▶14ページ

クローズ洗浄モードが「入」のとき (CH1601のみ)

便ふたが閉じてから便器洗浄を行います。

動画で見る
クローズ洗浄モードの使いかたと設定方法

設定の変更は ▶14ページ

便器洗浄する

小 / 大 / 大洗浄 本体ボタンでも洗浄できます。

※小洗浄の目安はトイレットペーパー 3mまでです。
それ以上は大洗浄を行ってください。
配管の詰まりの原因となります。

大便時は「大洗浄」で洗浄してください。
「小洗浄」では十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。

立って小便をしたとき
いずれかの洗浄ボタンを押して洗浄してください。
自動では流れません。
クローズ洗浄モード設定時は洗浄ボタンを押した後、自動で便ふたが閉じてから洗浄します。

※経血やバリウムなどは流れきらずに底部に残ることがあります。
その場合は、トイレ用ブラシなどで細かくした後、数回洗浄してください。
※汚物の性質によっては、便器洗浄面に汚物が付着することがあり、便器洗浄時に洗い流せない場合があります。
便器は発生した微生物汚れ、カビは洗い流すことができません。汚れ発生時には都度のお手入れが必要です。

4 トイレルームから 出る

約3分後・・・

便ふたが閉じる (CH1601のみ)

※自動で便ふたが閉じた直後に入室すると、自動で便ふたが開かない場合があります。
※便座が開いている場合は、退室から約 5 分後に便ふたと便座が閉じます。
※クローズ洗浄モードを「入」に設定している場合、便ふたは閉じています。
※便座と便ふたが開いている場合は、便座が閉じてから便ふたが閉じます。

設定の変更は ▶14ページ



便ふたを手で閉じる



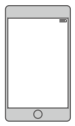
すぐに閉じたいときは  を押す。
(CH1601のみ)

アラウーノアプリ(CH1601のみ)

必要な機器と環境

アプリを使うために必要な機器などを確認しましょう。

● Android または iOS(iPhone)の
スマートフォン



Android™ OS バージョン 5.1.0 以降、
iOS バージョン 10.0 以降のスマートフォンで
ご利用できます。(2022 年 4 月現在)

● パナソニックの会員サイト
CLUB Panasonicの会員登録

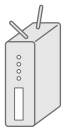
「アラウーノアプリ」のご利用には、
CLUB Panasonic のログイン ID が必要です。

https://club.panasonic.jp

● 専用アプリ「アラウーノアプリ」

スマートフォンからアラウーノの操作をするための
「アラウーノアプリ」をインストールしてください。

● 無線LANルーター



アラウーノをインターネットに接続するために、
無線 LAN ルーターを使用します。
※モバイルルーターには対応していません。(動作保証していません。)

● インターネット環境

インターネット回線と、プロバイダー契約が必要です。

お願い

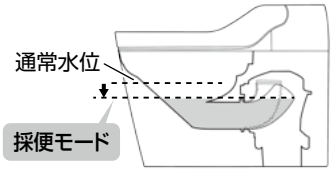
- セキュリティー対策のため、必ず暗号化方式WPA2またはWPA(いずれもTKIPまたはAES)の設定ができる無線LANルーターをご使用ください。暗号化方式は、WPA2(AES)をおすすめします。
(WEPでは使用できません。)
設定方法は、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 同一の無線LANルーターで使用するアラウーノは2台までとしてください。使用するアラウーノが増えると通信が途切れたり、速度が遅くなったりすることがあります。

WEB サイトでもご覧いただけます。
お客様サポート「アラウーノアプリ」
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/ch150/network/contents.html

アラウーノアプリだけで使える便利な機能

● 採便モード

トイレのため水が一時的に
非常に少ない状態になり、
採便がしやすくなります。
(1 回の使用ごとに「切」に
戻ります。)



① アプリで採便モード「入」に設定する。

② トイレに入ってリモコンの「パワー脱臭」のボタンを
2秒以上押す。

ピッ

<フラットリモコン>　<スティックリモコン>





採便モード開始後、「大・小洗浄」ボタンを押すか、20 分経つと
自動的に採便モードは終了します。

※設定後1時間以上経過すると採便モードは自動的に「切」に
なります。

● お通じ確認モード

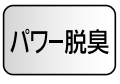
お通じの状態を確認しやすいよう自動便器洗浄設定が「切」に
なります。
また便器内に泡が残っているとアラウーノが判定した場合、
泡をなくすための洗浄を自動で行います。

① アプリでお通じ確認モード「入」に設定する。

② トイレに入ってリモコンの「パワー脱臭」のボタンを
2秒以上押す。

ピッ

<フラットリモコン>　<スティックリモコン>





※設定後1時間以上経過するとお通じ確認モードは自動的に
「切」になります。

アラウーノアプリ使用上のお願い

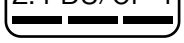
●使用周波数帯

2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

●周波数表示の見かた

周波数表示は、無線LANルーターの定格銘板に記載しています。

アプリ対応あり 無線LAN機能



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
DS/OF：DS-SS および OFDM 変調方式です。
4：電波干渉距離は 40m です。
▬▬▬：全帯域を使用し、移動体識別装置の地域を回避可能です。

無線LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

アラウーノアプリ、ネットワーク接続のご相談は、
「水廻り設備 アプリ・ネットワーク機能 ご相談窓口」
（裏表紙）にお問い合わせください。

●機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線設備を内蔵していますので、無線局の免許は不要です。
ただし、以下の行為は電波法で禁止されています。

- ●内蔵無線設備の分解・改造をする。
- ●内蔵無線設備の適合表示を消す。

●使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および無線LANの使用または使用不能から生じる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- ●日本国内でのみ使用できます。
- ●利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID ※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- ●磁場、静電気、電波障害が発生するところで使用しないでください。
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - ・電子レンジ
  - ・他の無線LAN機器
  - ・その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器（デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
  - ・電波が反射しやすい金属物など

※SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

●本機のSSID について
SSID：Panasonic-CH-wirelessAP
パスワード：6pCAsJi2uLkGw（下線部大文字）

●セキュリティー対策

- ●無線LANは電波を使ってデータを送受信するため、不正なアクセスを受けるおそれがあります。データの安全を確保するため、セキュリティー対策を行ってください。（18ページ参照）
  セキュリティー対策を実施せず問題が発生した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●無線LANルーターのパスワードは、8文字以上、63文字以下に設定し、定期的に変更することをおすすめします。

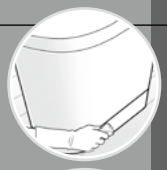
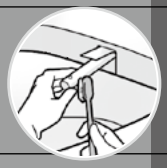
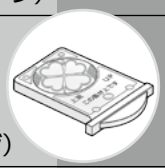
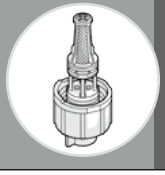
●ファームウェアについて

- ●本機は、インターネットを通じて当社のファームウェアアップデートサーバーに接続し、自身のファームウェアを自動で最新版に更新する機能を持っています。更新中は無線通信が一時中断されるため、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- ●ファームウェアの解析、改造は行わないでください。

お手入れカレンダー

WEB サイトでもご覧いただけます。
お客様サポート「お手入れ」
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/operation/

各部の汚れは、下記の期間を目安にお手入れをしてください。

	日 常	週に１度	月に１度	約３か月に１度	気になるとき
便器内側	トイレ用ブラシ（PP（ポリプロピレン製））・トイレ用洗剤（中性）で汚れを落とす （22ページ）				【水たまり面の汚れ】便器水位を下げて柔らかい布などで拭く （23ページ） 【カビなどの黒ずみや黄ばみ】湿布法で汚れを落とす （24ページ）
便器外側	柔らかい布で水拭きし、よく絞った布で拭く （22ページ）			 	【台輪】メラミンスポンジで汚れをこすり落とす 【便器と床のすき間】水でぬらした歯ブラシで汚れをこすり落とす
便座・便ふた	柔らかい布で水拭きし、よく絞った布で拭く （22ページ）				
洗浄ノズル		除菌クリーニングを行う （22ページ）			ゴム手袋を着用し、ブラシなどで汚れを落とす （23ページ）
洗剤タンク			洗剤を補充するとき、または汚れたときなどに、洗剤タンクを取り外して水洗い （27ページ）		
脱臭フィルター			ほこりを取り除く （25ページ）		
脱臭吸込口			綿ぼこりやトイレットペーパーくずなどを乾いた歯ブラシなどで取り除く （25ページ）		
電源プラグ			ほこりを乾いた布で取り除く （25ページ）		
ストレーナ					水の流れが悪いときに、ストレーナを掃除する （36ページ）

おすすめの洗剤と道具

日頃から定期的なお手入れをしてください。汚れを放置すると便器全面に汚れが広がることがあります。

便器内側

●トイレ用洗剤（中性）

日常の汚れを
落とします。



●トイレ用漂白剤

カビなどの黒ずみや黄ばみを
落とします。

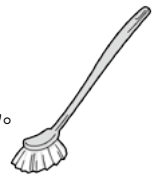
※湿布法（24ページ参照）でお手
入れを行う場合は使用可能です。



●トイレ用ブラシ

PP（ポリプロピレン）製

※研磨剤入りやナイロン
ブラシは使用できません。
傷の原因になります。



便器内側・便器外側・便座・便ふた

●柔らかい布

使い古したTシャツや
柔らかいタオルぞうきんなどを
ご用意ください。



※アラウーノフォーム、台所用合成洗剤（中性）は、
薄めることで拭き掃除に使用可能です。（22ページ参照）

●歯ブラシ

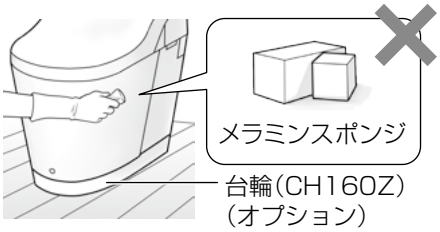
細部のお手入れに
便利です。





お願い

●メラミンスポンジは、台輪以外では
使用しないでください。
傷の原因となります。



⚠注意

禁止

便器のお手入れには下記洗剤を使用しない

製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。



【使用してはいけない洗剤】

- ●酸性洗剤
- ●アルカリ性洗剤 *1
- ●重曹、アルコールを含む洗剤 *2
- ●トイレ掃除用ペーパー*3
- ●オレンジオイルを含む洗剤
- ●柑橘系の香りを有する洗剤
- ●消臭剤
- ●滴下するタイプの消臭液
- ●苛性ソーダや強塩酸などの薬品
- ●シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1… 湿布法（24ページ参照）でお手入れを行う場合は使用可能です。
*2… エタノール、イソプロピルアルコールなど
*3… 花王製トイレクイックルは使用可能です。（当社試験により確認済み）

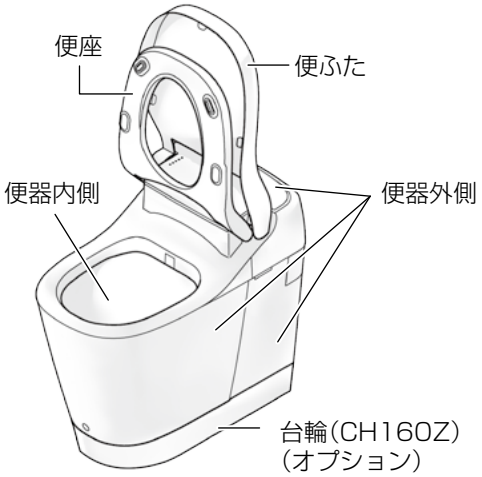
基本のお手入れ(便器外側、便器内側、洗浄ノズル)

便器外側

日常 柔らかい布で水拭きし、よく絞った布で拭く

アラウーノフォーム、台所用合成洗剤(中性)を使用する場合は水で50～100倍に薄めて柔らかい布で拭いてください。
その後、柔らかい布で水拭きし、よく絞った布で拭いてください。





便ふたは取り外してお手入れできます。
取り外しかたは28ページを参照してください。

便器内側

日常 トイレ用ブラシ(PP(ポリプロピレン製))、トイレ用洗剤(中性)で汚れを落とす

縁裏に手が届きますので、柔らかい布で水拭きしてください。





洗浄ノズル

週1回 除菌クリーニングを行う

<フラットリモコン>　<スティックリモコン>

ノズル除菌 ／ ノズル除菌 を押す

約1分間、洗浄ノズルを洗浄します。
(温度はおしり・ビデ洗浄の温度設定のとおり)

●途中で中断する場合は ■停止 を押してください。

●便座に座ったときは洗浄の途中で停止します。

お願い

●**金属部に水や汚水がかかったまま、または結露したまま使用しないでください。**

サイドカバーを外すと中に金属部品があります。金属部に水や汚水がかかったまま使用すると、さびによる製品の損傷や汚れの原因になります。
サイドカバーを外して確認してください。

●**研磨剤入りやナイロンたわしは、使用しないでください。**

傷の原因になります。

※細かい傷がついた場合は、市販のアクリル用コンパウンド(研磨剤)などで磨いてください。

●**ノズルの出入り口と脱臭吸込口付近に洗剤をかけないでください。**

故障の原因になります。



⚠警告

禁止 本体や電源プラグ・リモコンに水や汚水をかけない
また水がかかったまま使用しない

感電・火災・けがの原因になります。

気になる汚れ(洗浄ノズル、水たまり面)

洗浄ノズルの汚れが気になったら

詳しく見る
アルミホイルでのノズル掃除方法
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/s160/emergency/p41_e.html

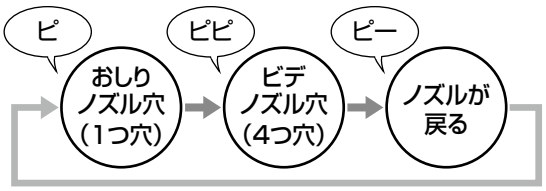
ゴム手袋を着用し、ブラシなどで汚れを落としてください。

1 便ふた・便座を開き

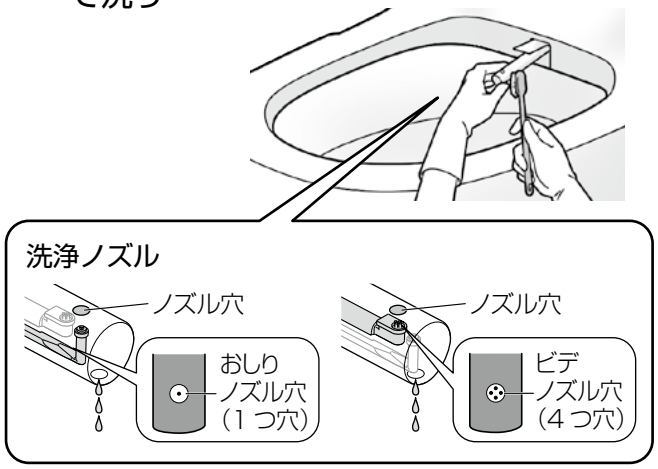
<フラットリモコン> <スティックリモコン>

ノズル掃除 ／ ノズル掃除 を押す

▶ 上記のリモコンボタンを押すごとにノズル穴の個数が切り替わります。



2 洗浄ノズルを軽く手で持ち、ブラシなどで洗う



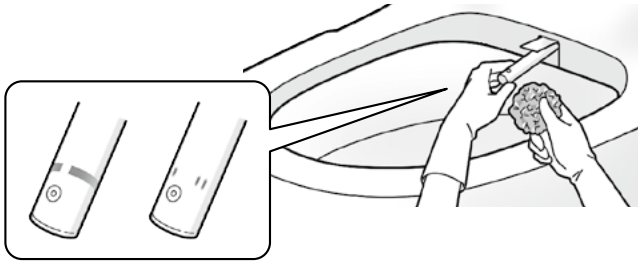
3 <フラットリモコン> <スティックリモコン>

ノズル掃除 ／ ノズル掃除 を押して ノズルを戻す

●ノズルに白い汚れが付いたら

白い汚れ（ミネラル）が落ちにくい場合は、丸めたアルミホイルでお手入れしてください。

ページ上部のQRコードで、お手入れ方法を紹介しています。(動画)



お願い
- ●ノズルを無理に手で引っ張り出したり、押し込んだりしないでください。
- ●ノズルは必ず手で支えて無理な力がかからないようにしてください。
  破損、故障の原因となります。

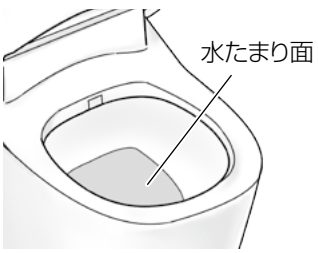
※イラストは説明のために、すべて出した状態で表しています。

●途中で中断する場合は ■停止 を押してください。

●洗浄ノズルのお手入れ中は、ノズルの先端下から洗浄水が出ます。

水たまり面に汚れがついたときは

水温や水質によって水面周囲に色のついた汚れが発生する場合があります。
便器の水位を下げると柔らかい布などで簡単にお手入れできます。



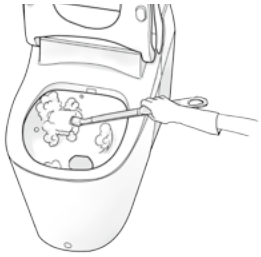
気になる汚れ(カビなどの黒ずみや黄ばみ)

カビなどの黒ずみや黄ばみには

日常のお手入れをしてもすぐに汚れがつく場合は、湿布法で落とします。

お願い この作業をする時は、窓を開けたり換気扇を回すなど十分換気をしてください。

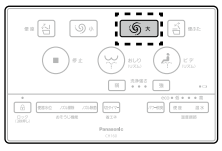
1 トイレ用洗剤(中性)とトイレ用ブラシで汚れを落とす



2 便器洗浄して洗剤を洗い流す

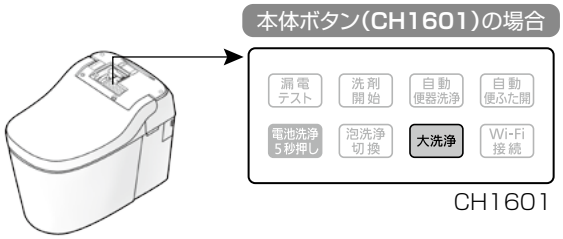
大 を押す。

(または本体ボタンの 大洗浄)



リモコン

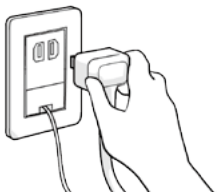
本体ボタン(CH1601)の場合



CH1601

3 電源プラグを抜く

電源プラグは必ず抜いて作業してください。



4 便器の水を抜く

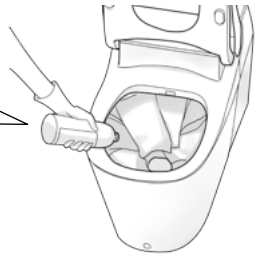
・30ページ「停電や断水で水が流れないとき」を参考に水を抜いてください。

5 トイレットペーパーを便器内に敷き、トイレ用漂白剤をかけて、約3分間放置する

●トイレ用漂白剤

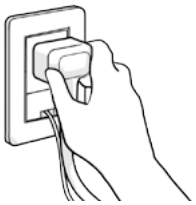
カビなどの黒ずみや黄ばみを落とします。





6 電源プラグを差し込む

電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。

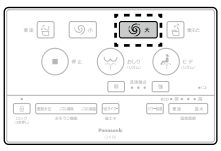


※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。

7 便器洗浄して洗い流す

大 を押す。

(または本体ボタンの 大洗浄)



リモコン

※クローズ洗浄モードを「入」に設定している場合、便器洗浄の前に便ふたが閉まります。(CH1601)

浄化槽をご使用の場合は湿布法に使用した**トイレットペーパーを流さないでください。**

周りを拭いてトイレ用漂白剤がなるべく浄化槽へ流れないようにしてください。

8 トイレ用漂白剤が残らないように数回、便器洗浄する

縁裏も柔らかい布で水拭きしてください。

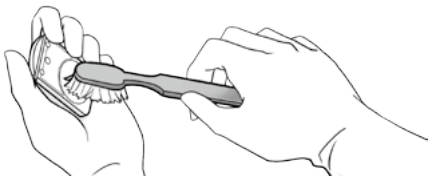
気になる汚れ(脱臭フィルター、脱臭吸込口、電源プラグ)

脱臭フィルター

月1回　ほこりを取り除いてください。

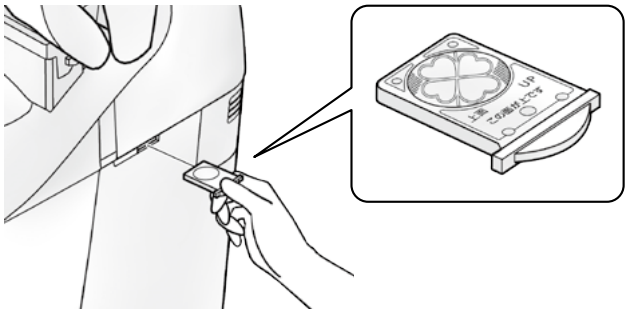
1 つまみを持って引き出す

2 歯ブラシなどでほこりを取り除く



3 フィルターを元に戻す

「この面が上です」の刻印を上面にして
挿入してください。



脱臭吸込口

月1回　綿ぼこりやトイレットペーパーくずなどを
乾いた歯ブラシなどで取り除いてください。

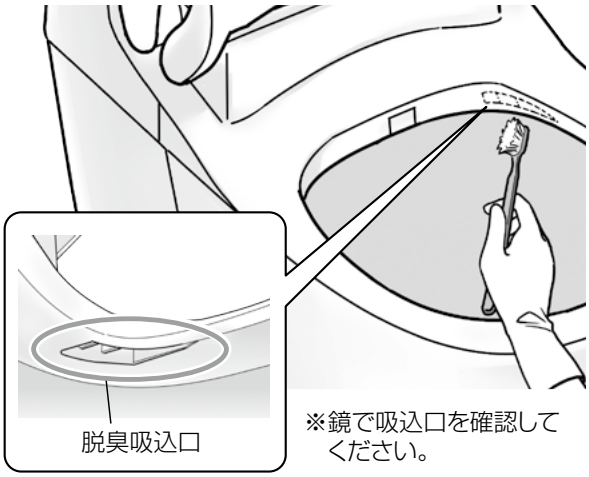
●脱臭吸込口が詰まると十分な性能が得られなくなります。

●効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは
脱臭吸込口のお手入れをしてください。

お願い

**ノズルの出入り口と脱臭吸込口付近に
洗剤をかけないでください。**

故障の原因になります。



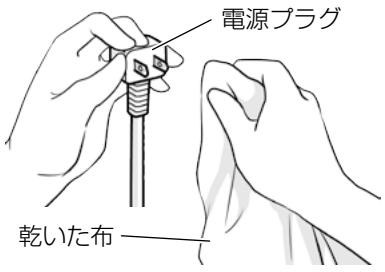
※鏡で吸込口を確認して
ください。

電源プラグ

月1回　電源プラグについたほこりは
乾いた布で取り除いてください。

●放置しておくと火災の原因になります。

●お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから
抜いてください。



洗剤を補充する

便器洗浄時に泡が出なくなった場合は、
洗剤タンクの残量を確認し、洗剤を補充してください。

動画で見る
洗剤の補充方法
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/operation/body/#Anchor07

使用できる洗剤

- 市販の台所用合成洗剤(**中性**)
  (ただし、下記の「使用できない洗剤」に該当するものは使用できません。)
- アラウーノフォーム



ハイ・パーツショップ*1で
ご購入いただけます。
(裏表紙参照)
https://sumai.panasonic.jp/parts/

おすすめの洗剤

おすすめの洗剤情報を
WEBサイトで
紹介しています。
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/ch150/senzai.html
(2022年4月現在)

※泡洗浄機能には、市販の台所用洗剤(**中性**)、アラウーノフォームのどちらでもお使いいただけます。
※種類の異なる洗剤は混ぜないでください。洗剤が反応して、故障の原因になります。
異なる洗剤を入れる場合や、1か月以上使用しない場合は、27ページを参照してください。

*1 ハイ・パーツショップとは、パナソニック テクノサービス(株)が販売する、一般のお客様向けショップサイトです。住宅設備の消耗品を簡単にご注文いただけます。ご購入の際は裏表紙を参照のうえ、ご注文ください。

使用できない洗剤

- ヤシの実洗剤
- オレンジオイルを含む洗剤
- 柑橘系の香りを有する洗剤
- トイレ用洗剤
- ジェルタイプの洗剤
- 酸性・アルカリ・塩素系洗剤
- アルコールを含む洗剤

理由

天然由来成分を材料としている洗剤は効果が得られません。また、洗剤の成分によっては製品の故障の原因になります。

洗剤を補充する目安

洗剤タンクの「満」(約250cc)まで入れた場合

泡洗浄切換設定	消費期間
大洗浄時のみ	約200日
大洗浄時のみ+ハネ抑制泡投入	約100日
大小洗浄時	約50日
大小洗浄時+ハネ抑制泡投入	約40日

※4人家族(男性2人、女性2人)が1人、大便1回、小便3回／日の使用回数で、洗剤投入量の設定は「ふつう」とする。

お願い

- **長期不在などで、使用しない場合や、異なる洗剤を入れる場合は、洗剤タンクの水洗いと洗剤の経路の洗浄をしてください。**
  (27ページ参照)
- **洗剤キャップを開けたまま使用しないでください。**
  洗剤の性能が変質して詰まる可能性があります。

お知らせ

- **水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。**
  洗浄性能には影響しません。
  泡の量を調整したい場合は 14 ページを参照。
- **洗剤開始ボタンを押した当初は、数回の洗浄の間、泡の量が増加する場合があります。**
  故障ではありません。

洗剤タンクの定期的なお手入れ

洗剤を補充するとき、または汚れたときなどに、洗剤タンクを取り外して水洗いをしてください。

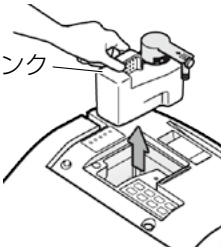
1 トップカバーを外す

（トップカバーの外しかたは10ページ参照）

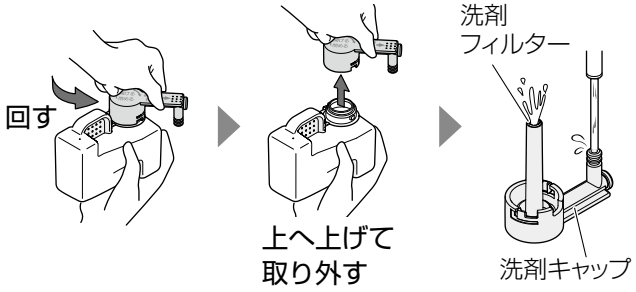
2 洗剤タンクを外す

洗剤タンクの取っ手を持って、取り外す。

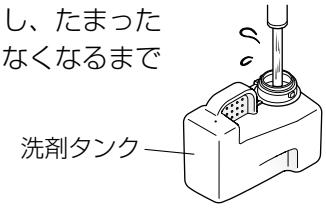
※洗剤が垂れた場合は必ず拭き取ってください。



3 洗剤キャップを開けて、洗剤フィルターと洗剤タンクを水洗いする



洗剤を別容器に取り出し、たまった洗剤を水道水で泡が出なくなるまで水洗いしてください。



洗剤の経路の洗浄

1か月以上洗剤洗浄を使用しない場合や、**異なる洗剤を使う**場合は、洗剤の経路を洗浄してください。

① 洗剤タンク内に水道水を入れる。

② 洗剤タンクを本体に取り付ける。

③ 洗剤開始 を押す。

洗剤の経路を洗浄します。
約1～2分後に「ピー」と鳴ります。

④ 洗剤タンクを本体から取り外して、タンク内の水道水を抜く。

⑤ 洗剤開始 を押す。

洗剤経路の残水を除去します。
約1～2分後に「ピー」と鳴ります。

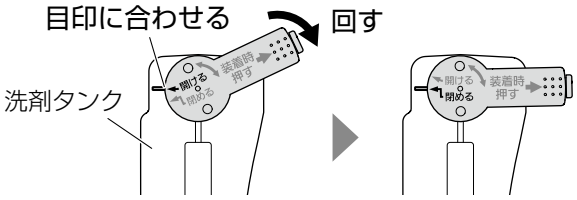
4 洗剤を入れる

洗剤タンクの容量は約250ccです。
こぼれないように注いでください。
（使用できる洗剤の種類、補充のしかたは26ページ参照）



5 洗剤タンクを戻す

洗剤キャップを閉め、洗剤タンクをホルダーにはめ込む。



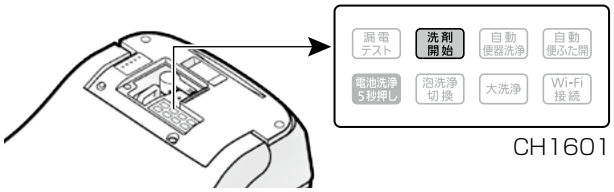


6 洗剤開始 を押す

モーター音が鳴り、洗剤供給を開始します。
約1～2分後「ピー」と鳴って、洗剤供給が終了します。

※ブザー音が鳴るまで、他の操作を行わないでください。洗剤供給が途中で停止します。

本体ボタン(CH1601)の場合



CH1601

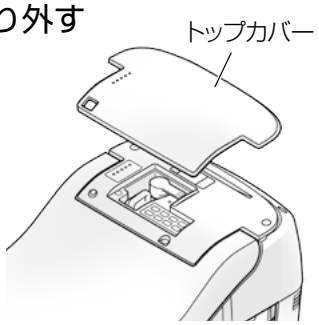
7 トップカバーを戻す

便ふたの取り外しかた

取り外す

1 トップカバーを取り外す

トップカバーをつけたままだと、傷がつくおそれがあります。
（トップカバーの外しかたは 10ページ参照）



2 便ふたを手前に少し傾ける

45° を目安に傾けてください。

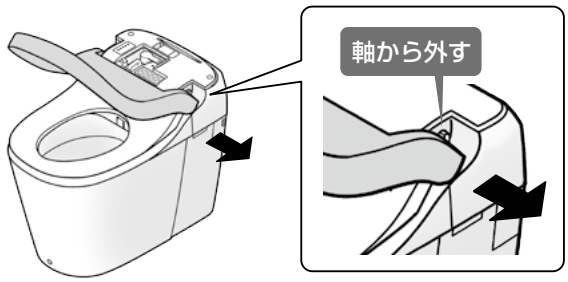


3 向かって左側を手前に引っ張る



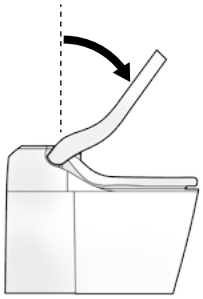


4 便ふたを右側へスライドさせて外す



取り付ける

1 便ふたを少し手前に傾け、右側の軸に差し込む





2 左側の軸に押し込む





3 トップカバーを取り付ける

4 <フラットリモコン> <スティックリモコン>



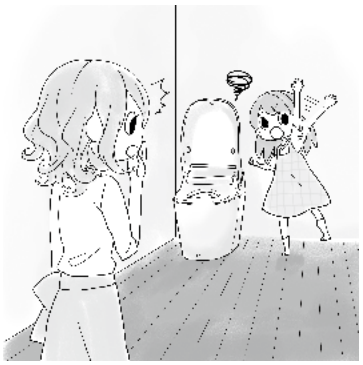
／



を押す（CH1601のみ）

便ふたが正しく取り付いているか確認してください。
便ふたが軸から外れていると、便座・便ふたの自動開閉や洗浄ノズルが作動しません。

便器が詰まったとき



一度に多量のトイレットペーパーを流すと便器が詰まることがあります。
便器が詰まった場合は、下記の方法で詰まりを取り除いてください。
汚物およびトイレットペーパー以外が詰まっている場合は、販売店、施工業者へご依頼ください。異物を排水管に詰まらせるおそれがあります。

⚠注意

禁止

便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しない

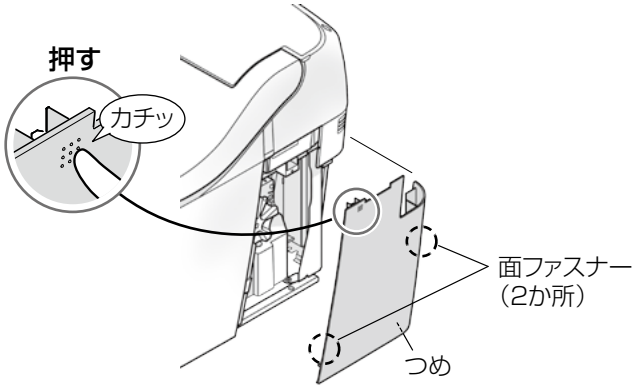
便器から汚水があふれて室内浸水の原因になります。

1 電源プラグを抜く

2 サイドカバー（右）を外す

① サイドカバーの ⁝⁝ 部を押す。

② すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す。
（面ファスナーと、つめを外す。）



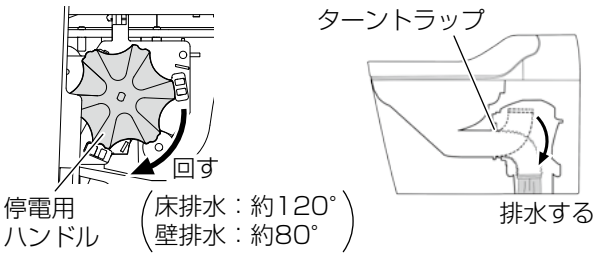
3 停電用ハンドルを時計回りに回す

(床排水：約120°・壁排水：約80°)

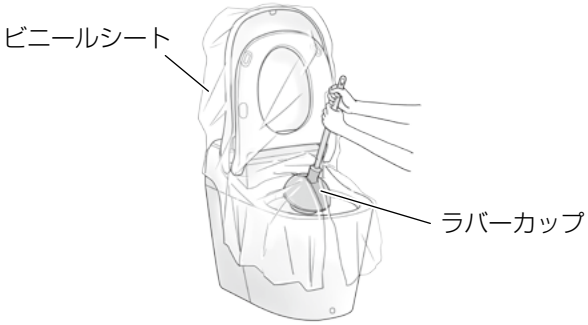
ターントラップが下を向き、便器洗浄面の水を排水します。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。

完全に排水できない場合は、ターントラップが下を向いたままの状態で、便器洗浄面にバケツで水を入れ排水してください。



4 ラバーカップで詰まりを取り除く



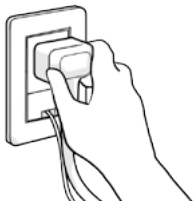
- 便器洗浄面のため水が少なくなり、ラバーカップが水につからなくなったら、便器洗浄面に水を足してラバーカップが水につかる状態で排出してください。
- ラバーカップはホームセンターなどで販売されています。
- 汚水が飛散することがありますので、ビニールシートなどでカバーすることをおすすめします。

5 詰まりが解消したら、サイドカバー（右）を取り付ける

（33ページ 1 を参照）

6 電源プラグをコンセントに差し込む

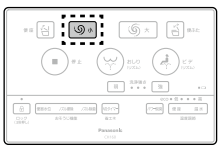
電源プラグを差し込んで
約3秒後に、本体表示部の
電源ランプが約6秒間
点滅します。
※この約9秒間はすべての操作を
受け付けません。



ターントラップは自動で元の状態に戻ります。

7 小 を押す

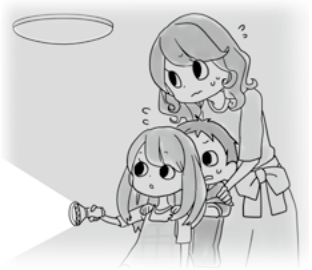
便器洗浄面に給水し、通常の
使用状態に戻ります。



リモコン

※十分に詰まりが解消していない状態で給水すると便器から水があふれるおそれがあります。

停電や断水で水が流れないとき



動画で見る
L150・S160 停電時のトイレ排水方法
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/operation/body/#Anchor07

9V角形アルカリ
乾電池(別売品)

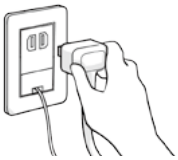


を1個使用します。電池がない場合は32ページを参照してください。
※9V角形アルカリ乾電池はお近くの電器店、コンビニエンスストアなどでお買い求めください。

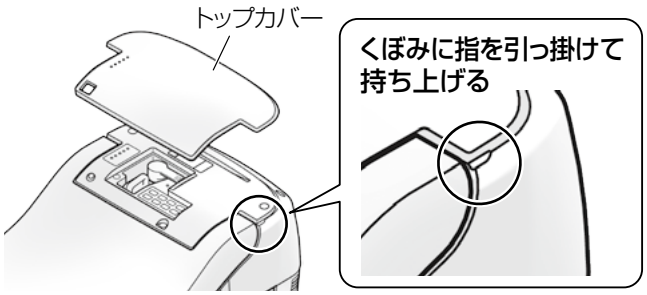
方法1 停電排水ボタンでの排水方法

1 電源プラグを抜く

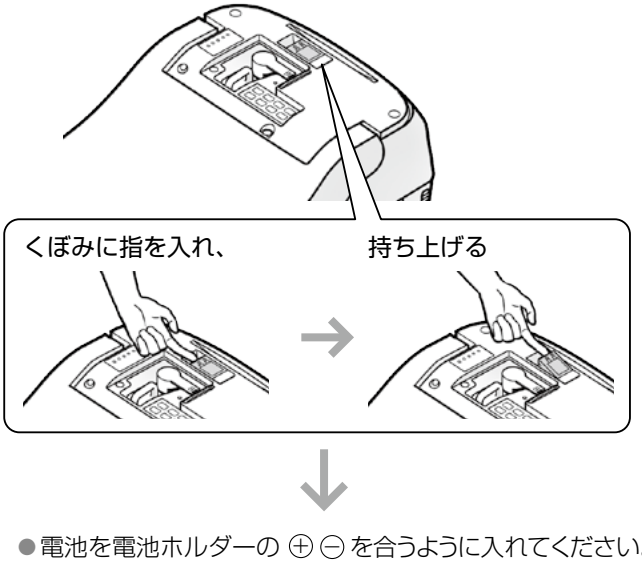
電源プラグは必ず抜いて
作業してください。



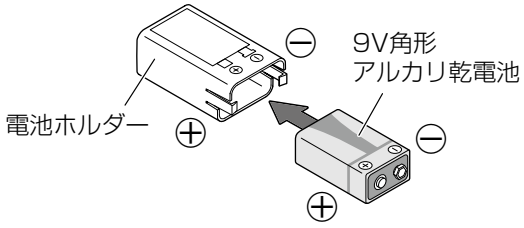
2 トップカバーを取り外す



3 電池ホルダーを取り出し、9V角形アルカリ乾電池を入れる

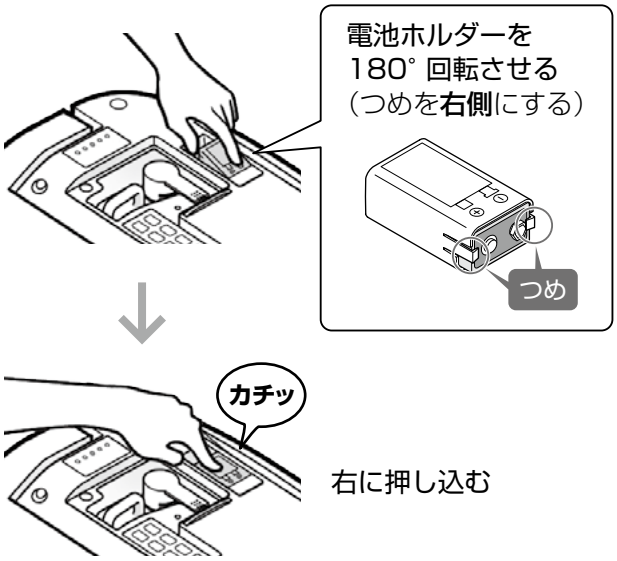


●電池を電池ホルダーの ⊕ ⊖ を合うように入れてください。

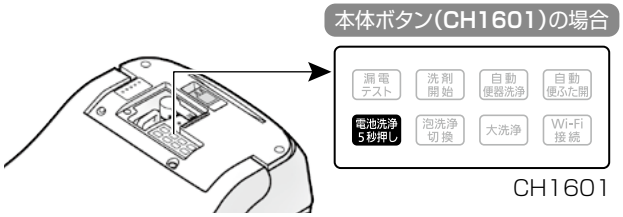


4 電池ホルダーの向きを変えて収納する

●電池の ⊕ ⊖ が正しくないと収納できません。



5 電池洗浄 5秒押し を「ピッ」と鳴るまで約5秒間長押しする



電池洗浄モードに切り替わり、排水を開始します。

●電池が消耗している場合は、「ピッ」と鳴りません。
新しい電池に交換してください。

6 排水が完了すると、「ピー」と鳴ります

●便器洗浄水は給水されません。
●汚物がうまく流れない、またはブザー音が複数回鳴る場合は、電池切れの可能性があります。
新しい電池に交換してください。

7 バケツなどで、便器に水をためる（約4L）

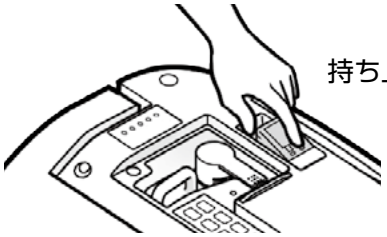
下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぐために便器洗浄面のため水が必要となります。
必ず約4Lの水を入れてください。
配管内の汚物の排出のため、必ず実施してください。



停電時に続いて使用する場合は
5～7の手順で便器洗浄をしてください。

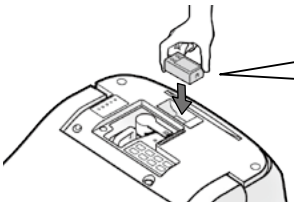
停電・断水が復旧したら・・・

1 電池ホルダーを取り出す

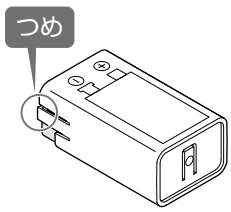


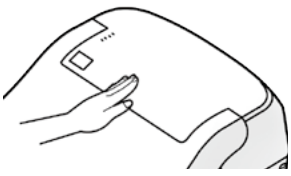
2 電池ホルダーの向きを変えてから本体に収納し、トップカバーを閉じる

●電池を入れたまま収納してください。



電池ホルダーを180° 回転させる（つめを**左側**にする）



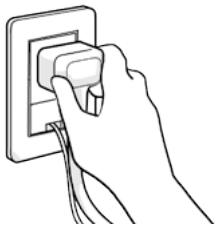


お願い

●**電池は使用後、接続したままにしないでください。**
停電復旧後、リモコン操作時に「ピピッ」と約6秒間鳴り続け、操作を受け付けなくなります。
また、電池の液漏れのおそれがあります。

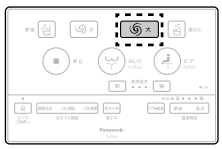
3 電源プラグを差し込む

電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。
※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。



4 大 を押す

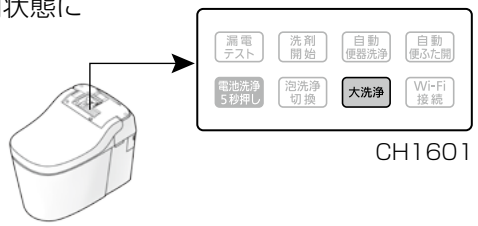
（または本体ボタンの 大洗浄 ）



リモコン

便器洗浄面へ給水し、通常の使用状態に戻ります。

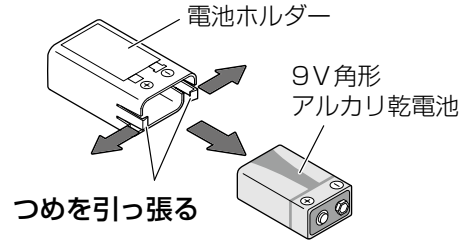
本体ボタン(CH1601)の場合



CH1601

電池を外す場合

両側のつめを引っ張って外してください。



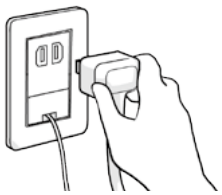
停電や断水で水が流れないとき（つづき）

9V角形アルカリ乾電池（別売品）がない場合

方法2　停電用ハンドルでの排水方法

1 電源プラグを抜く

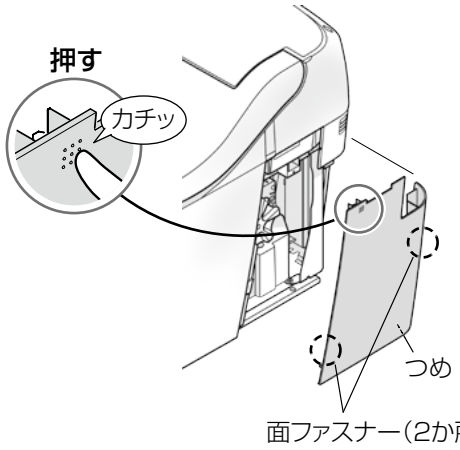
電源プラグは必ず抜いて
作業してください。



2 サイドカバー（右）を外す

① サイドカバーの ⁝⁝ 部を押す。

② すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に
引き出す。
（面ファスナーと、つめを外す。）



3 停電用ハンドルを時計回りに回す

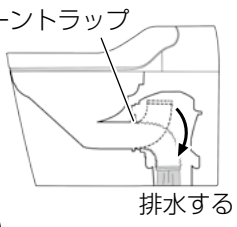
（床排水：約120°・壁排水：約80°）

ターントラップが下を向き、便器洗浄面の水を排水します。

ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。

完全に排水できない場合は、ターントラップが下を向いた
ままの状態で、便器洗浄面にバケツで水を入れ排水して
ください。





4 排水完了後、停電用ハンドルを反時計回りに回す

（床排水：約120°・壁排水：約80°）

ターントラップが元に戻ります。

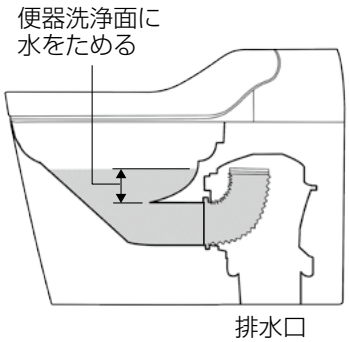
ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。



5 便器洗浄面にバケツで水（約4L）を入れ、水をためる

下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぐために
便器洗浄面のため水が必要となります。
必ず約4Lの水を入れてください。





9V角形アルカリ乾電池（別売品）がない場合

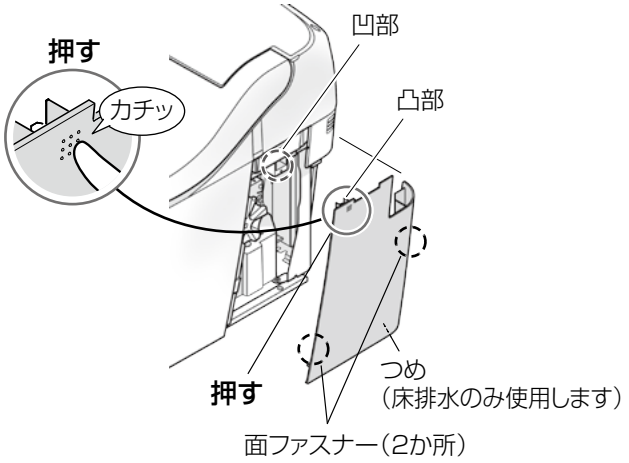
停電・断水が復旧したら・・・

1 サイドカバー(右)を取り付ける

① サイドカバーの凸部を便器の凹部に合わせる。

② ⁝⁝ 部を押す。

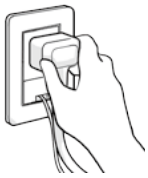
③ 面ファスナーとつめの部分を押し込む。



2 電源プラグを差し込む

電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。

※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。



3 大 を押す

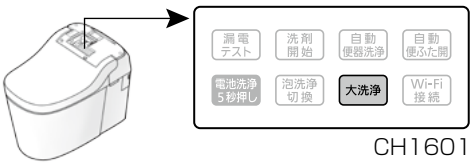
（または本体ボタンの 大洗浄 ）



リモコン

便器洗浄面へ給水し、通常の使用状態に戻ります。

本体ボタン(CH1601)の場合



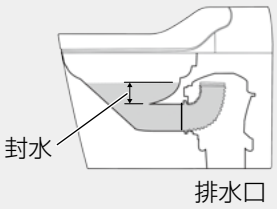
CH1601

便器洗浄中に停電が起こったら／断水中に便器洗浄をしたら

便器に水がない場合、バケツなどで便器に水を入れて封水してください。

封水について

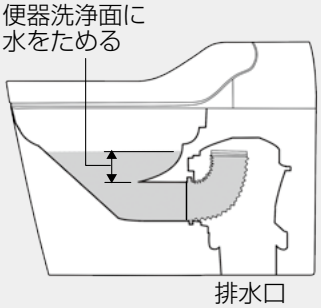
下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぎます。



●封水方法

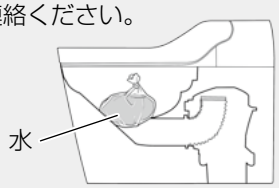
便器にバケツで水(約4L)を入れ、水をためる。





万一、封水が確保できない場合はビニール袋(幅15～20 cm)に水を入れて排水口をふさいでください。

ターントラップの故障が考えられますので、お買い上げの販売店もしくは修理ご相談窓口(裏表紙参照)にご連絡ください。



長期間使用しないとき（7日以上）

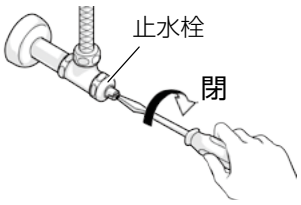
動画で見る
長期間使用しない場合に必要な「水抜き」の方法
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/operation/body/#Anchor07

長期間使用しないとき（1か月以上）
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/shingata_alauno/howto/p55.html

長期間（目安7日以上）使用しないときは、水の腐敗や凍結を防止するため、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜き作業

1 止水栓を閉める



2 大 を押す

（または本体ボタンの 大洗浄 ）


リモコン

- 配管内の圧力を抜きます。
- ピピピッピピピッと音がし、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

本体ボタン(CH1601)の場合

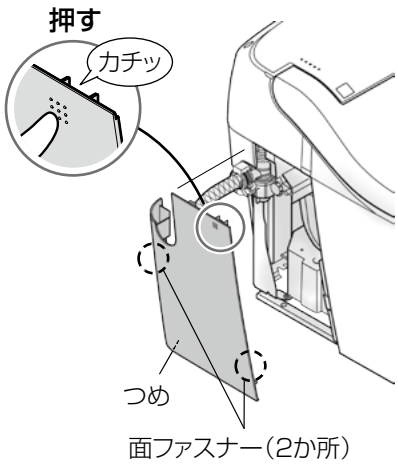


CH1601

3 サイドカバー(左)を外す

① サイドカバーの ⁝⁝ 部を押す。

② すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す。
（面ファスナーと、つめを外す。）



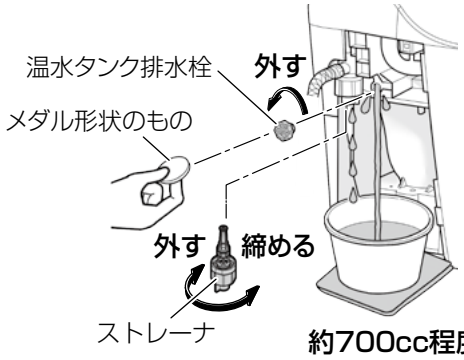
4 ストレーナと温水タンク排水栓を外して、水抜きをする

- 約700ccの水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをお使いください。
- 取り外しの際は、指を挟み込まないようにご注意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ず拭き取ってください。
- 温水洗浄機能の水抜きをします。

① ストレーナを外す。

② 温水タンク排水栓をメダル形状のもので外す。

③ 本体ボタンの 自動便器洗浄 を5秒間押す。



④ 水が出なくなったら ■ 停止 を押す。

アラウーノ専用手洗い 連動水栓※をご使用の場合
※GHA7R2E系／CH110TFE系／CH110TE／GHA8T2E系
手洗いの取扱説明書に従って水抜きを行ってください。

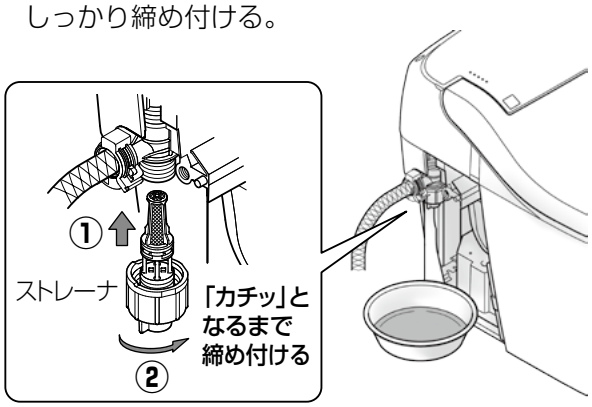


5 ストレーナと温水タンク排水栓を元どおりに取り付け、サイドカバー(左)を取り付ける

※サイドカバー(左)は 3 と逆の手順で取り付けてください。

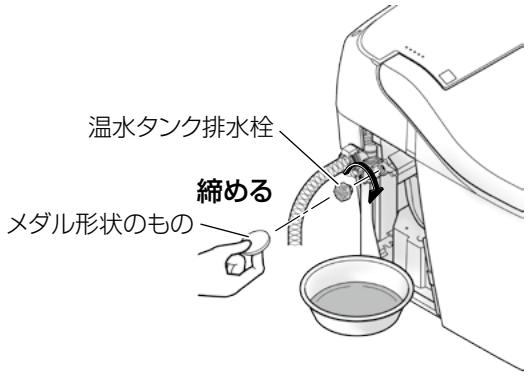
① 奥までしっかりと押し込む。

② 奥へ押し込みながら右へ回してしっかり締め付ける。



③ 温水タンク排水栓を取り付ける。

●メダル状のものでしっかりと締め付けてください。



⚠注意

必ず守る	ストレーナおよび温水タンク排水栓はしっかりと締め付ける 水漏れの原因になります。

6 電源プラグを抜く

7 リモコンの乾電池を抜く (9ページ参照)

再び使用するときは…

止水栓を開き、リモコンに乾電池を入れ、電源プラグを差し込んでください。(9ページ参照)

洗剤の泡が出にくい場合は、洗剤開始 を押してください。

(長期放置により、洗剤が固くなっている可能性があります。)

お願い

- 便器洗浄面の水たまりがなくならないように定期的に水の補充を行ってください。
  封水切れとなり、下水臭気、腐食性ガスが逆流し、金属・電子部品の腐食、故障の原因となります。
- 定期的に水の補充が行なえない場合、便器内のため水を排水し、水を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。(33ページ参照)

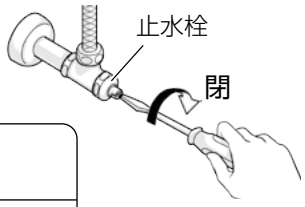
水の流れが悪いとき



ストレーナにごみが詰まっているおそれがあります。
ストレーナは、水中の水あかやごみなどが洗浄便座に混入しないように、
フィルターの役目を果たしています。
ごみが詰まったまま放置していると、故障および損傷の原因になります。

ストレーナの掃除

1 止水栓を閉める



⚠注意

禁止 止水栓を開いたまま
ストレーナを外さない
水が噴き出し拡大損害になります。

2 大 を押す

（または本体ボタンの 大洗浄 ）



リモコン

- ボタンを押して、配管内の圧力を抜いてください。
- ピピピッピピピッと音がし、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

本体ボタン(CH1601)の場合



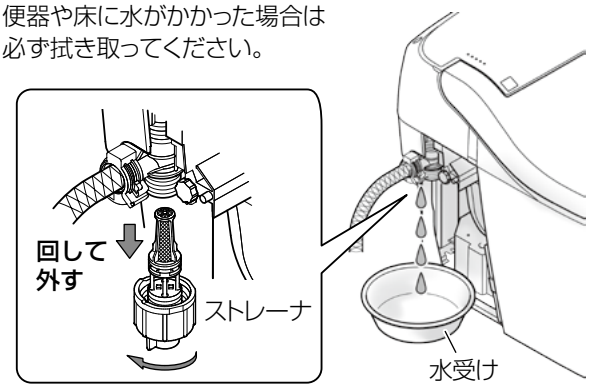
CH1601

3 サイドカバー（左）を外す

（32ページ 2 を参照）

4 ストレーナを外す

- 約50cc～100ccの水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをお使いください。
- 取り外しの際は、指を挟み込まないようにご注意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ず拭き取ってください。



5 ストレーナを水洗いする

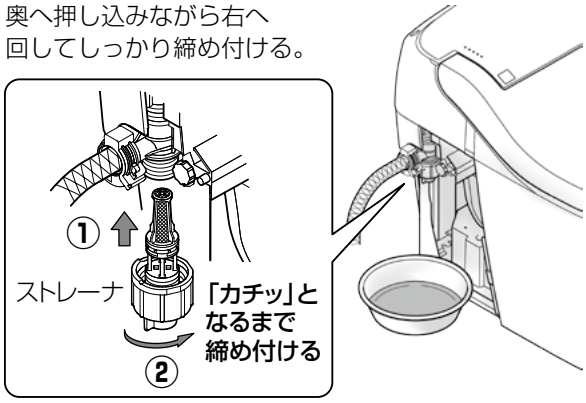


⚠注意

必ず守る ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする
水漏れの原因になります。

6 ストレーナを元どおりに取り付ける

① 奥までしっかりと押し込む。
② 奥へ押し込みながら右へ回してしっかり締め付ける。

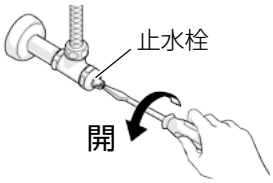


⚠注意

必ず守る ストレーナはしっかりと締め付ける
水漏れの原因になります。

7 止水栓を開く

水漏れがないことを確認してください。



8 サイドカバー(左)を取り付ける

※ 3 と逆の手順で取り付けてください。

凍結を防ぐ

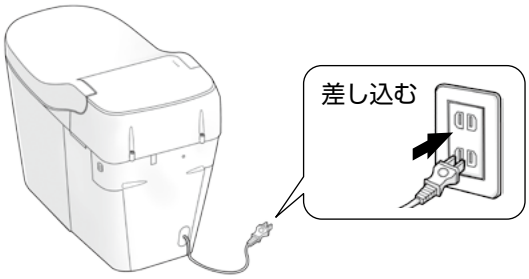


- トイレルーム内が0℃以下になる場合は、凍結防止を実施してください。本体内部や配管内部の水が凍結すると、破損や水漏れを起こすことがあります。凍結を防ぐために、**トイレルームを暖める**か、凍結予防を行ってください。
- 寒冷地仕様の場合は、凍結防止ヒーターを併用してください。

寒冷地仕様の場合	製品品番末尾に「7」がついています。 給水ホースの水抜きをし、便器の凍結防止ヒーターで便器のため水を保温してください。

凍結防止ヒーター　（便器洗浄面のため水の凍結防止）　※寒冷地仕様のみ

凍結防止ヒータープラグを差し込む



⚠警告

禁止　電源コードを無理に引っ張ったり押し込んだりしない
けがや発火、発煙の原因になります。

凍結 防止ヒーターについて

便器の凍結防止ヒーターの凍結防止限界温度は、−15 ℃です。
トイレルーム内の温度が−15 ℃以下になる場合は、暖房器具などで、トイレルーム内を暖めてください。

- 凍結防止ヒーターは、3℃以下の温度になると温めを開始し、8℃以上になると温めを停止します。
- 凍結のおそれがなくなったら
  凍結防止ヒータープラグを抜いてください。

■24時間以上不在にする場合

水抜き（便器内部の水の凍結防止）

※凍結防止ヒーターを作動させる場合にも本体内の保護のため、この作業は必要です。

1. 止水栓を閉める
2. 大洗浄をする
3. サイドカバー(左)を外す
4. ストレーナと温水タンク排水栓を外して水抜きをする
5. 元どおり取り付け、サイドカバー(左)を取り付ける

34〜35ページ参照

凍結を防ぐ(つづき)

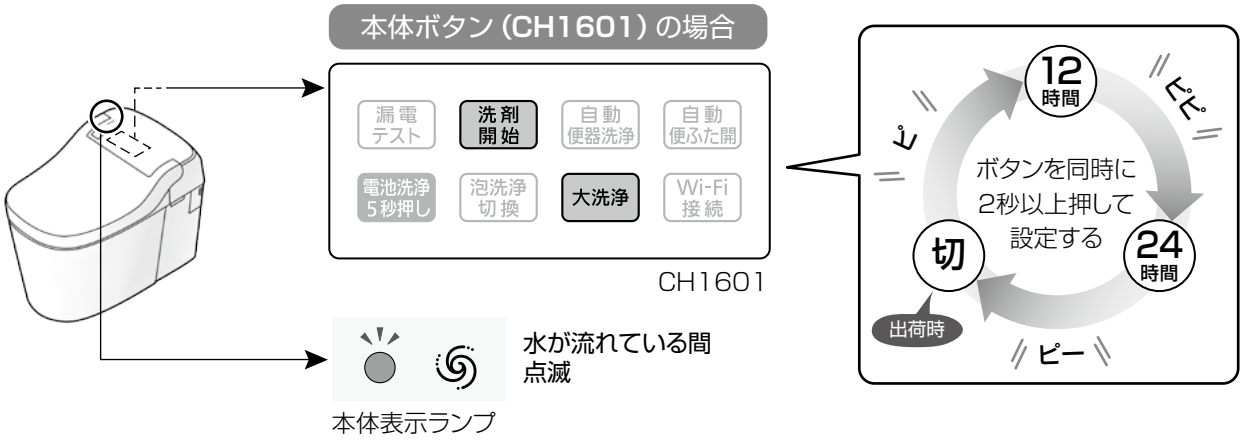
凍結防止機能を設定する<流動式凍結防止>
(便器のため水、トイレ室内の止水栓から便器内部の水の凍結防止※)

設定内容　出荷時
3パターン　切・12時間・24時間

凍結のおそれがある場合、事前の設定が必要です。

流動式凍結防止機能の凍結防止限界温度は、−10 ℃です。
トイレルーム内の温度が−10 ℃以下になる場合は、凍結防止ヒーター（寒冷地仕様のみ）を使用してください。
※洗浄ノズルには、凍結防止機能はついていません。

洗剤開始 と 大洗浄 を同時に2秒以上押す。



- 設定した時間の間、流動式凍結防止機能をONにすることができます。
- 10分に1回、自動で便器に水を流して凍結を予防します。
- 1回あたり、約2.5L* の水が流れます。
  *（12時間：約180L / 24時間：約360L）
- 便器使用中でも時間になると水が流れます。

⚠注意

禁止

- **凍結防止ヒーターを使用する場合は切タイマーを使用しない**
  便ふた部の結露で床をぬらす原因になります。
- **不凍液を直接便器に入れない**
  便器の破損による水漏れの原因になります。不凍液を使用する場合は、便器内のため水を排水し、不凍液を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。
- **便器にヒーターなどを近づけすぎない**
  便器の変形・破損によるけがや水漏れ、火災の原因になります。特にハロゲンヒータータイプの暖房器具は、便器から1m以上離してご使用ください。

必ず守る

- **凍結するおそれのある場合は、凍結防止を実施する**
- **寒冷地以外の地域でも、冬場周囲温度が0℃以下になる場合は、下記の対策を実施する**
  - 止水栓、給水ホースに断熱材を巻く
  - 屋外配管、露出配管は適切な凍結予防対策を施工業者に依頼する

  凍結すると配管、便器内部が破損して水漏れの原因となります。

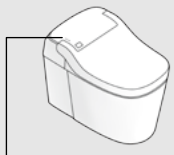
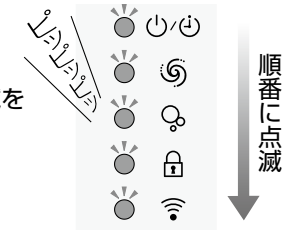
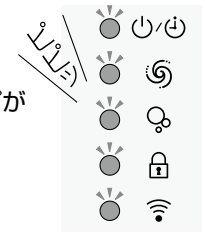
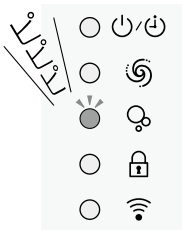
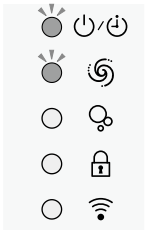
故障かな？



ご確認いただいた現象が改善されない場合は、一度電源プラグを抜き、1分以上時間をおいてから差し込み直し、再度ご確認ください。
それでも改善しないときは、お買い上げの販売店もしくは修理ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。
修理が完了するまで電源プラグを抜き、ご使用はお控えください。

本体表示ランプ

※下記に記載されていない点滅やブザー音が発生した場合は、お買い上げの販売店もしくは修理ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。

位置	現 象	原 因	処 置
 本体表示部	 順番に点滅を繰り返す	ブザー音が鳴る場合：漏電している。	電源プラグを抜き、お買い上げの販売店もしくは修理ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。
		ブザー音が鳴らない場合：漏電テスト結果の「異常なし」の判定が表示されている。	電源プラグの抜き差しをし、「漏電テスト」をリセットしてください。（46ページの 4 と 5 を参照）
 CH1601	 すべてのランプが同時点滅する	停電復旧後も9V 角型アルカリ乾電池が接続したままになっている。（乾電池を入れたまま使用すると、ブザー音が鳴りリモコン信号を受け付けません。）	電池ホルダーの向きを変えて本体に収納してください。または、乾電池を取り外してください。
	 自動便器洗浄ランプが点滅する	温度センサーの異常。	修理ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。
		【便器洗浄面に水が流れている場合】流動式凍結防止機能を設定している。	故障ではありません。凍結のおそれのない場合は流動式凍結防止の設定を「切」にしてください。（38ページ参照）
 CH1602	 泡洗浄ランプが点滅し、ブザー音が鳴る	止水栓が閉じている。	止水栓を開いてください。
		ストレーナが詰まっている。	ストレーナを掃除してください。（36ページ参照）
		使用水道圧（動水圧）が低い。	適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。（販売店・施工業者へお問い合わせください。）
		洗剤ポンプの異常。	修理ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。
		便器洗浄機能の異常。	
	 電源ランプ・自動便器洗浄ランプが同時点滅する	温水タンクが満水になっていない。	温水タンクへの給水を行ってください。（9ページ参照）

電源

現 象	原 因	処 置
便器本体の電源が入らない	雷などの過大な電圧が作用した場合、保護装置が働き、回路が遮断されることがあります。	電源プラグを抜いて、約1分待って、再度差し込んでください。（9ページ参照）

リモコン

現 象	原 因	処 置
リモコンボタンを押しても作動しない	本体受信部、リモコン発信部の上方にトイレットペーパーや棚などの障害物がある、または汚れている。	障害物や汚れを取り除いてください。
	リモコンの電池が切れている。	新しい電池を交換してください。(9ページ参照)
	電池の ⊕⊖ が逆になっている。	正しく入れてください。(9ページ参照)
	リモコンが本体から遠くに取り付けられている。	リモコンの取り付け位置を変更してください。
	本体受信部、リモコン発信部に直射日光が当たっている。	カーテンなどで直射日光が当たらないようにしてください。
	部屋の壁や天井が黒色などの濃い色である。	トイレルームの壁や天井の色を明るい色に変更してください。
リモコンボタンを押すとロックランプが点滅し、ブザー音が鳴る	チャイルドロックが働いている。	チャイルドロックを解除してください。(12ページ参照)
リモコンホルダーからリモコンが外れない	リモコン下面がイタズラ防止ねじで固定されている。	精密ドライバー(+)でイタズラ防止ねじを外してください。

便ふた

現 象	原 因	処 置
便ふたが自動で開かない(CH1601のみ)	設定をしていない。	自動便ふた開の設定をしてください。(14ページ参照)
	便ふたが軸から外れている。(便ふたのヒンジが軸から外れていると、便座・便ふたの自動開閉や洗浄ノズルが作動しません。)	便ふたを正しく取り付けてください。(28ページ参照)
	室温が30℃を超えている。	人と周囲の温度差が少ないと検知しにくくなります。故障ではありません。リモコンで開けてください。
	前回トイレルームを使用した人が便ふたを閉じて退室してから、1分以内に入室した。	故障ではありません。
	自動で便ふたが閉じて1分以内に入室した。	故障ではありません。
便器洗浄の前に「ピピッ」という音がして便ふたが閉じる(CH1601のみ)	クローズ洗浄モードを設定している。	故障ではありません。
便ふたの裏や、便座の表面が結露している	凍結防止ヒーターが作動している。(寒冷地仕様のみ)	下記の ① を実施してください。 効果がなければ ② を実施してください。 CH1602は常に便ふたを開いた状態にしてください。
	換気状態および、水温や気温の条件により、発生することがあります。	結露予防の設定 便器洗浄するたびに、約3時間脱臭ファンが作動し、結露を抑制します。(30日間設定が継続します。) ノズル掃除 と パワー脱臭 を同時に約2秒以上押す。 ブザー音が鳴ります。 ピッ ピー 入 ⟷ 切

① 暖房便座の切タイマーが設定されている場合は、設定を解除してください。(15ページ参照)

② 便座温度設定を「切」以外にし、十分に換気をしてください。(12ページ参照)

脱臭

現 象	原 因	処 置
脱臭が効かなくなった	ほこりなどで目詰まりしている。	脱臭フィルター、脱臭吸込口を掃除してください。(25ページ参照)

便座

現 象	原 因	処 置
暖房便座が温かくない	便座温度が「切」または「eco」になっている。	お好みの温度に調節してください。 約12分で設定温度になります。
	漏電テストが働いている可能性があります。	電源プラグの抜き差しをし、「漏電テスト」をリセットしてください。 （46ページの 4 と 5 を参照）
	切タイマーが設定されている。	切タイマーを解除してください。（15ページ参照）

便器

現 象	原 因	処 置
・便器洗浄ができない ・便器洗浄面のため水が少ない ・便器洗浄水の勢いが弱い ・便器洗浄水が1周回らない	止水栓が閉まっている。	止水栓を開いてください。
	停電中または断水中である。	「停電や断水で水が流れないとき」を参考に、便器洗浄を行ってください。（30～33ページ参照）
	ストレーナが詰まっている。	ストレーナを掃除してください。（36ページ参照）
	使用水道圧（動水圧）が低い。	適正な水圧（動水圧）が確保されているか確認してください。（販売店・施工業者へお問い合わせください。）
	キッチン、お風呂場などで水を同時に使用しているため、一時的に水圧が低下している。	使用環境や条件によるもので、故障ではありません。
	凍結している。	配管内の水が解けるまでお待ちください。
自動便器洗浄ができない	設定をしていない。 （本体の「自動洗浄ランプ」が消えている。）	自動便器洗浄の設定をしてください。 （14ページ参照）
	10秒以上座っていない。	10秒以上着座してください。
便器の洗浄水が勝手に流れる	「便器水位」「定期便器洗浄」「ハネ抑制泡投入」に設定されている。	故障ではありません。 （15ページ参照）
便器洗浄水の勢いが強く、水がはねる	使用水道圧が高い。	止水栓を絞ってください。
汚物が流れない	細かいトイレットペーパーや軟便時の浮遊物が残ることがあります。	数回洗浄する。または、洗浄水量を変更してください。（14ページ参照）
	・固形物や多量のトイレットペーパーを流した。 ・排水管内で詰まっている。 ・汚水枡で詰まっている。	設備業者、またはサービス会社にご相談ください。
汚物が便器洗浄面に付着する	便質によっては付着することがあります。	定期的なお手入れをお願いします。 （23ページ参照）
自動便器洗浄ランプが点滅し、便器洗浄面に水が流れる	凍結防止機能を設定している。	故障ではありません。（38ページ参照）
便器のため水が減る	排水管内に泡が充満することで、便器のため水が徐々に減る場合があります。	洗剤投入量の設定を「少なめ」にしてください。 （14ページ参照）

おしり・ビデ洗浄

現 象	原 因	処 置
おしり・ビデの洗浄水が出ない	電源プラグを差し込んだ後、温水タンクに給水されていない。	ノズル除菌 を押して給水してください。 水が出ることを確認し、 ■ 停止 を押してください。（9ページ参照）
	（CH1601のみ） 便ふたが軸から外れている。 （便ふたのヒンジが軸から外れていると、便座・便ふたの自動開閉や洗浄ノズルが作動しません。）	便ふたを正しく取り付けてください。 （28ページ参照）

おしり・ビデ洗浄

現 象	原 因	処 置
おしり・ビデの洗浄水が出ない	ノズルの詰まりや汚れがあり、ノズルが正常に動作していない。	ノズルを掃除してください。 (22、23 ページ参照)
	連続使用（2分以上）により、タイマーが働いてストップした。	再度 おしり(リズム) または ビデ(リズム) を押してください。
	止水栓が閉まっている。	止水栓を開いてください。
	洗浄便座内部、給水ホースが凍結している。	トイレルーム内を暖房してください。(2時間位) そのまま運転を続けると故障する場合があります。
	漏電テストが働いている可能性があります。	電源プラグの抜き差しをし、「漏電テスト」をリセットしてください。(46ページの **4** と **5** を参照)
	チャイルドロックが働いている。	チャイルドロックを解除してください。 (12、13ページ参照)
おしり・ビデの洗浄水勢が弱い	水道水圧が低い。	適正な水圧(動水圧)が確保されているか確認してください。(販売店・施工業者へお問い合わせください。)
	洗浄強さが「1」になっている。	洗浄強さを「3」にするなど、設定を変更してください。（12、13ページ参照）
	ストレーナにごみが詰まっている。	ストレーナを掃除してください。(36ページ参照)
おしり・ビデの洗浄水が温かくない	温水温度が「切」または「eco」になっている。切タイマーが入っている、またはタイマー解除の直後である。	温水温度を「中」にするなど、設定を変更してください。(12、13ページ参照)
おしり・ビデ洗浄ができない	配管の凍結防止ヒーターで加熱しすぎるなど給水温度が45℃近い温度で、機器保護のため停止している。	凍結のおそれのない場合は、配管の凍結防止ヒーターを停止してください。

洗剤

現 象	原 因	処 置
洗剤の泡が出ない	洗剤が出ない設定になっている。	洗剤切/入を「大洗浄時のみ」「大小洗浄時」にしてください。（14ページ参照）
	洗剤タンクに洗剤が入っていない。	洗剤を補充してください。（26ページ参照）
	洗剤を補充した後、洗剤開始ボタンを押していない。	本体の 洗剤開始 を押してください。 「ピー」と鳴るまで約1～2分待ってください
	洗剤開始ボタンを押した後、すぐに便器洗浄してしまった。	約1～2分後「ピー」と音が鳴るまで待ってください。
	長時間・長期間使用していない。	故障ではありません。長時間使用しない場合、1回目の洗剤の量が少なくなることがあります。 本体の 洗剤開始 を押してください。 「ピー」と鳴るまで約1～2分待ってください
	洗剤タンクが奥まで入っていない。	洗剤タンクをしっかり押してください。
泡の量が変化する（少ない時、多い時がある）	気温や水温や洗剤の種類によって泡立ちは変化します。	洗剤の投入量を変更してください。 （14ページ参照）
ハネ抑制泡投入の泡が出ない	(CH1601のみ) ハネ抑制泡投入が「切」になっている。	「eco」または「毎回」に設定してください。 （15ページ参照）
	泡が出ない設定になっている。	前回の泡洗浄からの経過時間と設定条件の確認をしてください。（15ページ参照）
	水温が高いと泡残りが少なくなる場合があります。	「洗剤投入量」の設定を「多め」にしてください。 （15ページ参照）

音

現 象	原 因	処 置
洗浄ノズルが動く際に音がする（ゴロゴロ、ギュルギュルなどの音）	洗浄ノズルの動作音です。	故障ではありません。
便器洗浄音が大きい	水道水圧が高い。	止水栓を絞ってください。
便器洗浄後に便器から「ピタ」「ピチャ」という音がする	洗浄後、ターントラップからあふれる水の音です。	故障ではありません。洗浄後の便器洗浄面のため水を確保するためのものです。
便座に座っていないのにファンの動作音がする	脱臭ファンの動作音です。	故障ではありません。
便器からモーター音がする	洗剤の詰まり防止のため、定期的に洗剤ポンプが動く音です。	故障ではありません。
人がいないとき、勝手に洗浄音がする	「便器水位」「定期便器洗浄」「ハネ抑制泡投入」に設定されている。	故障ではありません。（15ページ参照）
便器洗浄時に「パコッ」という音がする	逆流防止装置の動作音です。	故障ではありません。
便器洗浄の前に「ピピッ」という音がして便ふたが閉じる（CH1601のみ）	クローズ洗浄モードを設定している。	故障ではありません。

アラウーノアプリ（CH1601のみ）

位置	現 象	原 因	処 置
本体表示ランプ  CH1601	2回点滅（緑色）を繰り返す。	アラウーノと無線LANルーターの接続に失敗しました。 本体ボタンの Wi-Fi接続 を1回押してください。 Wi-Fi接続ランプが消灯に変わったことを確認し、次の①または②を行ってください。 ①初期設定中の場合は、初期設定を再度行ってください。 ②初期設定が終わっている場合は、もう一度Wi-Fi接続ボタン Wi-Fi接続 を押してください。約3分待ってランプの点滅が点灯に変わることをご確認ください。 **【Wi-Fi接続ランプが点灯に変わらない場合】** 電源プラグを抜いて約1分待ち、再度差し込んでください。 それでも点灯に変わらない場合は、次の内容を確認してください。	
	4回点滅（緑色）を繰り返す。	無線LANルーターの電源が入っていない。	電源を入れる。
	5回点滅（緑色）を繰り返す。	無線LANルーターとアラウーノの距離が遠い。	無線LANルーターを近づけたり、無線LAN中継器を設置したりすると、安定する場合があります。
		無線LANルーターが正しく接続されていない。	無線LANルーターの取扱説明書に従って、正しく接続してください。
		電子レンジなど電波を使用する機器が近くにある。	距離を離す。 電子レンジの場合、レンジの使用を中断したり、時間を置いてから再度試すのもひとつの方法です。
		複数の機器が無線LANルーターに接続されている。	使っていない機器の電源を切る。
	3回点滅（緑色）を繰り返す。	サーバーとの通信に失敗しました。 本体ボタンの Wi-Fi接続 を1回押してください。 Wi-Fi接続ランプが消灯に変わったことを確認し、もう一度本体ボタンの Wi-Fi接続 を1回押してください。 約3分待ってランプの点滅が点灯に変わることを確認してください。 **【Wi-Fi接続ランプが点灯に変わらない場合】** 電源プラグを抜いて約1分待ち、再度差し込んでください。 それでも点灯に変わらない場合は、次の内容を確認してください。	
		サーバーのメンテナンスを実施している。	メンテナンスが完了するまでお待ちください。
		インターネット接続に異常が発生している可能性があります。	プロバイダーや回線業者、無線LANルーターの製造元にお問い合わせください。

定格・仕様

電波法および電気通信事業法に基づく無線設備を内蔵しています。
アプリ対応あり
無線 LAN 機能
Model : DNSK-P11
T D17 0083 201
R 017-170006

品番			CH1601WS□(K)*1 CH1601PWS□(K)	CH1602WS□*1 CH1602PWS□	CH1601WSY□(7) CH1601PWSY□	CH1602WSY□(7) CH1602PWSY□
電源			AC100 V　50/60 Hz			
最大消費電力			345 W(寒冷地仕様 368 W) 待機時電力 1.7 W(連動水栓使用時 +9 W)			
年間消費電力量			173kWh/年（246kW/年）			
電源コード長さ			約1.0 m			
洗浄装置	温水タンク		約0.6 L			
	温水温度		5段階調節（水温～約40 ℃）*2			
	最大流量	おしり	約0.65 L/分（洗浄強さ3段階・リズム）			
		ビデ	約0.65 L/分（洗浄強さ3段階・リズム）			
	熱交換方式(区分*3)		貯湯式			
	ヒーター容量		280 W（保温式）			
	保護装置		温度過昇防止装置、温度ヒューズ、逆流防止装置			
脱臭	脱臭剤		触媒脱臭ハニカム			
	風量		約0.1 m^3/分（パワー脱臭 約0.15 m^3/分）			
	消費電力		2.8 W（パワー脱臭5.5 W）			
暖房便座	表面温度		5段階調節（室温～約38 ℃）*2 (非着座時)			
	便座ヒーター		53 W			
	保護装置		温度ヒューズ			
	開閉機構		便座電動開閉機構 (便ふたは自動便ふた開閉)	バタンレス機構 (閉止機構)	便座電動開閉機構 (便ふたは自動便ふた開閉)	バタンレス機構 (閉止機構)
	便座サイズ		エロンゲート（大型）			
便器 (防露カバー付)	洗浄方式		ターントラップ方式			
	洗浄水量		大：約5.0 L/回*4*5　小：約3.6 L/回*4 (ハネガード使用時　小+約0.9 L)		大：約5.0 L/回*4　小：約3.8 L/回*4 (ハネ抑制使用時　小+約0.9 L)	
	消費電力		12 W			
	凍結防止	流動式	流動水量：約15 L/h（間欠流動方式：10分に1回、約2.5 L/回）*6			
		ヒーター式	AC100 V　50/60 Hz　23 W(電源コード有効長　約1.0 m)[寒冷地仕様のみ]			
	保護装置		バイメタルスイッチ・温度ヒューズ［寒冷地仕様のみ］、逆流防止装置			
リモコン	フラットリモコン		赤外線式ワイヤレスリモコン（単3形乾電池3本）			
	スティックリモコン		赤外線式ワイヤレスリモコン（単4形乾電池3本）			
使用水道圧範囲			0.05 MPa（流動時）～0.75 MPa（静止時）*7			
保護装置			漏電検知機能、着座センサー			
給水温度範囲			0～35℃ *8			
周囲使用温度範囲			0～40 ℃（自動便ふた開動作は30 ℃）*8			
材質	便器		スゴピカ素材（有機ガラス系）			
	外部ケース･便ふた		ASA 樹脂／ABS 樹脂			
	サイドカバー		HIPS（耐衝撃性ポリスチレン）			
	便座・台輪		ポリプロピレン樹脂			
本体寸法（幅×奥行×高さ）			383×700×539(mm)			
リモコン寸法（幅×奥行×高さ）			フラットリモコン　200×23.5×132(mm)、スティックリモコン　222×19×41.5(mm)			
製品質量			約18 kg			
ノズル除菌			●除菌部分…ノズル表面　●除菌方法…流水による洗浄 ●試験機関…(財)日本食品分析センター　●試験方法…熱抵抗性試験法　●試験結果…99%以上			

□……アルファベットが入る場合があります。

*1　寒冷地仕様は品番末尾に(7)、タイル床仕様は品番末尾に(L)がつきます。寒冷地仕様、タイル床仕様は「床排水」のみ。
*2　CH1602＊Y(フラットリモコン)の場合は4段階。　*3　省エネ法(2012年度基準)の区分。
*4　水圧0.2MPa(流動時)。　*5　CH1601＊＊Kは標準(4.8L)、CH160＊＊Xは標準(5.5L)。
*6　設定後、12時間または24時間、便器洗浄の吐水部より間欠的に給水します。(38ページ参照)
*7　水圧が0.1MPa(流動時)以下では、おしり・ビデ洗浄の洗浄水量が少なくなる場合があります。
*8　室温が0℃に近い、および40℃に近い場合、機器の保護のためエラーとなり、ノズル洗浄できません。特に屋外露出配管は、断熱材を巻くなどの処理をお願いします。凍結防止ヒーターで加熱しすぎた場合も保護機能が作動し、ノズル動作できないことがありますのでご注意ください。

著作権など

- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App StoreはApple Inc. のサービスマークです。
- “Wi-Fi®” は、“Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™” 、“WPA ™” 、“WPA2 ™” は、“Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi Protected Setup™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
  なお、本文中では™、® マークは一部記載していません。

●ソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

（1）パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社（パナソニック ハウジングソリューションズ）により、またはパナソニック ハウジングソリューションズのために開発されたソフトウェア
（2）第三者が保有しており、パナソニック ハウジングソリューションズにライセンスされたソフトウェア
（3）GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0（GPL V2.0）に基づきライセンスされたソフトウェア
（4）GPL V2.0 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記（3）（4）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

パナソニック ハウジングソリューションズは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：裏表紙の「アプリ・ネットワーク機能 ご相談窓口」
また、これら著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で閲覧することができます。
https://sumai.panasonic.jp/support/toilet/ch150/network/trademark.html?link=ap_toilet

保証規定

〈免責事項〉 ※保証書裏面に記載の＜無料修理規定＞と合わせてご確認ください。

- 傷等の外観の不具合で、引き渡し時に申し出のなかったもの
- 経年変化または使用に伴う摩耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
- 指定外の燃料・電源（電圧、周波数）の使用および異常水質による故障および損傷
- 維持管理の不備による汚れ、さび、給水管、排水管の詰まりなどの不具合
- 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する故障および損傷
- 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
- 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
- 凍結による損傷、故障
- 清掃業者などの第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合
- 犬・猫・鳥・ねずみなどの小動物や虫などの行為に起因する不具合、故障および損傷

定期点検

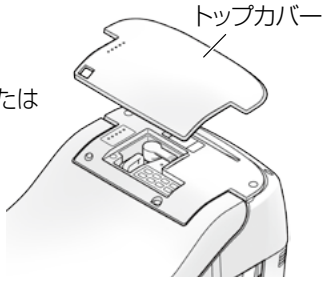
漏電テスト

必ず手順の最後まで行ってください。
手順 3 ～ 5 のリセット操作を行わないと使用できなくなります。

漏電検知回路が正常に機能しているか確認するテストです。異常の場合、漏電が起こった際に正しく検知できず、感電につながる危険があります。1か月に1～2回お客様ご自身で行ってください。

1 トップカバーを外す

（トップカバーの取り外しかたは
10ページ参照）



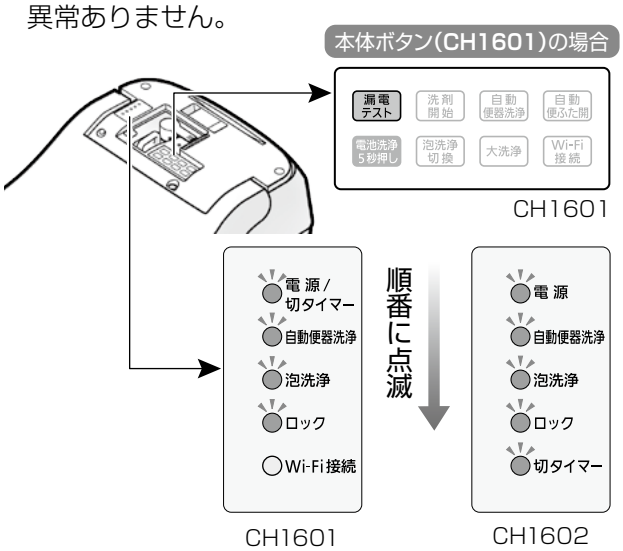
2 漏電テスト を2秒以上押す

次の場合、漏電テスト は使用できません。

- 便座に座っている
- 便器洗浄をしている
- 「ノズル掃除」、「ノズル除菌」を行っている
- 便器水位が低い

異常がない場合 ➡ 3 に進む。

音がなく、本体表示部が順番に点滅していれば異常ありません。



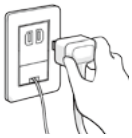
異常がある場合 ➡ **使用中止**

点滅と同時にピー、ピーと音が鳴った場合は漏電検知回路に異常があります。製品の使用を中止し、お買い上げの販売店もしくは修理ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。

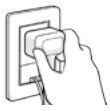
3 トップカバーを戻す



4 異常がないことを確認して、電源プラグをコンセントから抜く

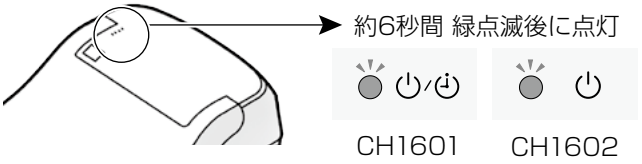


5 1分以上時間をおいて電源プラグをコンセントに差し込む



電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。

※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。



お願い

- 1分以上時間をおいて、電源プラグをコンセントに差し込まないと、正常に動作しない場合があります。
- 正常に動作しない場合は、再び電源プラグをコンセントから抜いて、1分以上おいてから差し込み直してください。

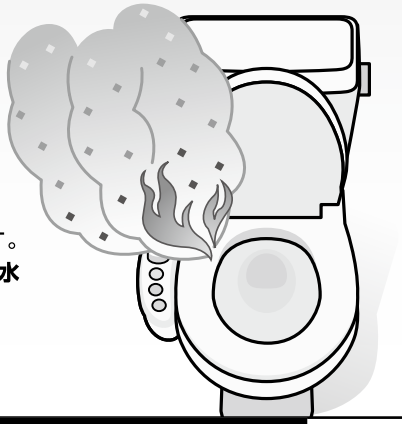
逆流防止装置の定期的な点検のお願い（有料）

逆流防止装置は、5年を目安に点検を受けていただくことをおすすめします。
なお、点検は、お買い上げの販売店もしくは修理ご相談窓口（裏表紙参照）にお問い合わせください。

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります



定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、
定期的な点検（有料）をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。
販売店、工事店またはメーカーへ
ご連絡ください。

故障したままで使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、
販売店、工事店またはメーカーへ
ご連絡ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- □ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある
- □ 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている
- □ 便座にひびや割れがある
- □ 製品から水漏れしている（内部の電子・電気部品が被水）
- □ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている（内部の電子・電気部品が被水）
- □ 電源コードが熱くなっている
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色している
- □ 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある

一般社団法人 **日本レストルーム工業会** http://www.sanitary-net.com

※2015年4月より、（一社）日本衛生設備機器工業会と（一社）温水洗浄便座工業会が合併し、（一社）日本レストルーム工業会になりました。

製品の長期使用に関する本体表示について

1 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがある事を注意喚起するために、以下の内容の表示を本体に行っています。

●製造年（本体に西暦4桁で表示しています。
表示位置は 11 ページを参照してください。）
●注意表記（下記の表記を本体に表示しています。）

【想定安全使用期間】
10年（一般家庭用に設置された場合）
想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

2 想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
※一般家庭用以外（事務所、病院など、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3 標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	機器の定格電圧/周波数による
	温度	20℃	JIS A4422による
	給水温度・給水圧	15℃　0.2MPa	
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422による
想定条件	4人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、小便女性：4回/日・人の使用回数で、1回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A4422による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

4 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

愛情点検　長年ご使用の温水洗浄一体型便器の点検を！

こんな症状はありませんか？

- ●電源コードを動かしたときに電気が入ったり、切れたりしませんか。
- ●本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
- ●異常な臭い（焦げるような）や音が出ていませんか。
- ●触ると電気（ビリビリ）を感じることはありませんか。
- ●プラグ刃のがたつきがありませんか。

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年　月　日

■保証書（別添付）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体2年間
（但し、電気部品は1年間）
＊一般使用以外の用途は除く。

■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

修理を依頼されるとき

■まず、使用機器の電気・水道などの元を断ち、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

①品名
②品番 ※品番記載位置は11ページをご覧ください。
③お引き渡し日
④異常の状況 （できるだけ具体的に）

●保証期間中は、保証規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。 パナソニック　住まい 検索 https://sumai.panasonic.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用 https://sumai.panasonic.jp/parts/

【受付時間】月～金／9:00～18:00　土・日・祝日／9:00～17:00

携帯OK 0120-055-802（ゴーゴー パーツ）
※携帯電話からもご利用になれます。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224

修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでのご依頼も可能です。 https://sumai.panasonic.jp/support/repair/

【受付時間】月～土／9:00～19:00　日・祝日・年末年始／9:00～18:00

携帯OK 0120-872-150（パナニ イコー）
※携帯電話からもご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090

商品のお問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口 https://sumai.panasonic.jp/support/

【受付時間】365日／9:00～18:00

携帯OK 個人のお客様 0120-878-093 ●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6780-5779
携帯OK 法人のお客様 0120-187-150 ●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6904-7270
※携帯電話からもご利用になれます。
●FAX… 0120-872-460

Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo（03）3256-5444　Osaka（06）6645-8787
Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

アラウーノアプリ・ネットワーク接続などのご相談は

水廻り設備 アプリ・ネットワーク機能 ご相談窓口

【受付時間】365日／9:00～18:00

フリーダイヤル 携帯OK 0120-878-104（パナは イチオシ）
※携帯電話からもご利用になれます。

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口における お客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2024
CH921016011
2024年12月発行　Si1224-0

Panasonic

排水管接続手順書

全自動おそうじトイレ
アラウーノ

CH1601／CH1602

**本書は、「アラウーノ専用手洗いユニット（連動水栓）」の
排水管接続手順を記載しております。
各タイプの手順にしたがって、接続してください。**

本書では、便器に向かって左側に手洗いユニットを設置する場合で説明しています。

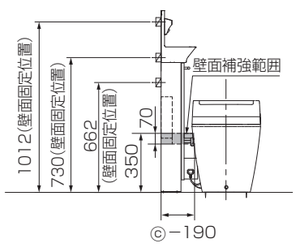
重要 便器を先に設置すると、手洗い側の排水管の接続ができません。
必ず先に手洗い側の排水管を便器に接続してください。

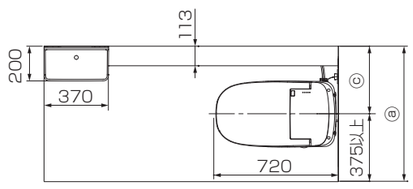
■寸法図・排水管接続図

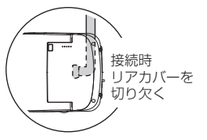
キャビネットタイプ 標準 前出し

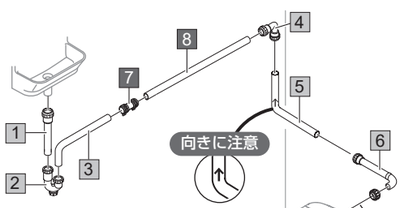
（寸法単位：mm）

ⓐ：トイレルーム間口寸法 ⓑ：手洗い奥行き寸法 ⓒ：便器中心～手洗い設置側壁面	ⓐ寸法	750 ～ 1000mm
	ⓐ＜ 815mm の場合	ⓑ= 1435 ～ 1723mm（10cm 前出し：1535 ～ 1723mm）
	ⓐ≧ 815mm の場合	ⓑ= 1260 ～ 1723mm（10cm 前出し：1360 ～ 1723mm）
	ⓒ寸法	375mm 以上
	ⓒ寸法が 501 ～ 600mm の場合は、別途延長排水管（CH110T08ST）が必要です。	

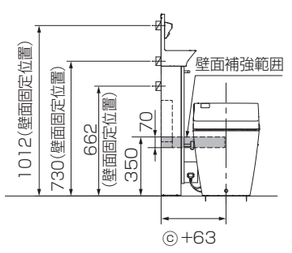


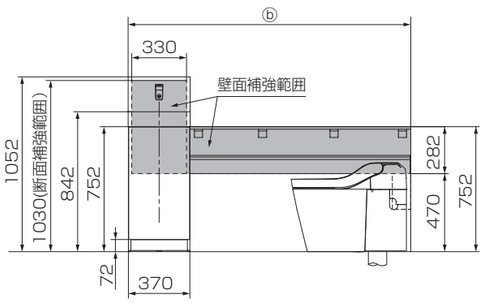






10cm前出しの場合





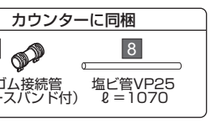
10cm前出しの場合



本体キャビネットに同梱



カウンターに同梱

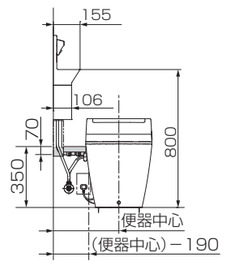


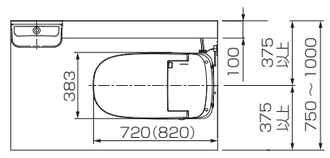
■寸法図・排水管接続図

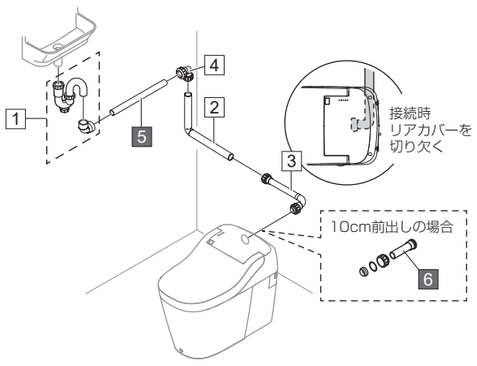
カウンタータイプ 標準 前出し

（寸法単位：mm）

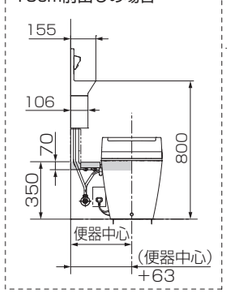
（ ）内寸法は 10cm 前出しの場合です。
　　の部分が壁面補強範囲です。

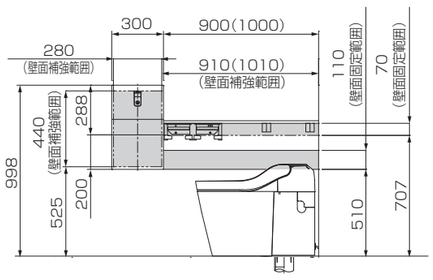






10cm前出しの場合





排水セット

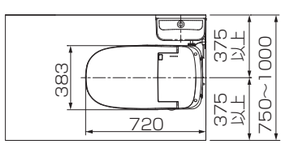
番号	部品名	入り数
1	排水トラップ	1
2	L 管	1
3	導入 L 管	1
4	エルボ	1
5	塩ビ管（VP25）　L=850（950）	1
6	導入ストレート管※	1

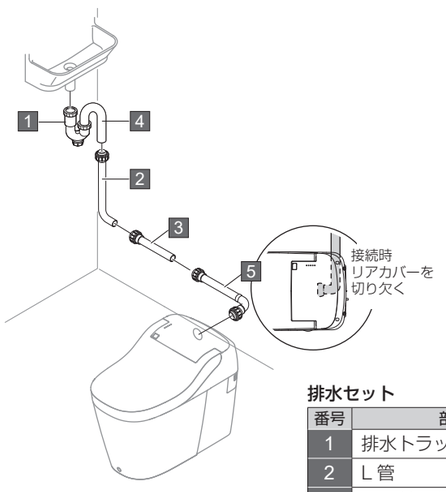
※：10cm 前出しの場合のみ。
（ ）内寸法は 10cm 前出しの場合。

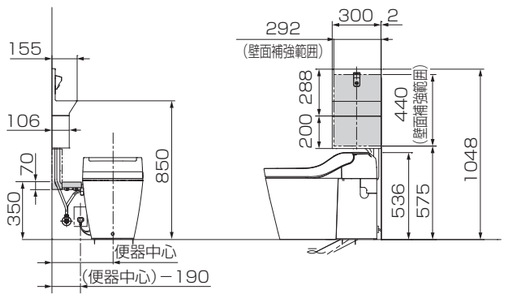
コーナータイプ 標準

（寸法単位：mm）

　　の部分が壁面補強範囲です。







排水セット

番号	部品名	入り数
1	排水トラップ	1
2	L 管	1
3	ねじ付ストレート管	1
4	U 管	1
5	導入 L 管（230 × 52）	1

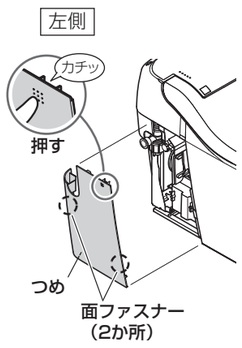
■排水管・電気線と便器の接続　キャビネット・カウンター・ コーナータイプ共通 標準 前出し

（寸法単位：mm）

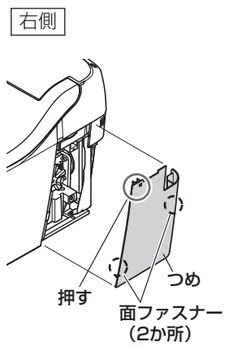
1 排水管と便器の接続

1 サイドカバーを取り外す。

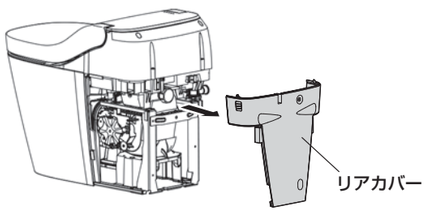
左側



右側



2 リアカバーを取り外す。



3 排水キャップを取り外す。

外しにくい場合は
工具を使ってください。

取り外した排水キャップと
パッキンは使用しません。

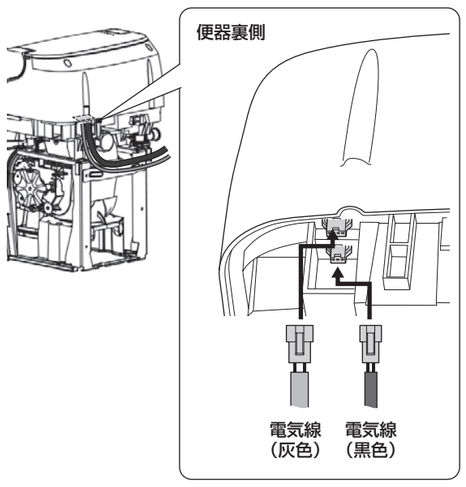


4 リアカバーを加工する。

「塩ビのこ」などを使用して切断し、切断部のバリを取り除いてください。
仕様により切断箇所が異なります。

5 電気線（灰）、（黒）を接続する。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



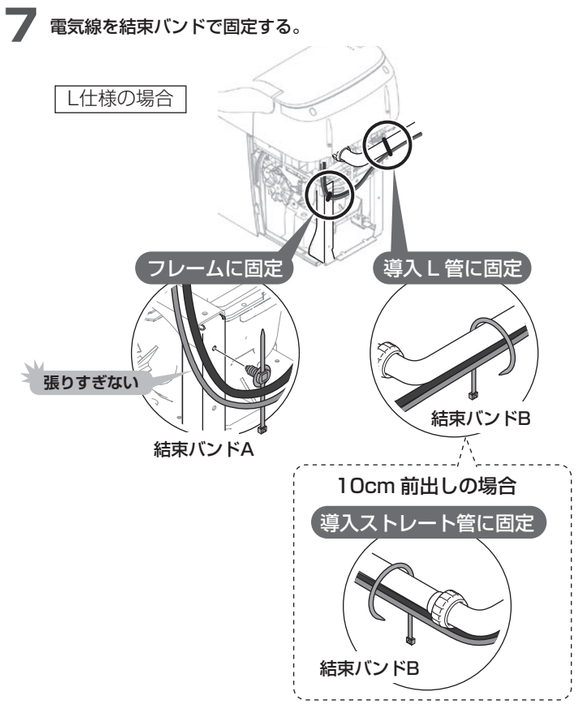
6 手洗い側の排水管を取り付ける。

標準

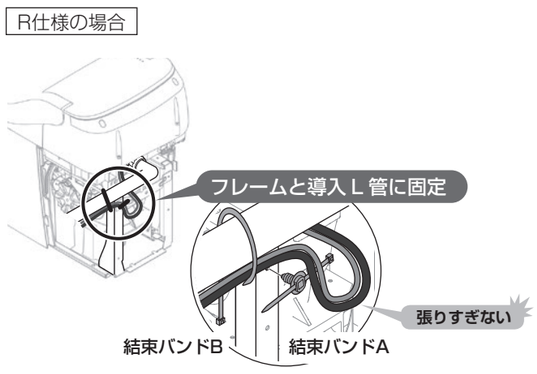
前出し

7 電気線を結束バンドで固定する。

L仕様の場合

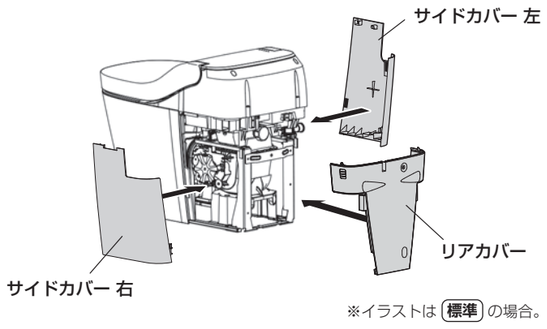


R仕様の場合



8 リアカバーとサイドカバーを元に戻す。

リアカバーは、上部を本体に差し込み、
たわませて下部をはめてください。



※イラストは 標準 の場合。

2 便器の取り付け

別冊　手洗ユニット施工説明書

キャビネットタイプ ➡ 「6 便器の取り付け」へ

カウンタータイプ ➡ 「7 便器の取り付け」へ

コーナータイプ ➡ 「5 便器の取り付け」へ

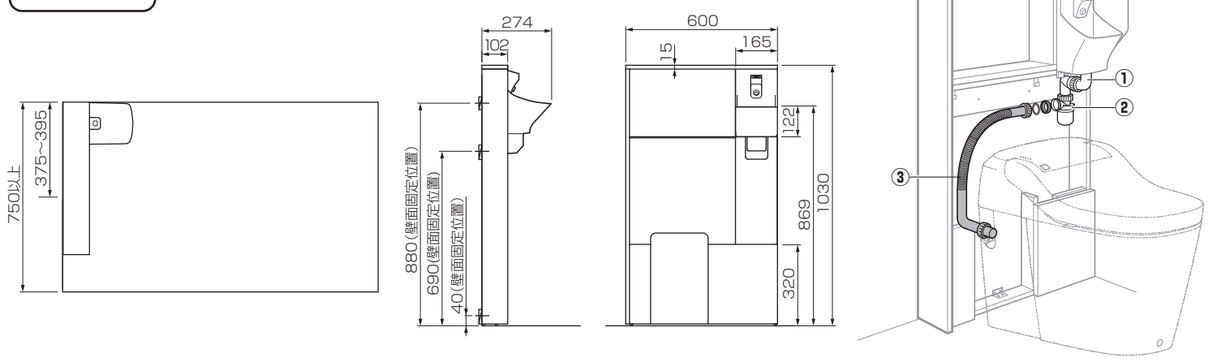
3 試運転と試認

本書裏面の「試運転と確認」を参照

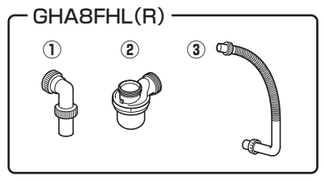
裏面へ➡

■寸法図・排水管接続図　背面タイプ 据置き型 フロート型　（寸法単位：mm）

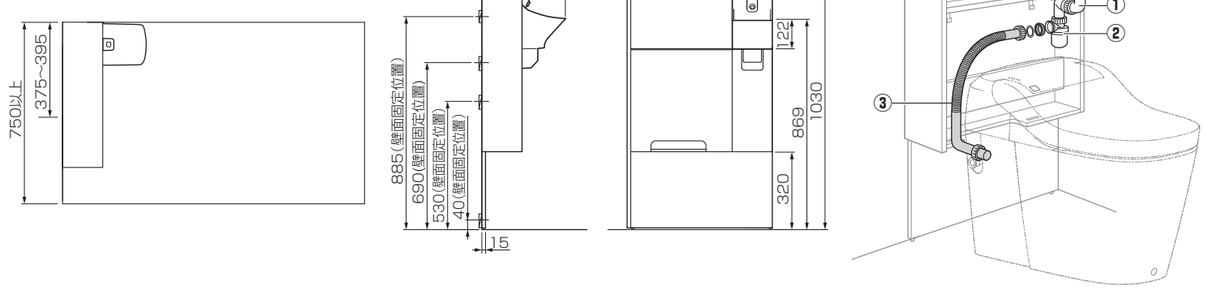
据置き型



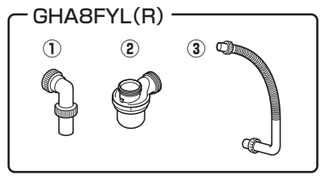
必要部材



フロート型



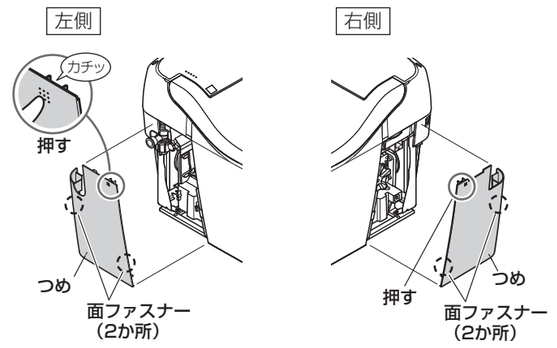
必要部材



■排水管と便器の接続　背面タイプ 据置き型 フロート型　（寸法単位：mm）

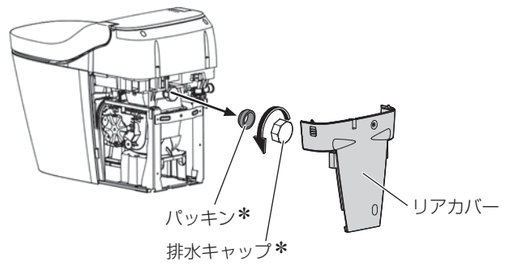
1 排水管と便器の接続

1 サイドカバーを取り外す。

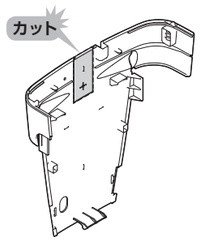


2 リアカバーと排水キャップを取り外す。

＊取り外した後は絶対に使用しない
導入ホースに同梱のパッキンを使用してください。

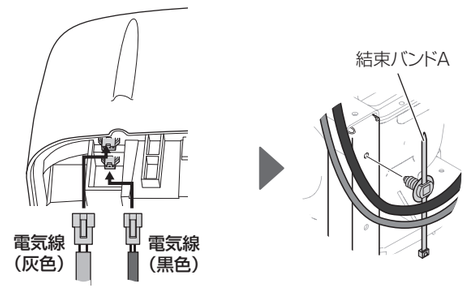


3 リアカバーをカット加工する。



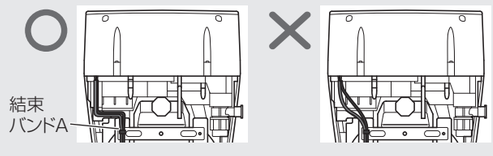
4 電気線を便器に接続する。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

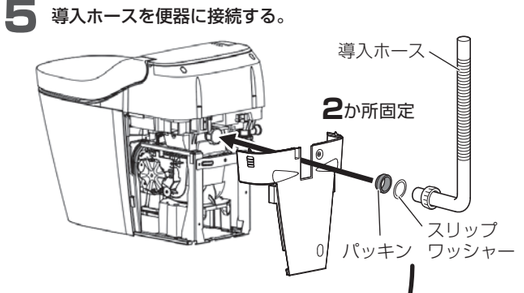


結束バンドAでの固定について

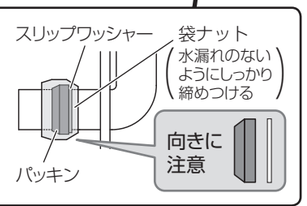
電気線はアラウーノのフレーム幅に収めて固定してください。
フレーム幅に収まっていないと、電気線が干渉してリアカバーが閉まりません。



5 導入ホースを便器に接続する。



パッキンとスリップワッシャーは、袋ナットの中に入る位置までずらしてください。



2 便器と接続する

別冊　手洗ユニット施工説明書

据置き型　「7 便器と接続する」へ

フロート型　「7 便器と接続する」へ

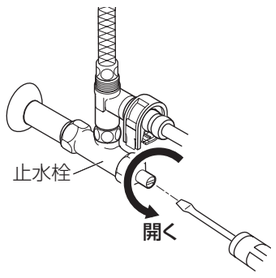
3 試運転と確認

下記「試運転と確認」を参照

■試運転と確認　全タイプ共通

1 試運転

① アラウーノ本体の施工説明書に従ってアラウーノ本体への給水と通電を行ってください。

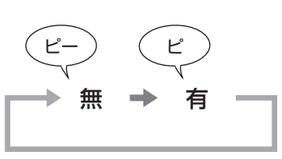


② リモコンでアラウーノの「手洗い有無」の設定を「有」にする。

「手洗い有無」の設定を「有」にすると、手洗いの水が出る設定になります。

便 座 と パワー脱臭＊ を同時に2秒間押すごとに「有／無」が切り換わる。

CH1602＊G(スティックリモコン)の場合：「大洗浄」と「ビデ」



お願い

初めて吐水するときは、給水ホースの空気も一緒に出るため水が勢いよく飛び出します。
壁や床がぬれないようご注意ください。

③ リモコンの 大 を押す。

④ リモコンの 小 を押す。

⑤ 本体ボタンの 大洗浄 を押す。

お願い

同時に手洗いから吐水されることを確認してください。

⑥ 手洗いボールの 止/出 ボタンを押す。

手洗いから吐水することを確認してください。

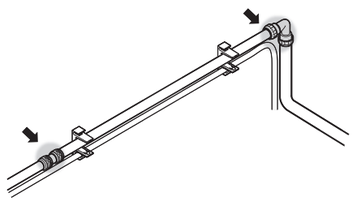


2 水漏れの確認

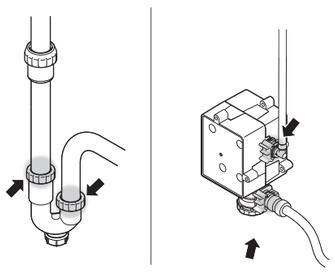
① 配管接続部を増し締めする。
緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。

② 水漏れが無いか確認する。

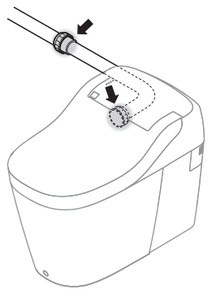
カウンター内配管の水漏れ確認



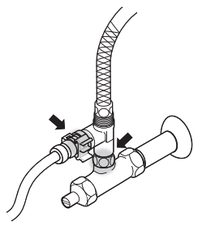
キャビネット内配管の水漏れ確認



排水管の水漏れ確認



止水栓の水漏れ確認



CH1602＊Gの場合は、取扱説明書の「管理モード」を参照してください。

低水圧地域の場合　（出荷時設定：連動）

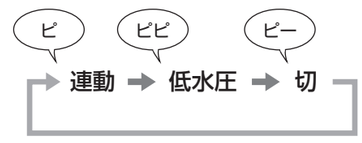
次の場合は手洗い連動モードを**「低水圧」**に設定してください。

・便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき。

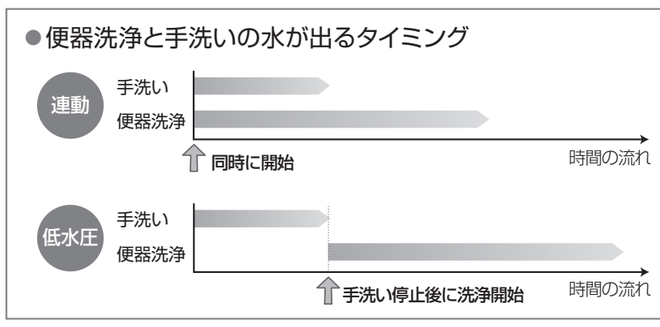
※設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。
※設定を変更しても便器洗浄水が1周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。

温水＊ と ノズル除菌＊ を同時に2秒間押すごとに、モードが切り換わる。

CH1602＊G(スティックリモコン)の場合：「小洗浄」と「おしり」



●便器洗浄と手洗いの水が出るタイミング



水栓数の変更　（出荷時設定：通常モード）

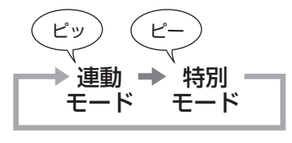
水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が**有効**となる場合に設定してください。

・一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは2栓となりますが、下記の設定により、1栓とカウントされる場合があります。

特別モードにすると、手洗いの止/出ボタンの吐水が無効となります。必ずお使用されるお客様にご説明ください。

パワー脱臭＊ と ノズル除菌＊ を同時に2秒間押す

CH1602＊G(スティックリモコン)の場合：「大洗浄」と「おしり」



アラウーノ専用手洗い（連動水栓）を施工した場合
別紙「アラウーノ専用手洗い（連動水栓）使いかたガイド」を必ず施主様にお渡しください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

©Panasonic Corporation 2020

TIMS107
B1020-0

Panasonic

施工説明書
温水洗浄一体型便器

全自動おそうじトイレ

アラウーノ

CH1601/CH1602



施工手順を動画で見る
https://www.youtube.com/watch?v=BpoPHtJdFtA

品番

タイプ		便器	給排水部材セット	対応排水芯
床排水タイプ	標準	CH160*□□■(7)(L)	CH160F■(CH160FM■)	120 mm・200 mm
		CH160*□□G■(7)		
	リフォーム	CH160*□□■(7)(L)	CH160FR■(CH160FM■)	305 mm～470 mm
		CH160*□□G■(7)		
	リフォームダイレクト	CH160*□□■(7)(L)	CH160FW■	305 mm～510 mm
		CH160*□□G■(7)		
壁排水タイプ	標準	CH160*P□□■	CH160FP■	120 mm・155 mm(別途、CH160Zの手配が必要です)
		CH160*P□□G■		

※ *…アプリ対応あり：1　アプリ対応なし：2
※ □□…便ふたあり仕様：WS　便ふたなしキャップ仕様：FC
※ ■ …アルファベットが入る場合があります
(7)…寒冷地仕様　(L)…タイル床仕様
※CH160FMは、標準タイプの床フランジとリフォームタイプの排水アジャスタが同梱された、配管セットマルチタイプです。

もくじ

安全上のご注意 2
施工チャートともくじ 5
取り付け前に 8
各部の名前と部品表 9
寸法図 12
給水位置の確認と止水栓の取り付け 14
●床排水タイプ
標準タイプの取り付け 15
リフォームタイプの取り付け 20
リフォームダイレクトタイプの取り付け 25
●壁排水タイプ
後ろ抜きの場合 30
排水ジョイント接続の場合 33
共通の施工手順 41
施工後の確認 裏表紙
引き渡し 裏表紙

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」（2～4ページ） は、施工前に必ずお読みください。
■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
■施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。
■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止	してはいけない内容です。
必ず守る	実行しなければならない内容です。

⚠警告

禁止

全般

- **分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対に行わない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **浴室など湿気の多い場所に設置しない**
- **水洗いができる床に設置しない（タイル床仕様、CH160＊＊Gを除く）**
  感電・火災・故障の原因になります。

電気に関すること

- **電源コードを無理に引っ張らない**
  けがや発火、発煙の原因になります。
- **便器の操作部、電源プラグに水や汚水をかけない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **ぬれた手で電源プラグを触らない**
  感電の原因になります。
- **便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

電気に関すること

- **傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない、また電源コードの屈曲など破損するようなことはしない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない**
  感電や火災のおそれがあります。

必ず守る

全般

- **必ず施工説明書に従って施工する**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **必ず上水道に接続する**
  上水道以外に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

電気に関すること

- **必ず交流100 Vで使用する**
- **コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する**
  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- **アース工事［D種（第3種）接地工事、接地抵抗100 Ω以下］を行う**
  接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。

電池に関すること＜リモコン＞

- **電池の ⊕ 、⊖ を正しく入れる**
  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

漏電・火災の防止

- **電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う**
  漏電・火災の原因になります。

⚠注意

禁止

全般

- **便器に固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当てたりしない**
  変形・破損によるけがの原因になります。

- **設置後、便器本体を一度取り外す場合は、洗剤タンクが入ったまま便器本体を横置き、ななめ、裏返しにしない**
  洗剤が漏れ、感電・火災の原因になります。

⚠注意

禁止

水漏れ防止

●給水ホースや排水管などに力を加えない
水漏れの原因になります。

●止水栓を開いたままストレーナを外さない
水が噴き出し拡大損害になります。

●給水ホースに手をかけない
水漏れの原因になります。

壁排水タイプ（水漏れ防止）

●排水ジョイントを逆こう配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

●排水ジョイントを無理に曲げない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

必ず守る

水漏れ防止

●給排水接続は必ず正しい方法で施工する
破損・水漏れの原因になります。

●水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う
破損・水漏れの原因になります。

●排水管は奥まで十分に差し込み、接続する
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

●止水栓にがたつきのないことを確認する
水漏れの原因になります。

●床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

●給排水の接続には必ず指定のパッキンを使用する
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

●床排水タイプ本体のフレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける
便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。
便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

●型紙を使って必ず専用の床固定ねじで施工をする
水漏れの原因となります。

●ストレーナをしっかりと締め付ける
破損・水漏れの原因になります。

●止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く
商品の破損や水漏れの原因になります。

必ず守る

水漏れ防止

●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する
水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

●床からの浮きがないようにしっかりと固定する
便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

●既設排水管切断面のバリは、必ず取り除く
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

●2階以上のトイレルームに設置する場合は、必ず排水管まわりにシーリングを行う
シーリングをしないと階下への水漏れのおそれがあります。

●施工後に必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する
水漏れによる拡大損害の原因になります。

壁排水タイプ（水漏れ防止）

●便器に接続する排水管は、必ず1/50以上の十分な排水こう配をとる
水漏れの原因になります。

禁止

洗剤・薬品に関すること

●便器のお手入れには下記洗剤を使用しない

製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。
（取扱説明書43ページ参照）

【使用してはいけない洗剤】

- ●酸性洗剤　●アルカリ性洗剤 *1
- ●重曹、アルコールを含む洗剤 *2
- ●トイレ掃除用ペーパー*3
- ●オレンジオイルを含む洗剤
- ●柑橘系の香りを有する洗剤
- ●消臭剤　●滴下するタイプの消臭液
- ●苛性ソーダや強塩酸などの薬品
- ●シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1… 湿布法（取扱説明書46ページ参照）でお手入れを行う場合は使用可能です。

*2… エタノール、イソプロピルアルコールなど

*3… 花王製トイレクイックルは使用可能です。（当社試験により確認済み）

⚠注意

禁止

標準タイプ
床排水タイプ（床フランジ）

**●床フランジを無理な力で固定しない
また、割れたまま使用しない**

水漏れの原因になります。

必ず守る

**●リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、
また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、
奥まで十分接着する**

床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

●床フランジが床からの浮きや、がたつきがないようにしっかりと4か所を締め付ける

締め付けが悪いと便器がぐらついたり、
水漏れのおそれがあります。

禁止

リフォームタイプ
床排水タイプ（排水アジャスタ）

●Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない

排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

必ず守る

リフォームタイプ
床排水タイプ（排水アジャスタ）

●既設床フランジにしっかり固定する

水漏れの原因になります。

●排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット（2か所）をしっかりと締め付ける

水漏れの原因となります。

●排水アジャスタの接着は接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込んで接着する

施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

●床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く

バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

●がたつきがないことを確認する

水漏れの原因になります。

必ず守る

凍結防止

●設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする

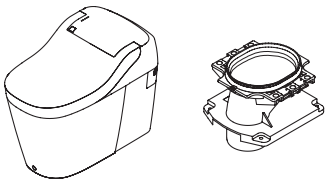
破損・水漏れの原因になります。

●寒冷地以外の地域でも、屋外配管・露出配管については、凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する

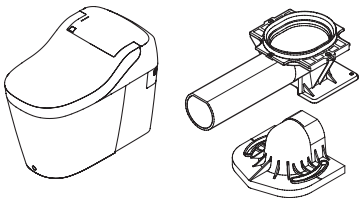
冬場周囲温度が0 ℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れする原因になります。

施工チャートともくじ　床排水タイプ

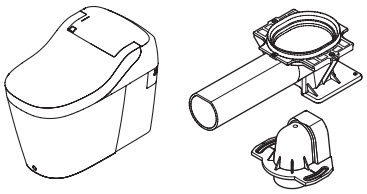
標準タイプ
15〜19 ページ



リフォームタイプ
20〜24 ページ



リフォームダイレクトタイプ
25〜29 ページ



標準タイプ／リフォームタイプ／リフォームダイレクトタイプ　**共通の確認・取付手順**

給水位置の確認 ……14
止水栓の取り付け ……14

床工事 ……15
既設便器の取り外し ……20
既設便器の取り外し ……25

手洗いの取り付け（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照）　オプション

標準タイプ

床フランジとリングの取り付け …16
床フランジの取り付け ……17
サイドカバーの取り外し……18
便器の取り付け ……18

リフォームタイプ

床アジャスタの切断……20
排水アジャスタの組み立て…22
排水アジャスタの取り付け…23
サイドカバーの取り外し……24
便器の取り付け ……24

リフォームダイレクトタイプ

床アジャスタの切断……25
排水アジャスタの組み立て…27
排水アジャスタの取り付け…27
サイドカバーの取り外し……29
便器の取り付け ……29

標準タイプ／リフォームタイプ／リフォームダイレクトタイプ　**共通の施工手順**

止水栓への接続 ……41
リモコンの準備 ……42
本体への給水と通電……43
洗剤タンクの取り付け……44
便器洗浄と水漏れの確認 ……45
便器洗浄水量の調節……45
試運転 ……46
ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除 ……49
水抜き方法 ……50
シーリング方法（CH160＊＊Gのみ）……51
サイドカバーの取り付け ……51
リモコンのチャンネル変更 ……52
施工後の確認 ……裏表紙

施工チャートともくじ　壁排水タイプ

●後ろ抜きの場合

120 タイプ／ 155 タイプ　　共通の確認・取付手順

給水位置の確認 ……14
止水栓の取り付け ……14

120タイプの場合

配管工事 ……30
床工事 ……30

155タイプの場合

台輪の施工説明書 オプション
2ページ 1 給水位置の確認

配管工事 ……30
床工事 ……30

手洗いの取り付け　オプション
（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照）

排水管と本体の接続 ……31
便器の取り付け ……40

台輪の施工説明書 オプション
2ページ 2 型紙の組み立て
〜
5ページ 7 便器の取り付け

120 タイプ／ 155 タイプ　　共通の施工手順

止水栓への接続 ……41
リモコンの準備 ……42
本体への給水と通電 ……43
洗剤タンクの取り付け ……44
便器洗浄と水漏れの確認 ……45
便器洗浄水量の調節 ……45
試運転 ……46
ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除 ……49
水抜き方法 ……50
シーリング方法（CH160＊＊Gのみ）……51
サイドカバーの取り付け ……51
リモコンのチャンネル変更 ……52
施工後の確認 ……裏表紙

●排水ジョイント接続の場合

給水位置の確認……14
止水栓の取り付け……14
既設便器の取り外し……33
床工事……33

排水管の中心から床まで　100～120mm

排水ジョイントS
排水管と本体の接続 …34 1 ～ 35 4 まで

排水ジョイントL
排水管と本体の接続 …37 1 ～ 38 4 まで

排水管の中心から床まで
135～155mm

手洗いの取り付け オプション
（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照）

手洗いの取り付け オプション
（アラウーノ専用手洗い背面タイプ フロート型のみ施工可能）

手洗いの取り付け オプション
（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照）

排水ジョイントS
排水管と本体の接続…36 5 6

排水ジョイントL
排水管と本体の接続…39 5 6

台輪の施工説明書 オプション
6～12ページ

便器の取り付け……40

全タイプ　**共通の施工手順**

止水栓への接続……41
リモコンの準備……42
本体への給水と通電……43
洗剤タンクの取り付け……44
便器洗浄と水漏れの確認……45
便器洗浄水量の調節……45
試運転……46
ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除……49
水抜き方法……50
シーリング方法（CH160＊＊Gのみ）……51
サイドカバーの取り付け……51
リモコンのチャンネル変更……52
施工後の確認……裏表紙

取り付け前に

〈公的機関の確認事項〉

1. 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
2. アラウーノ便器は不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基づき設置してください。

〈電気関連の注意事項〉

1. 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。
2. AC100V埋め込みアースターミナル付コンセントが必要です。以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

仕様		必要なコンセントの数
便器のみ設置	寒冷地仕様	2個(アース付)
「アラウーノ専用手洗ユニット」と併設	自動水栓	2個(アース付)
	自動水栓+寒冷地仕様	3個(アース付)

3. 製品のコード長さは1.0 mです。電源コンセントはこれに適した位置へ設置してください。

〈水関連の注意事項〉

1. 水道配管工事は各都市水道局の指定店にご依頼ください。
2. 使用水道圧範囲は0.05 MPa(流動時)～0.75 MPa(静止時)です。アラウーノ専用手洗ユニットを併設する場合の使用水道圧範囲は0.1 MPa(流動時)～0.75 MPa(静止時)です。洗面所や浴室などで同時に水栓金具を使用した場合、使用水道圧(流動時動水圧)が低下します。使用水道圧(流動時動水圧)を測定する場合は、必ず同時使用状態で最低使用水道圧(流動時動水圧)が確保されているかをご確認ください。
3. 上水道でのみご使用ください。井戸水(地下水)を使用された場合、商品の故障の原因となります。
4. 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
5. 向かって右に給水位置がある場合、オプションの延長給水ホースが必要となります。

長さ	品番
1 m	CH100R01

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

〈床工事関連の注意事項〉

1. 2階以上に設置の場合には、トイレ床面の防水工事をおすすめします。
2. 床仕上げは必ず水平にしてください。床面が水平でない場合は、便器がぐらついたり水漏れするおそれがあります。
3. 便器を取り付ける床面の強度が十分(24 mm厚以上の合板)でない場合、24 mm厚以上の合板で床面を補強してください。

〈その他〉

1. 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
2. 次のような場合に動作に影響するおそれがあります。

   【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあたっている場合】
   直射日光をカーテンなどで遮断してください。

   【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】
   リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
   製品の納入前に必ず現場をご確認ください。

   【同室で2台以上並べて設置される場合】
   隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。もしくは、リモコンのチャンネル変更をしてください。(52ページ参照)
3. タイル床仕様、CH160**G以外は水洗い掃除ができる床には設置することができません。商品の故障の原因となります。
4. トイレ用床材(木質床材、クッションフロアなど)の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性などに十分ご配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床に染みが発生することがあります。
5. 製品の使用温度範囲は0～40 ℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
6. 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
7. 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置はお避けください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。
8. 2階以上に設置する場合、排水管内の圧力の影響を緩和するために、通気管を設けることをおすすめします。
9. 水道水を使用して検査をしています。
   ●開栓、施工時に多少の水滴が出ることがありますが、異常ではありません。
   ●検査時の残水が凍結している場合がありますので、温めてから施工してください。
10. リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。
11. 「アラウーノアプリ」のサービスのご利用には、スマートフォンと専用のアプリケーション、Wi-Fi環境が必要です。

改訂履歴

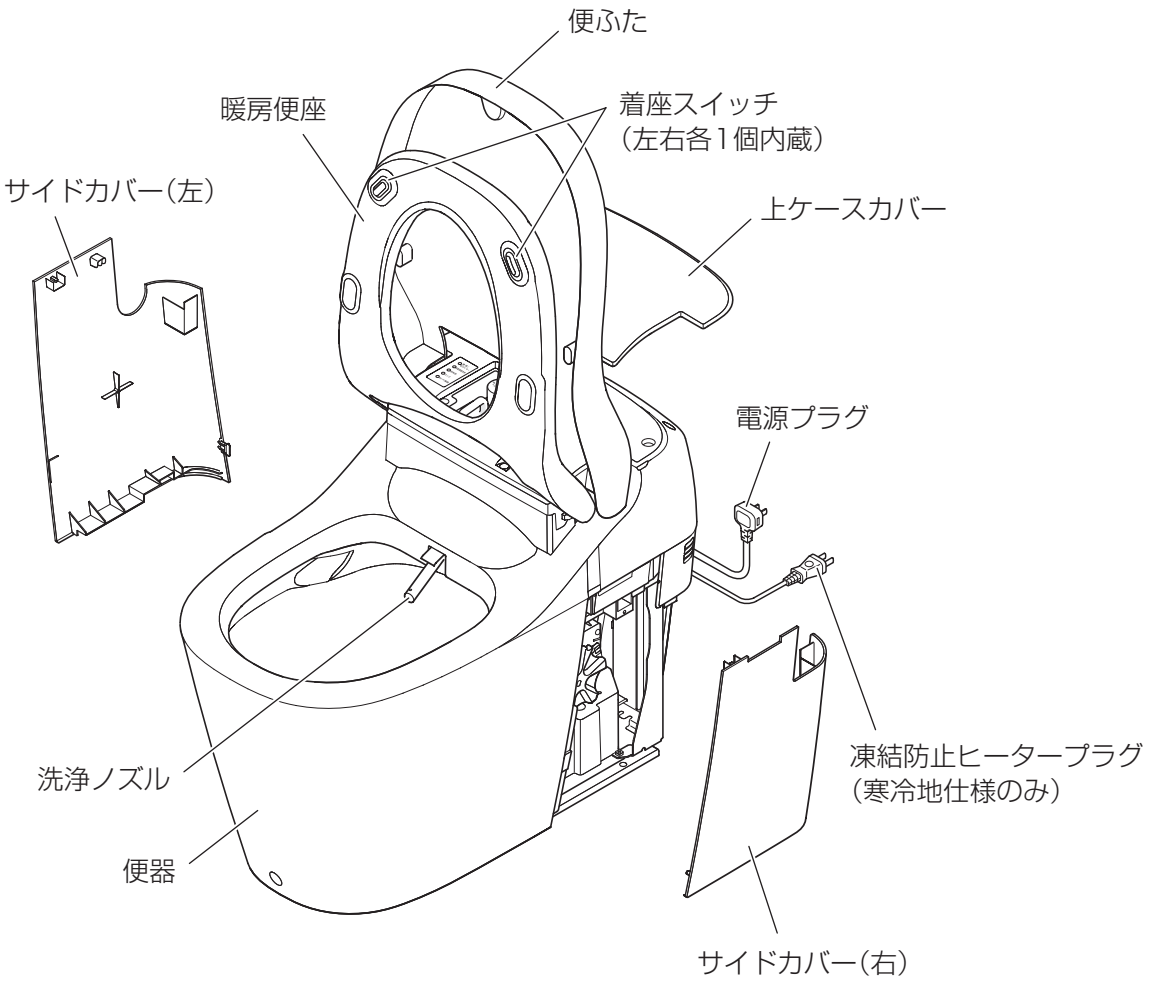
改訂年月	NO.	改訂ページ	改訂内容
2021年　9月	1	表紙	施工手順動画の記載追加
		3、43	警告表示の項目修正
		19、24、29、40	前固定穴キャップ イラスト修正
		32、34、37、51	サイドカバー つめの記載修正
		43、52、53	リモコンLEDランプ イラスト修正
2021年　12月	2	43	誤記修正
2022年　3月	3	2、5～11、43～46、48、50、裏表紙	非住宅 タイプ1の内容追加
2022年　11月	4	5、11、16～19	床フランジ イラスト修正、部品表の記載追加、取り付け前にの項目修正
2023年　5月	5	10、19、24、29、40	便器取付ねじ変更
2024年　7月	6	表紙、45	取扱説明書修正に伴い、更新
2024年　12月	7	表紙、裏表紙	表紙右下 QRコード更新、裏表紙右下 品番修正

各部の名前と部品表

〔寸法単位：mm〕

●施工前に同梱部品を必ず確認してください。

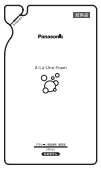
便器本体　※イラストは床排水仕様で説明しています。

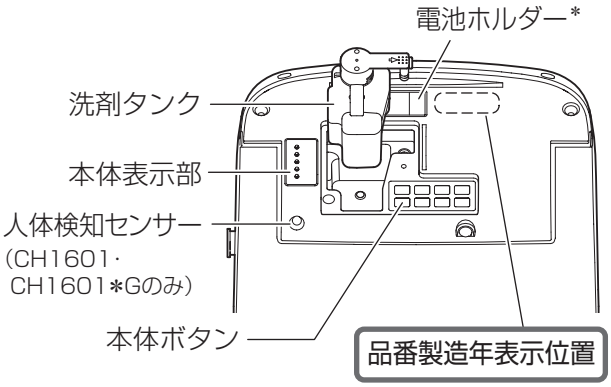


施工時に必要な工具類

- ●ドライバー⊕、⊖
- ●モンキーレンチ
- ●ラチェットレンチ（M6、M8ボルト締め付け用）
- ●塩ビ用接着剤
- ●シールテープ
- ●のこぎり（リフォームタイプ）

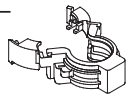
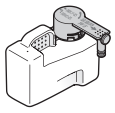
洗剤



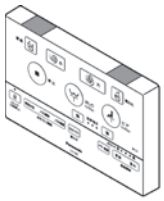
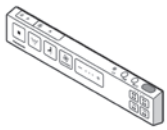


＊使用電池（別売品）
停電時に便器を排水するための電池です。
9V角形アルカリ乾電池はお近くの電器店・
コンビニエンスストアなどでお買い求めください。

各部の名前と部品表

部品名	入り数
便器本体	1
洗剤	1
給水ホース（長さ350mm）パッキン(青) 	1
クイックファスナー 	1
洗剤タンク 	1
説明書セット*3 取扱説明書 	1
施工説明書（本書） 	1
保証書 *4 	1
単3形乾電池（フラットリモコンの場合） 	3

部品名	入り数
壁排水タイプのみ同梱 接続パッキン 	1
型紙	1
固定片セット トラスタッピンねじ *1 φ5×35 	2
固定片 	1
便器取付ねじセット アプセットタッピンねじ φ6×40 	2
平座金（6×16×1.0） 	2
なべタッピンねじ φ5×60 	1
前固定穴キャップ 	1
単4形乾電池（スティックリモコンの場合） 	3

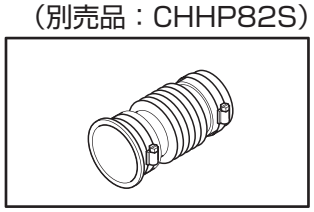
部品名	入り数
リモコンねじセット 皿ねじ φ3.5×16 	3
皿ねじ φ3.5×38	3
アンカープラグ 	3
イタズラ防止ねじ *2 M2×6	1
リモコンセット リモコン・リモコンホルダー フラットリモコン（図はCH1601です）  スティックリモコン 	各1

＊1…155タイプで台輪セットを使用する場合、この部品は使用しません。台輪セットに同梱のねじを使用してください。
＊2…このねじはCH160＊＊Gのみ使用します。お客様と十分ご相談のうえ、イタズラ防止が必要な場合のみ、精密ドライバーでねじを取り付けてください。（固定方法は43ページを参照してください。）
＊3…CH160＊＊Gは、「リモコンの使い方ガイド」が同梱されています。
＊4…CH160＊＊Gは、取扱説明書に保証書付き。

■止水栓セット（別売品：CH160FP）

部品名	入り数
止水栓本体 	1
給水管  ※155タイプの床給水の場合は長さ90mm～130mmの給水管を別途手配してください。	1
わん座 	1

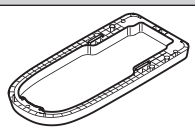
■排水ジョイントS（別売品：CHHP82S）



■排水ジョイントL（別売品：CHHP80L）



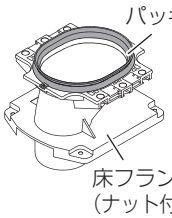
■台輪セット（別売品：CH160Z）

部品名	入り数
台輪 	1
台輪ねじセット トラスタッピンねじ φ4.5×50 	3
トラスタッピンねじ φ5×70 	2
アプセットタッピンねじ φ6×80 	2
平座金（6×16×1.0） 	2
施工説明書 	1

配管セット（別売品）

標準タイプ

品番
CH160F



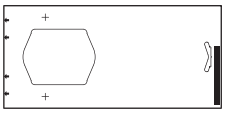

VU75用
リング


VP100用
リング


VU100用
リング

トラスタッピンねじ φ5×35 4
六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

標準用型紙



固定片



止水栓セット

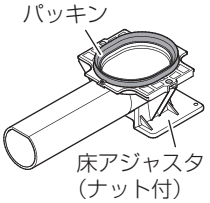


トラスタッピンねじ φ5×35 2

※VP／VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。

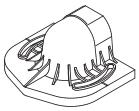
リフォームタイプ

品番
CH160FR



六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

床フランジ接続部＊5

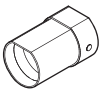


T形ボルト φ5×35 2
平座金 (8.5×22×1.5) 2
ナット M8 2

トラスタッピンねじ φ5×35 2

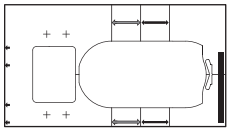
Pシール

ソケット

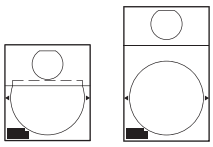


※排水位置が411～470の場合はソケットが必要です

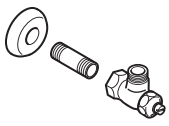
リフォーム用型紙1



リフォーム用型紙2



止水栓セット



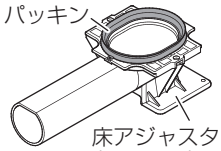
固定片



トラスタッピンねじ φ5×35 2

リフォームダイレクトタイプ

品番
CH160FW



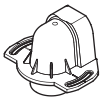

VU75用
リング


VP100用
リング


VU100用
リング

六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

床フランジ接続部



トラスタッピンねじ φ5×35 4

平座金 (5.5×12×0.8) 2

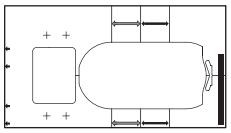
ソケット



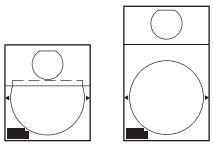
※排水位置が411～510の場合はソケットが必要です

※VP／VU100用リングは、床フランジ接続部に仮固定されています。

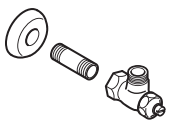
リフォーム用型紙1



リフォーム用型紙2



止水栓セット



固定片

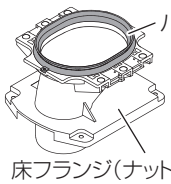


トラスタッピンねじ φ5×35 2

マルチタイプ

品番
CH160FM

床フランジセット



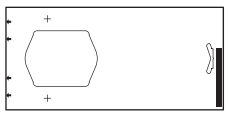

VU75用
リング


VP100用
リング

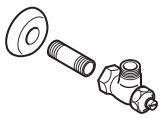

VU100用
リング

トラスタッピンねじ φ5×35 4
六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

標準用型紙

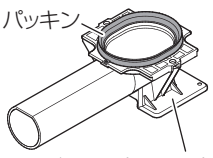


止水栓セット



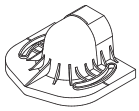
※VP／VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。

床アジャスタセット



六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

床フランジ接続部＊5

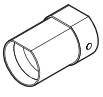


T形ボルト φ5×35 2
平座金 (8.5×22×1.5) 2
ナット M8 2

トラスタッピンねじ φ5×35 2

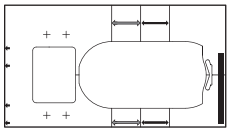
Pシール

ソケット

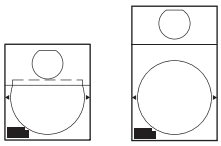


※排水位置が411～470の場合はソケットが必要です

リフォーム用型紙1



リフォーム用型紙2



固定片



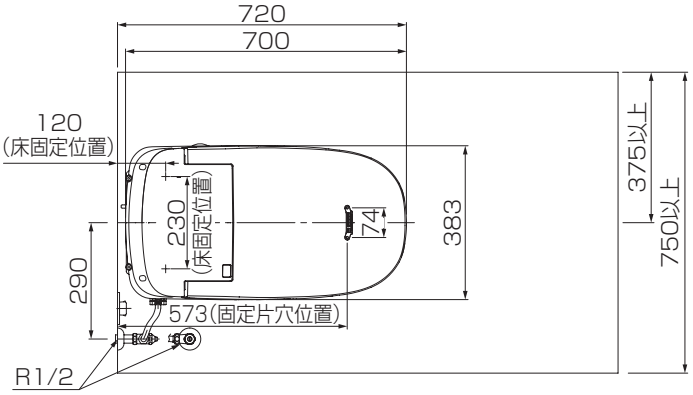
トラスタッピンねじ φ5×35 2

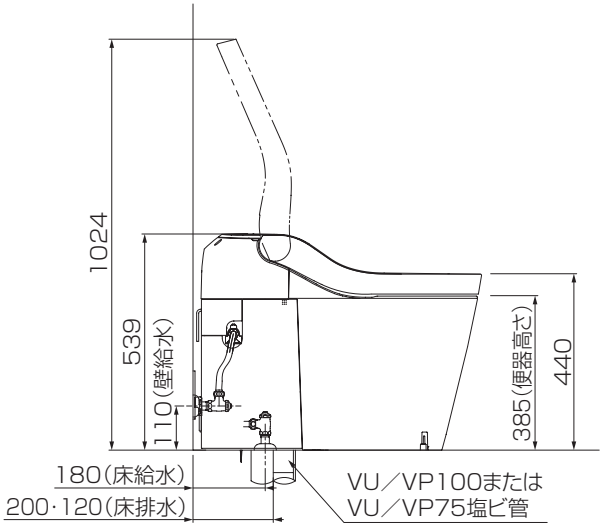
＊5…新築や、既設の床フランジの損傷が激しい場合は、別途アラウーノリフォーム用既設床フランジ（CH120FR01）を手配してください。

寸法図　床排水タイプ

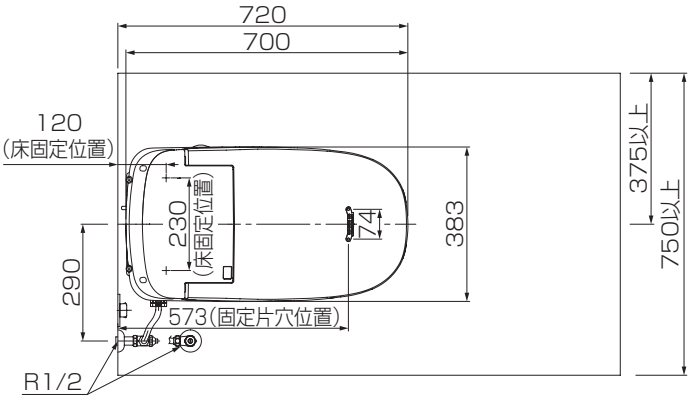
〔寸法単位：mm〕

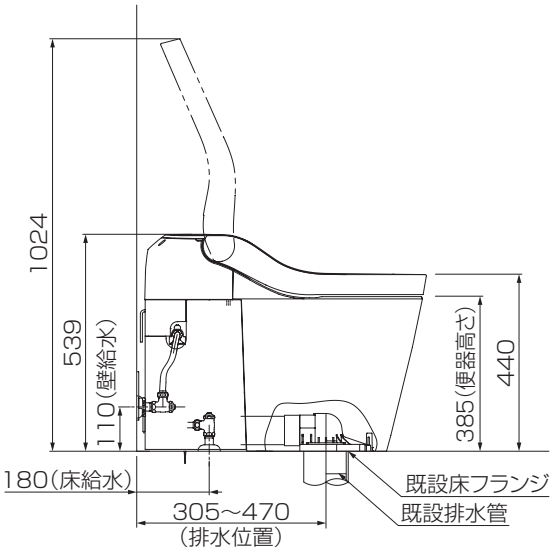
標準タイプ



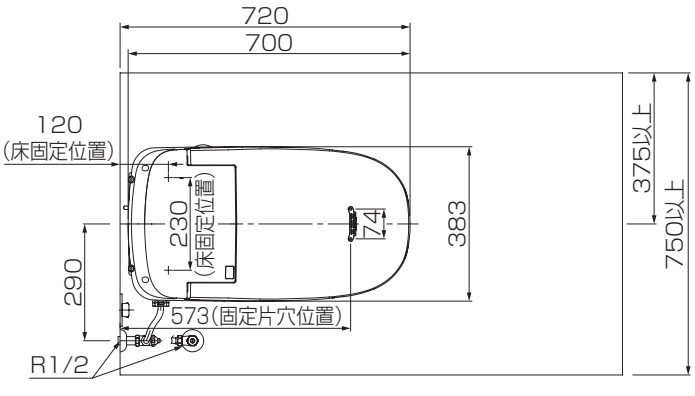


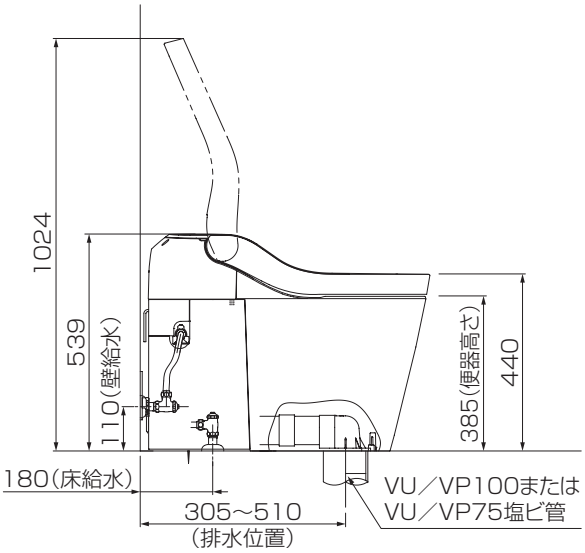
リフォームタイプ





リフォームダイレクトタイプ

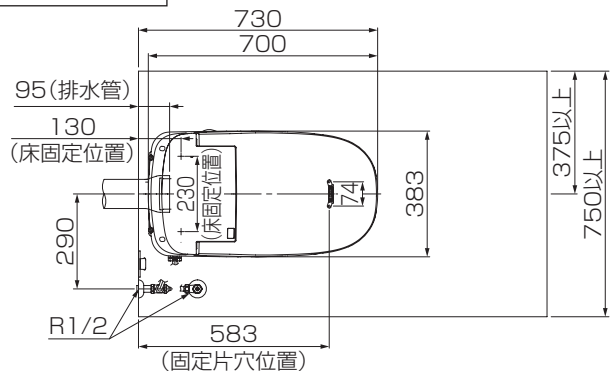


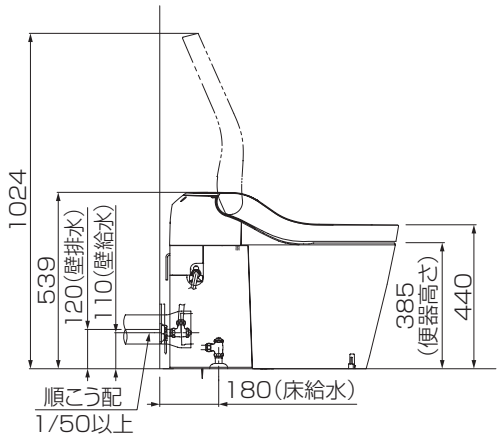


寸法図 壁排水タイプ

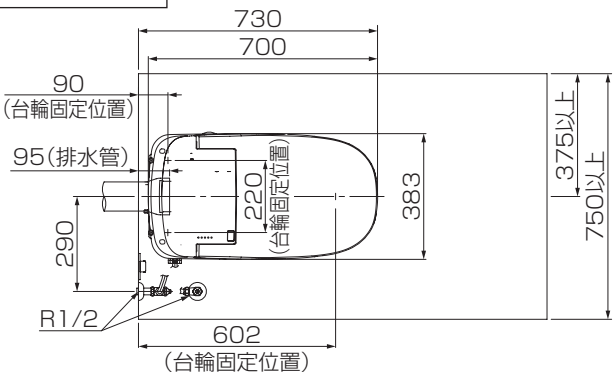
〔寸法単位：mm〕

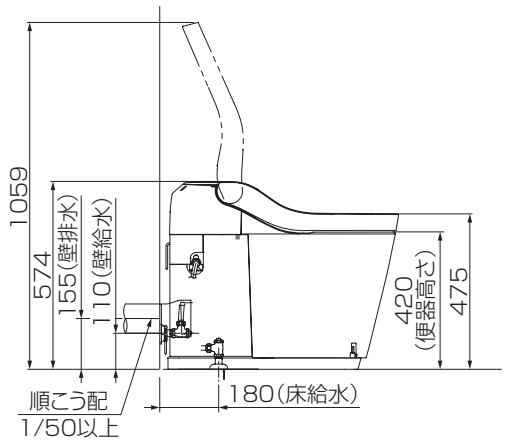
120タイプ



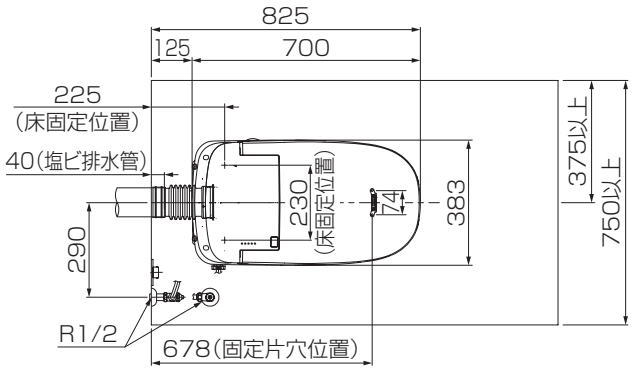


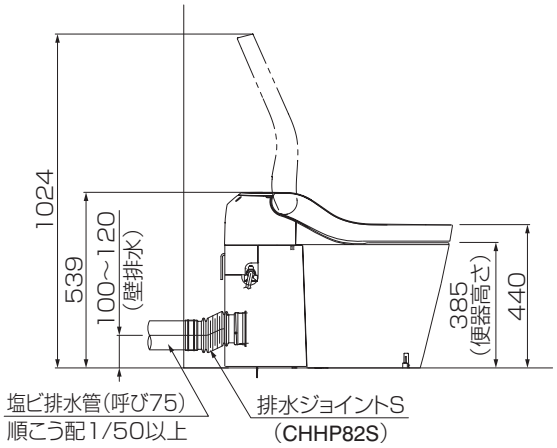
155タイプ



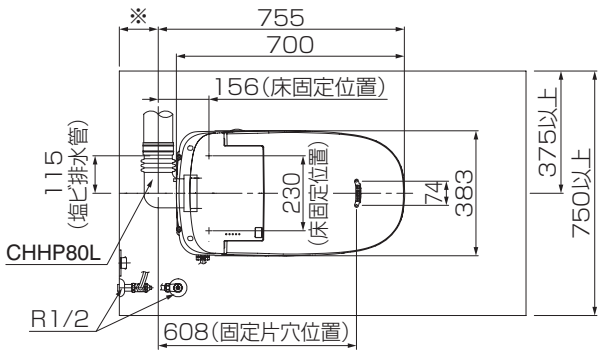


排水ジョイントS接続タイプ

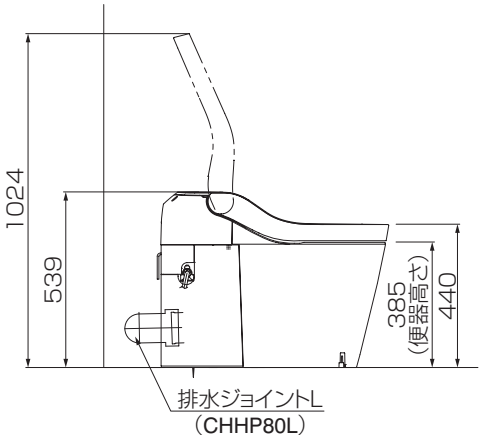




排水ジョイントL接続タイプ



※最低必要寸法60mm以上(推奨120mm)

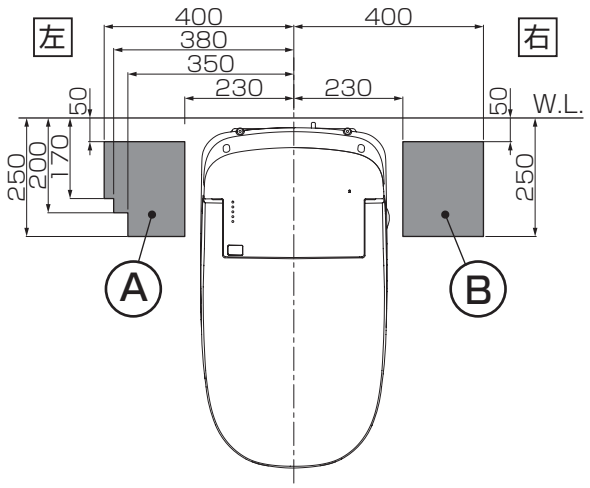


給水位置の確認と止水栓の取り付け 〔寸法単位：mm〕

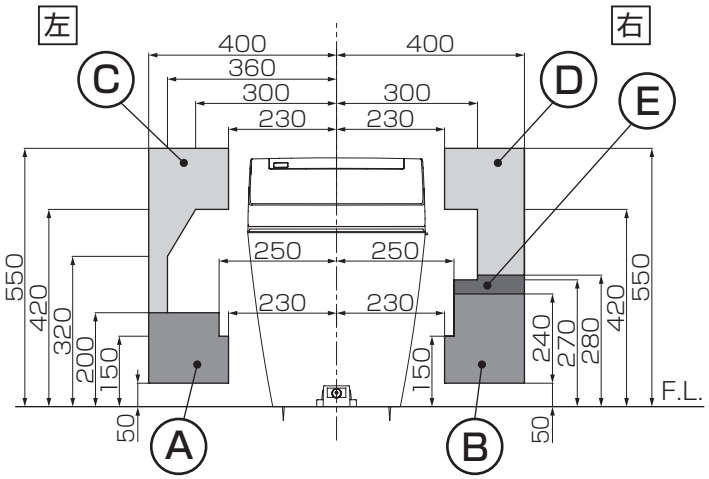
給水位置の確認

既設給水位置が下図の給水可能範囲内であることを確認する

●床給水の場合



●壁給水の場合



記号	説明	記号	説明
Ⓐ	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能範囲	Ⓓ	オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番:CH100R01）を使用した場合の給水接続可能範囲 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置は不可。
Ⓑ	オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番:CH100R01）を使用した場合の給水接続可能範囲	Ⓔ	オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番:CH100R01）を使用した場合の給水接続可能範囲 ※「アラウーノ専用手洗い連動水栓」の右設置は不可。 ※「アラウーノ専用手洗い」R仕様は配管カバー（オプション）の取り付け不可。
Ⓒ	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能範囲 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置は不可。		

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース（CH100R02）では長さが足りません。

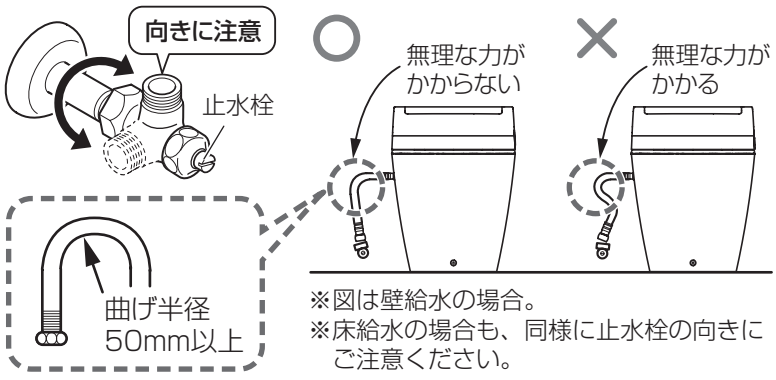
止水栓の取り付け

水道の元栓を閉め、同梱の止水栓を取り付ける

⚠注意

必ず守る

- **止水栓にがたつきがないことを確認する**
- **止水栓は必ず閉める**
  水漏れの原因になります。



※図は壁給水の場合。
※床給水の場合も、同様に止水栓の向きにご注意ください。

お願い

- **必ず同梱の止水栓を使用してください。**
  他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損なう原因になります。
- **止水栓の向きに注意し、給水ホースがねじれたり折れたりしないよう、注意して取り付けてください。**
  便器洗浄水量が不足する原因になります。
- **壁排水155タイプで床給水の場合は、長さ90mm～130mmの給水管を別途手配してください。**

標準タイプ ▶ 15ページへすすんでください。
リフォームタイプ ▶ 20ページへすすんでください。
リフォームダイレクトタイプ ▶ 25ページへすすんでください。
壁排水タイプ ▶ （後ろ抜きの場合）30ページ／（排水ジョイント接続の場合）33ページへすすんでください。

標準タイプの取り付け

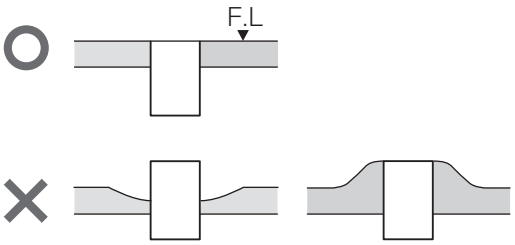
〔寸法単位：mm〕

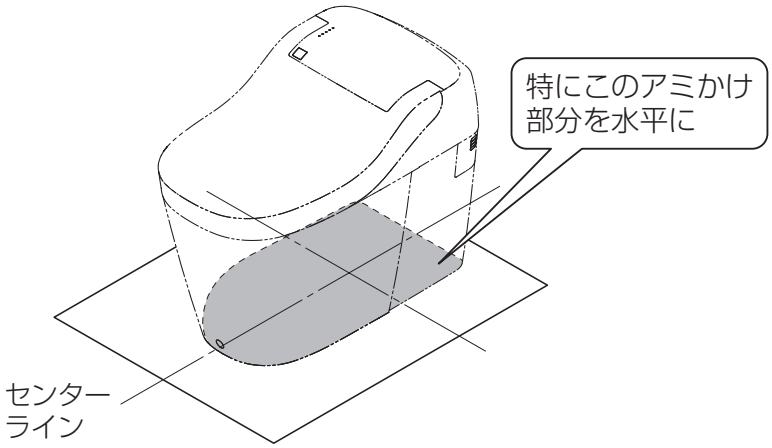
●標準タイプの場合に参照してください。リフォームタイプは20ページを参照してください。

床工事

床面を水平に仕上げる

お願い **排水管周囲は、凹凸がないようにしてください。**
施工不良の原因になります。





⚠注意

必ず守る

●床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する
水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

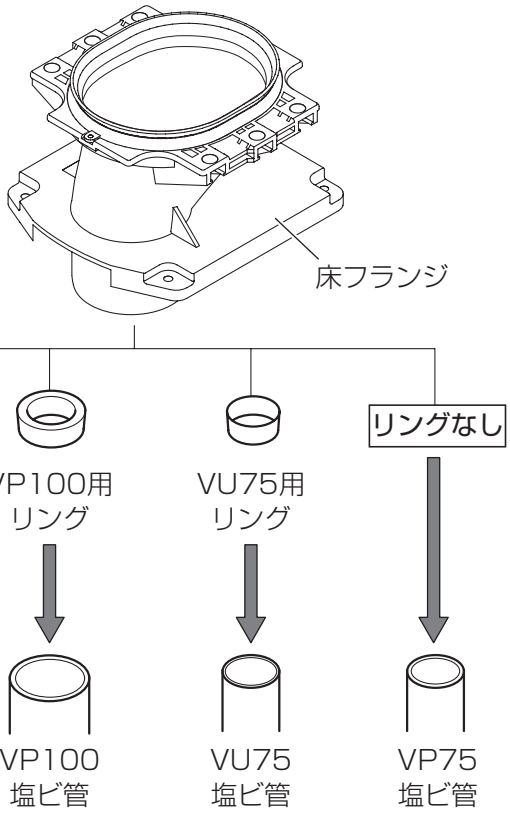
手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください(手洗いに同梱の施工説明書を参照) オプション

床フランジとリングの取り付け

1 排水管に適合するリングを選ぶ

（VU／VP100用リングは、床フランジに仮固定されています。）

※下図組み合わせにないリングは使用しません。



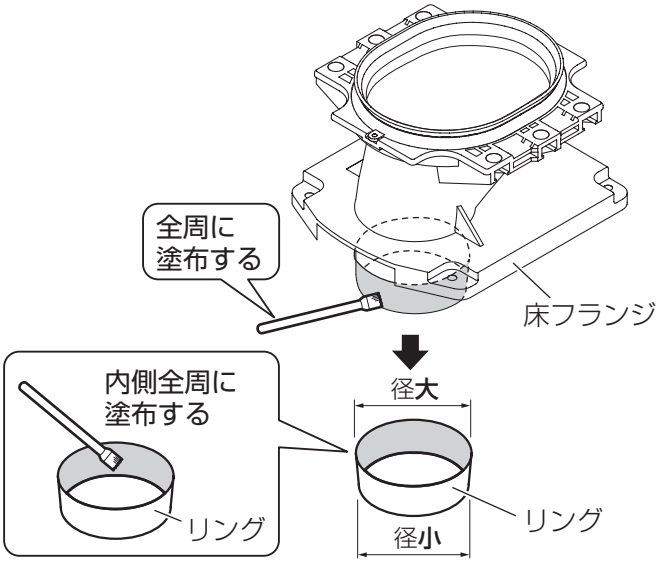
VU75用リング	80
VP100用リング	98
VU100用リング	105

2 リング内側全周、および床フランジの差し込み部全周に塩ビ用接着剤を塗る
（塩ビ用接着剤は別途手配ください。）



塩ビ用接着剤
（別途手配）

3 リングの径の小さい方を下側にし、床フランジをリングに差し込み、接着する



⚠注意

必ず守る

●リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、奥まで十分接着する

床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

●床フランジ内にリングを同梱しているため、必ず床フランジからリングを取り除いて設置する

床フランジ内にリングが残ったまま設置すると、排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

床フランジの取り付け

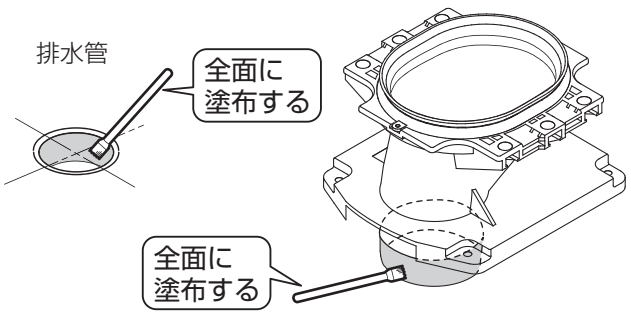
ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

1 排水管を床面と面一になるように切断する



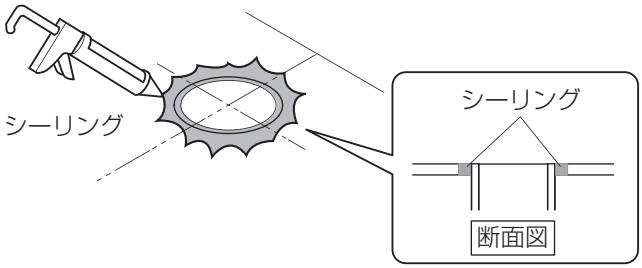
2 2階以上のトイレルームの場合は、排水管のまわりをシーリング防水する

3 排水管・床フランジに塩ビ用接着剤を塗布する



⚠注意

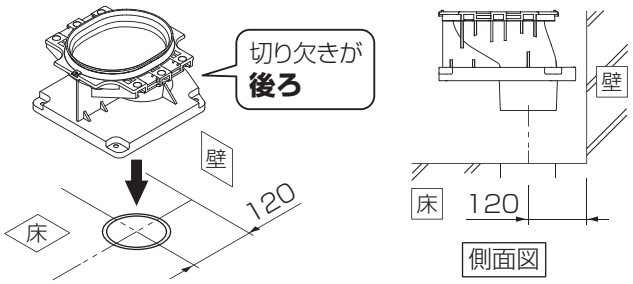
必ず守る	**●2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず排水管まわりにシーリングを行う** 階下への水漏れのおそれがあります。 **●排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する** 排水詰まりの原因になります。



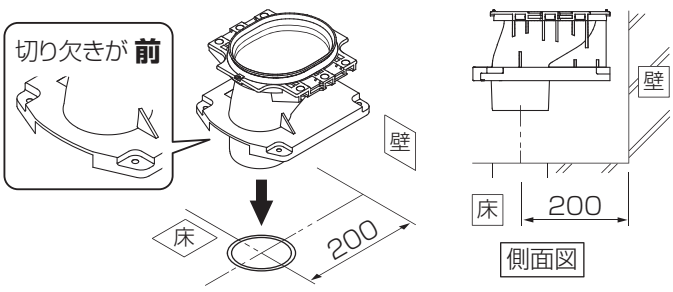
4 床フランジをセンターラインに合わせて、床面にあたるまで差し込み、排水管と接着する

■床フランジの取り付け向きについて

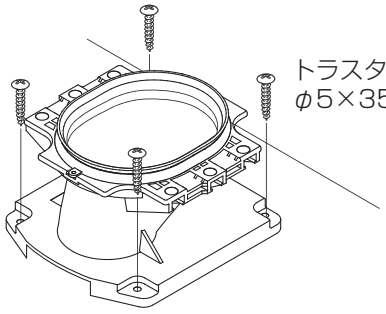
排水芯120の場合



排水芯200の場合



5 ねじで床フランジを固定する

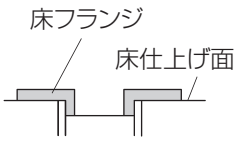


⚠注意

禁止	**床フランジを無理な力で固定しない また、割れたまま使用しない** 水漏れの原因になります。
必ず守る	**床フランジが床からの浮きや、がたがないようにしっかりと4か所を締め付ける** 便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。

お願い

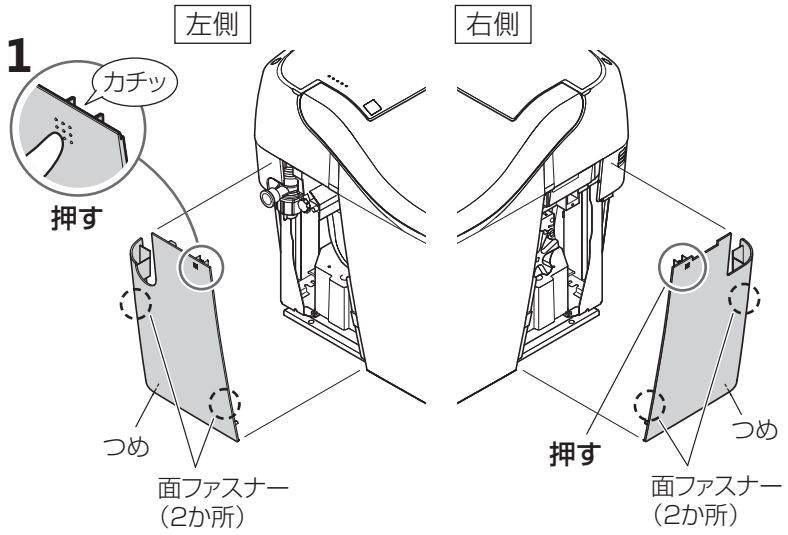
床フランジは、フランジ部が必ず床仕上げ面の上に乗るようにしてください。



サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの ⁝⁝ 部を押す

2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す（面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。）



便器の取り付け

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

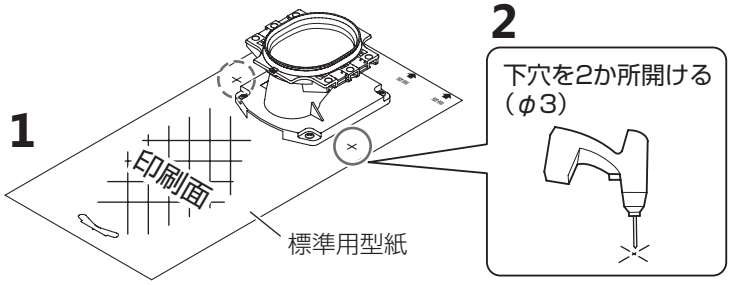
1 標準用型紙を床フランジの形状に合わせて置く

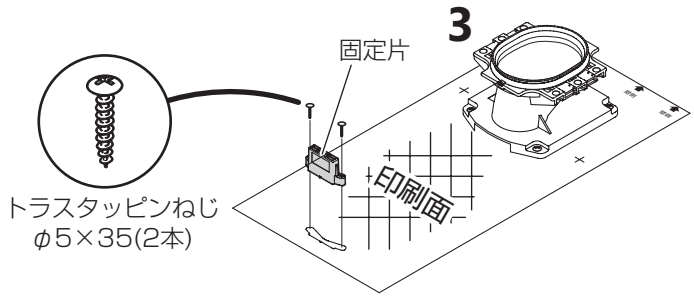
2 床固定位置にφ3の下穴を2か所開ける

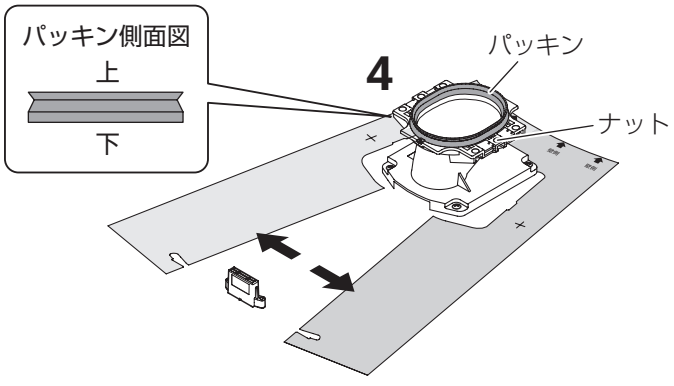
3 固定片を標準用型紙の切り欠き部にはめ、ねじで固定する

4 標準用型紙を破って取り外す

5 床フランジの上部にパッキンおよびナットがきちんと取り付けられているか確認する







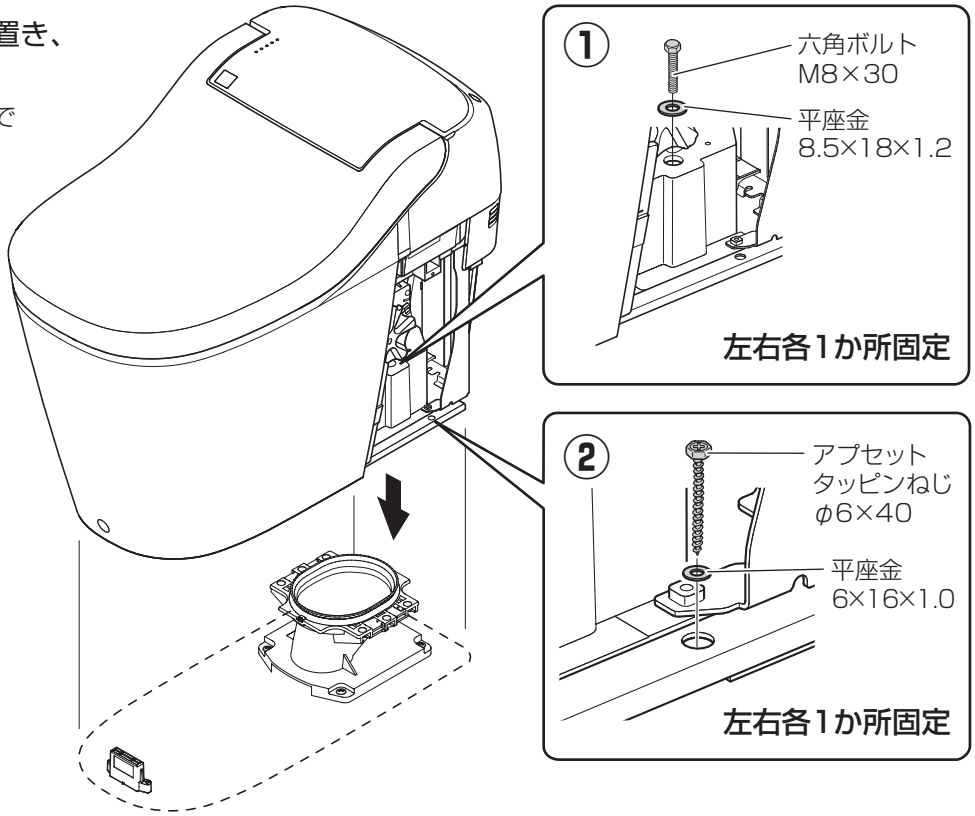
⚠注意

必ず守る	**パッキンの上下の向きを確認する** 水漏れの原因となります。

6 床フランジの上から便器を置き、①、②の順で固定する

（①でパッキンを締め付けて、②で床に固定する。）

※便器を床フランジの上に置くと、約10mmほど便器が浮きます。



⚠警告

禁止

便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない

火災や感電の原因になります。

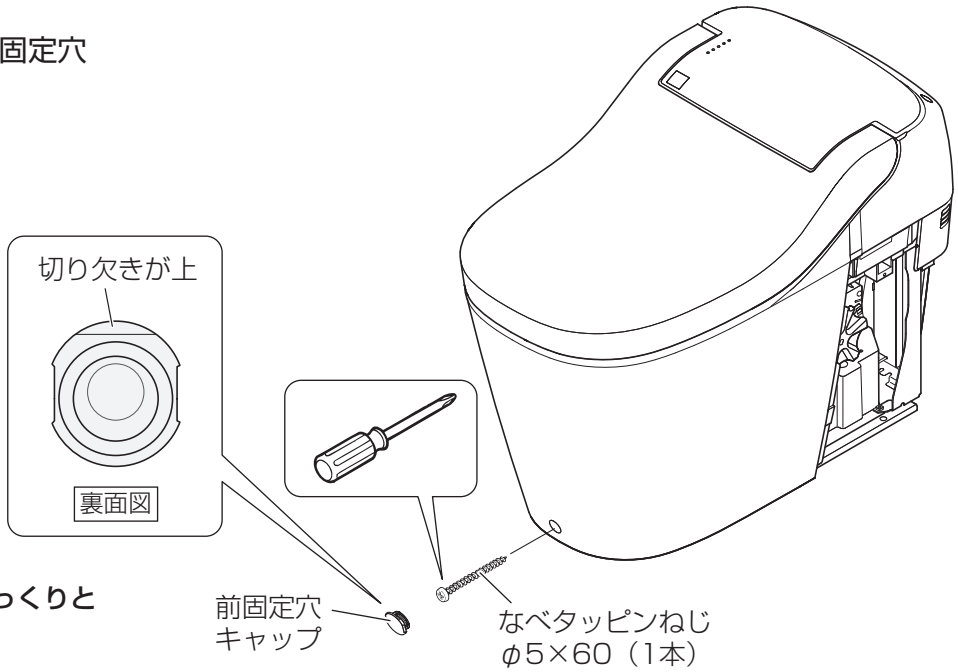
⚠注意

必ず守る

便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

7 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける



お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。

41ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

リフォームタイプの取り付け

〔寸法単位：mm〕

はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。

既設便器の取り外し

1 既設の便器を取り外す

2 既設Pシールまたは既設パッキンをきれいに取り除く

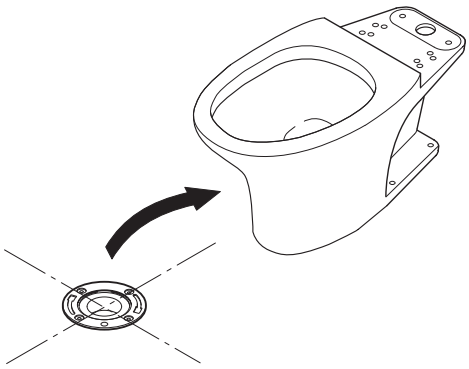
3 排水管の中心線を床にけがく

お願い **下記の場合は、アラウーノリフォーム用既設床フランジ(CH120FR01)を別途用意し、配管セット(CH160FRもしくはCH160FM)に同梱しているPシールを使用してください。**(22ページ「排水アジャスタの組み立て」参照)

①既設の便器が床フランジを用いない タイプの場合

②既設の便器がPシールを用いないタイプの場合

③床フランジの損傷が激しい場合

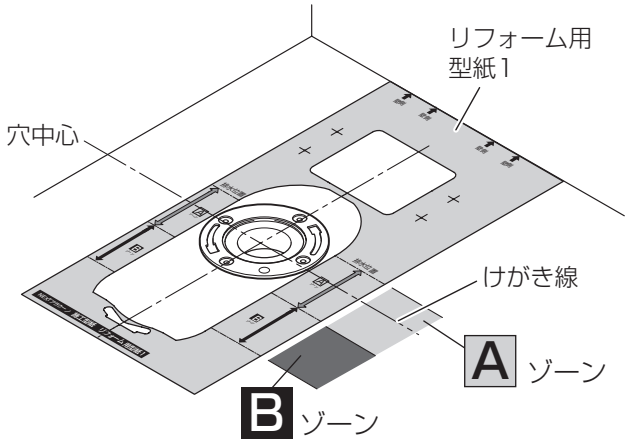


手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください(手洗いに同梱の施工説明書を参照) オプション

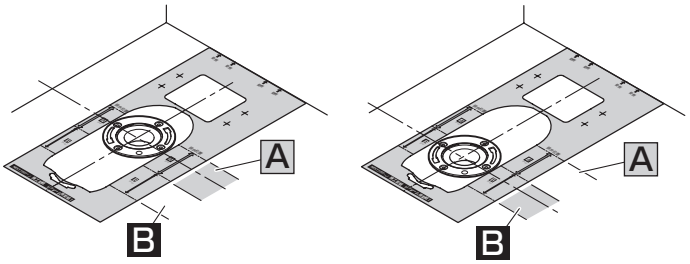
床アジャスタの切断

※排水芯470mmの場合も、床アジャスタの切断が必要です。

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、
排水芯の位置を確認する



お願い **A 、B ゾーンのどちらに該当するか必ず確認してください。**

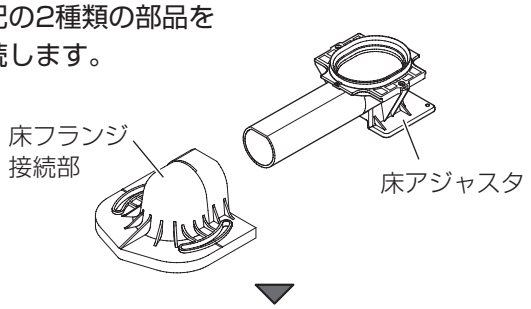


- 排水芯が470mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100mm離して置いてください。

排水芯位置によって施工方法が異なります

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

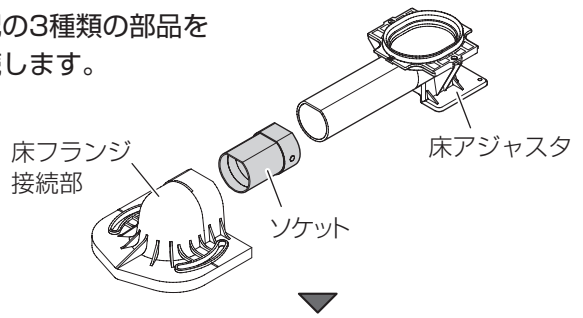
下記の2種類の部品を
接続します。



次ページの A を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

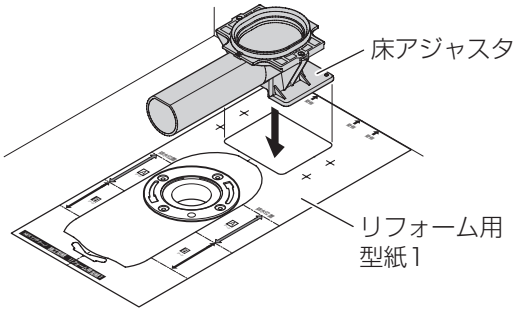
下記の3種類の部品を
接続します。



次ページの B を参照し、施工してください。

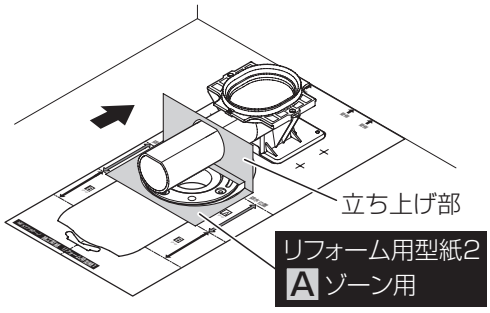
けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

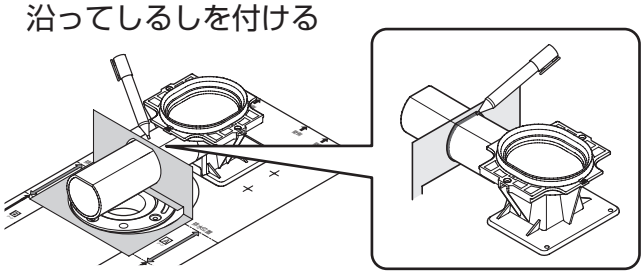


2 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

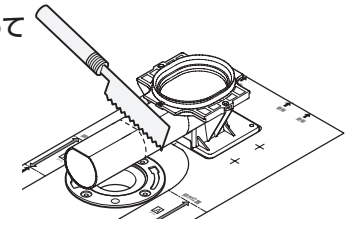
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する



4 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



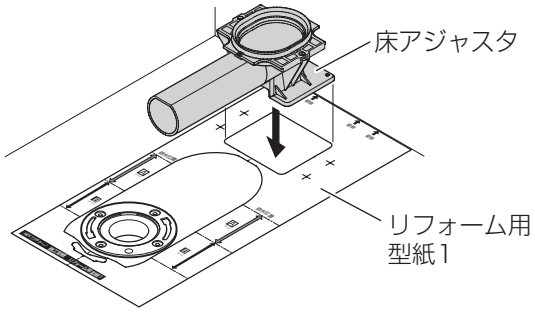
5 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

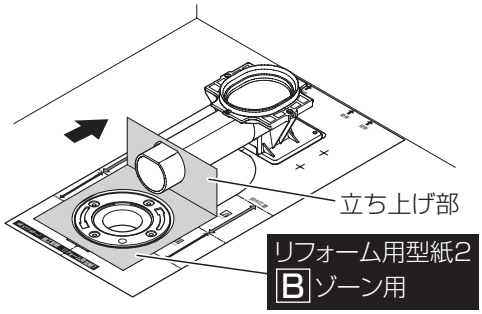
けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

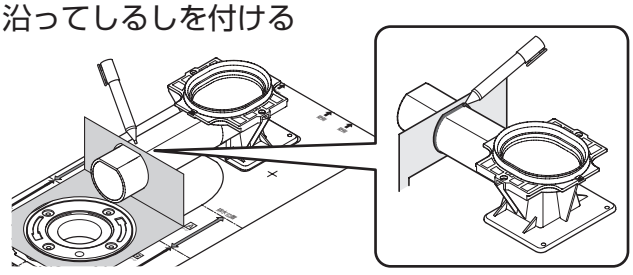


2 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

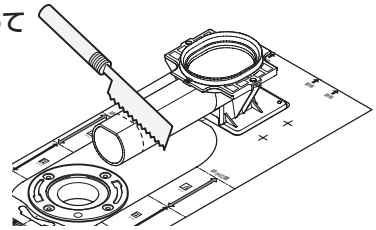
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する



4 リフォーム用型紙２(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



5 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

⚠注意

必ず守る

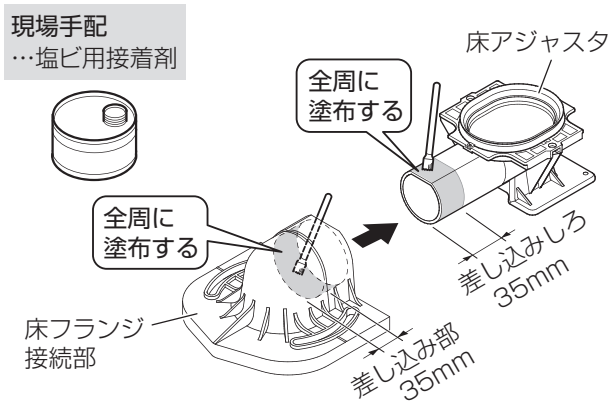
床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く

バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

排水アジャスタの組み立て

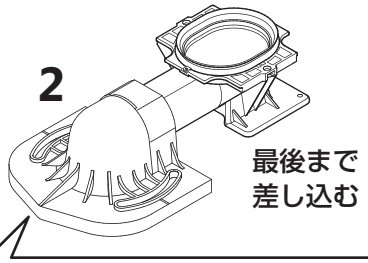
けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する



2 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む

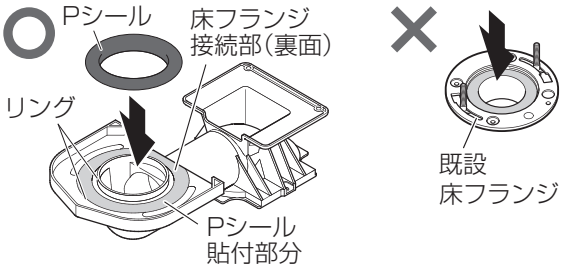
3 Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



3

Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。

貼り付けが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。

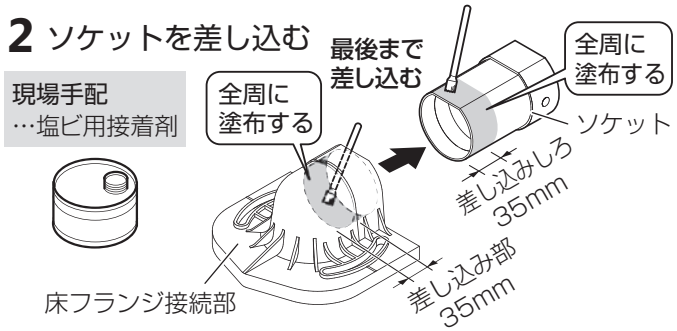


排水アジャスタ側に付ける　　床フランジ側に付けない

けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

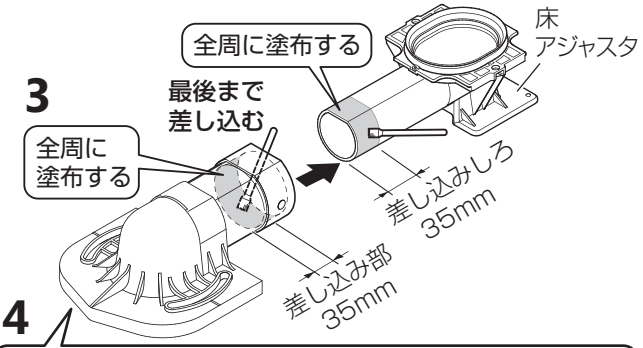
1 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗る

2 ソケットを差し込む



3 ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる

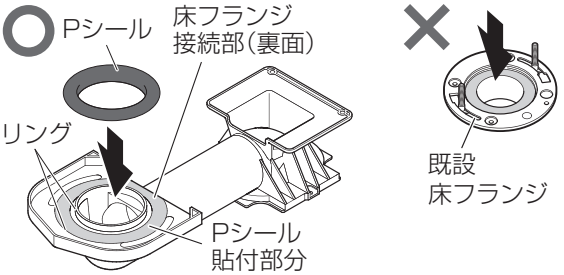
4 Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



4

Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。

貼り付けが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。



排水アジャスタ側に付ける　　床フランジ側に付けない

⚠注意

禁止	**Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない** 排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。	必ず守る	**●排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する** 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。 **●Pシールは2本のリング線の間に収まるよう、押し広げながら貼り付ける** シール不良による水漏れの原因になります。また、Pシールが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み、排水不良になります。

排水アジャスタの取り付け

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

1 リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3の下穴を2か所開ける

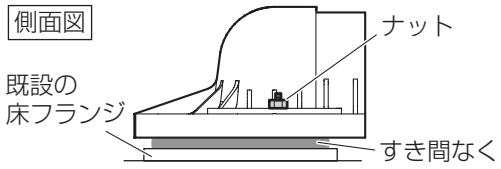
2 既設の床フランジにT形ボルトを取り付ける

3 リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて排水アジャスタを設置し、ねじで固定する

4 床フランジ接続部の上からナットで締め付ける

床フランジ接続部が床から浮かないように、上からナットですき間がなくなるまで締め付けてください。

側面図

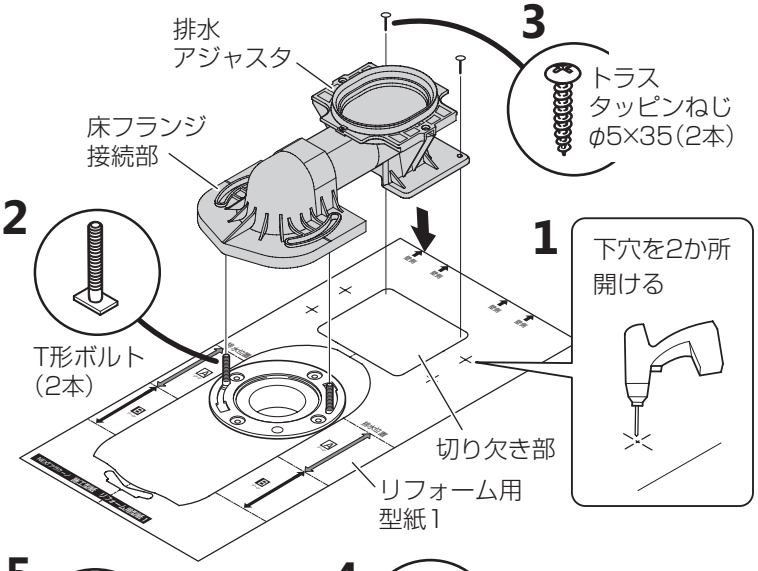


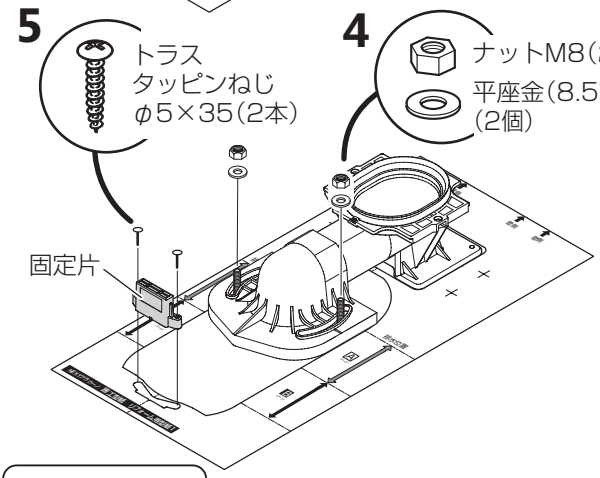
5 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで固定する

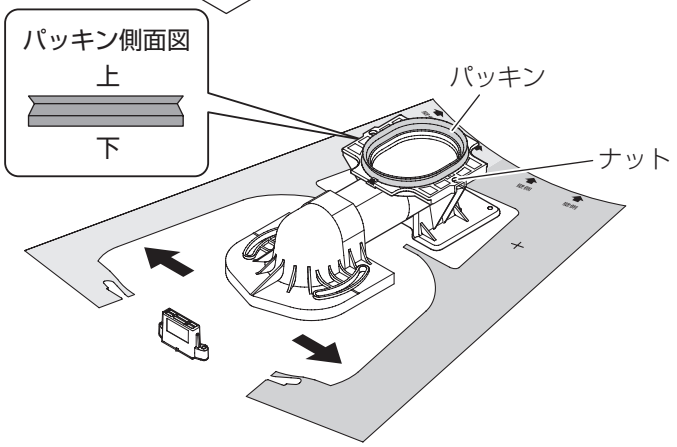
6 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

7 リフォーム用型紙1を破って取り外す







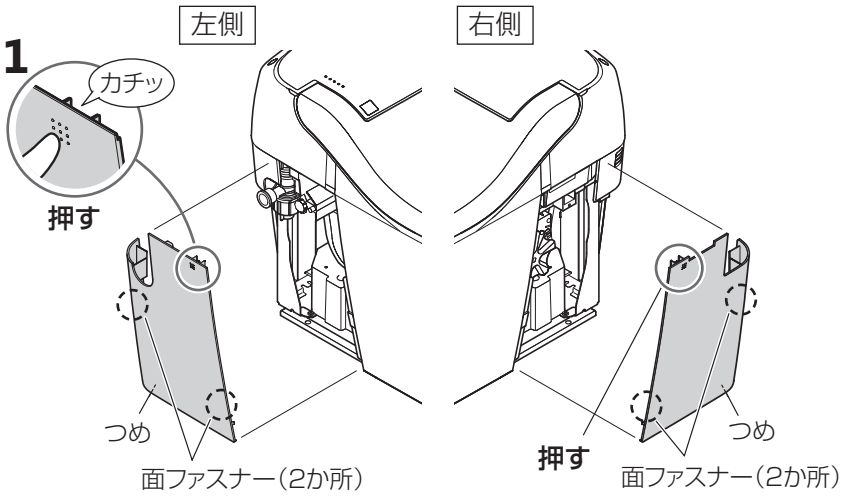
⚠注意

必ず守る	**排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット(2か所)をしっかりと締め付ける** 水漏れの原因となります。	必ず守る	**パッキンの上下の向きを確認する** 水漏れの原因となります。

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの ⁘ 部を押す

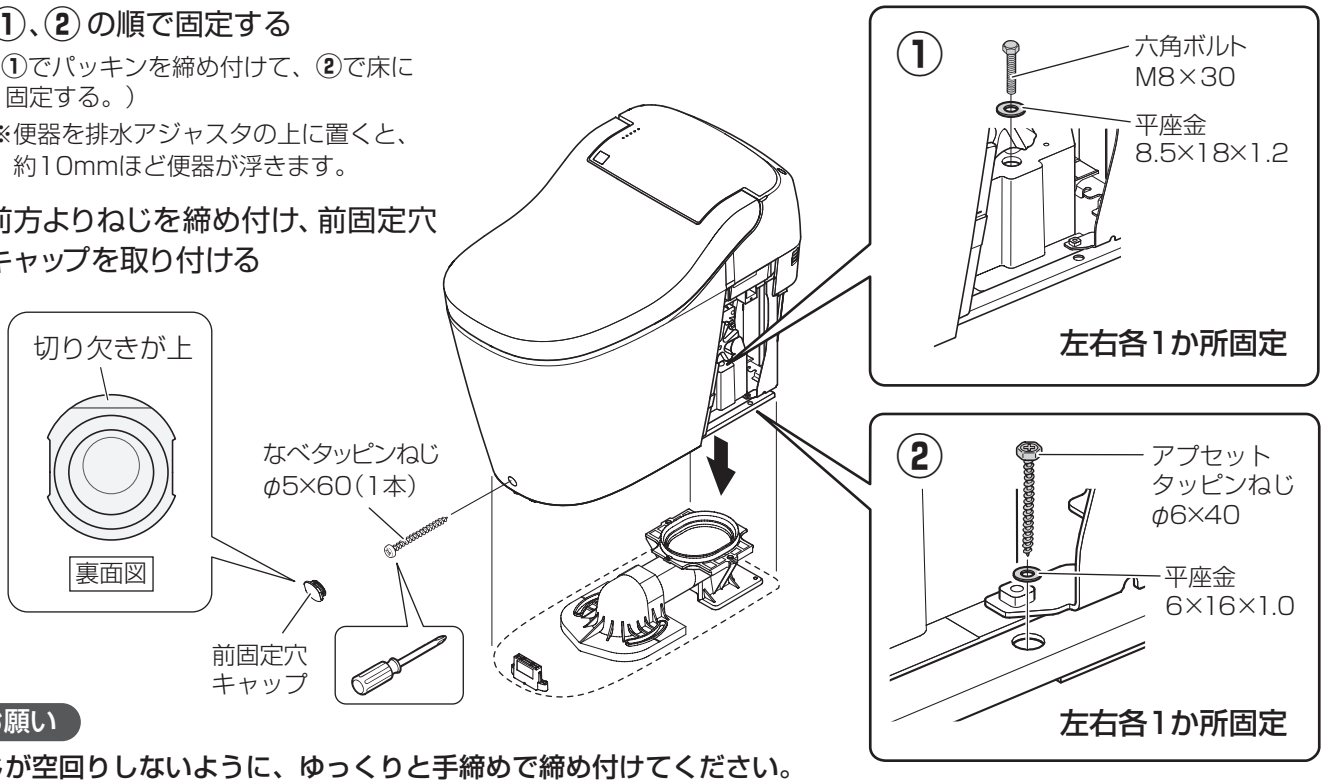
2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。）



便器の取り付け

1 排水アジャスタの上から便器を置き、①、② の順で固定する
（①でパッキンを締め付けて、②で床に固定する。）
※便器を排水アジャスタの上に置くと、約10mmほど便器が浮きます。

2 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける



お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。

⚠警告

禁止

便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない

火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

41ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

リフォームダイレクトタイプの取り付け

〔寸法単位：mm〕

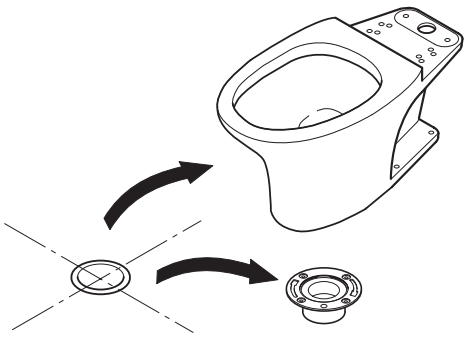
はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。

既設便器の取り外し

1 既設の便器を取り外す

2 既設床フランジをきれいに取り除く
床面は水平に仕上げてください。（15ページ「床工事」参照）

3 排水管の中心線を床にけがく



⚠注意

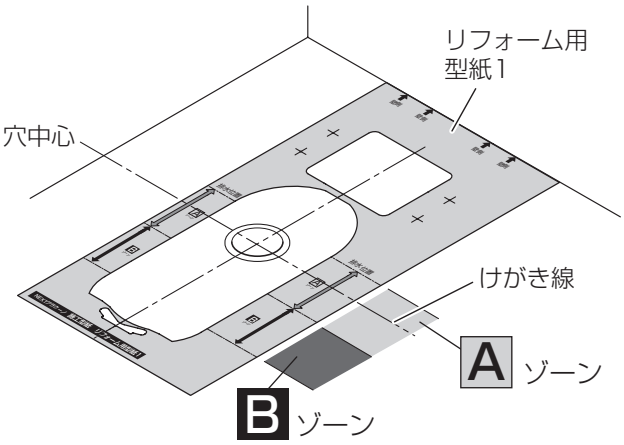
必ず守る

排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する
排水詰まりの原因になります。

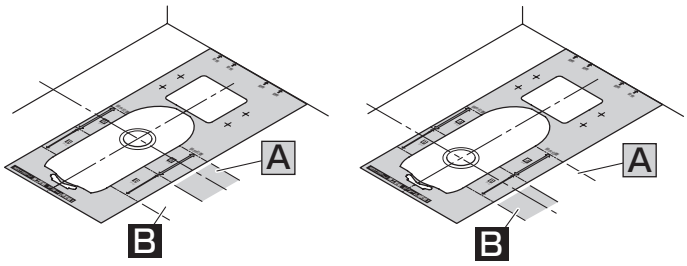
手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください（手洗いに同梱の施工説明書を参照） オプション

床アジャスタの切断

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、
排水芯の位置を確認する



お願い A 、B ゾーンのどちらに該当するか
必ず確認してください。

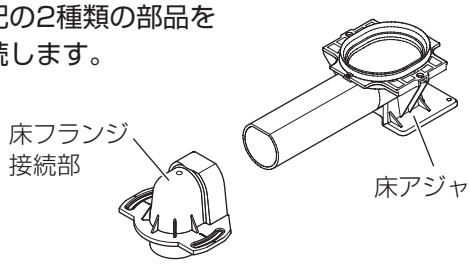


- 排水芯が510mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100mm離して置いてください。

排水芯位置によって施工方法が異なります

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

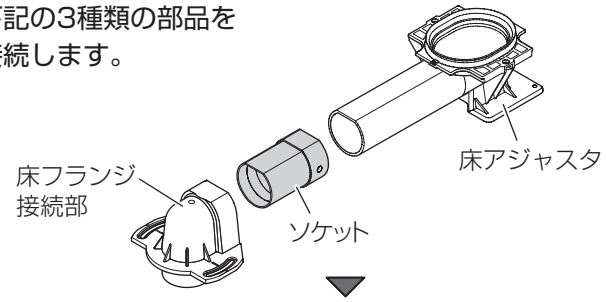
下記の2種類の部品を
接続します。



次ページの A を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

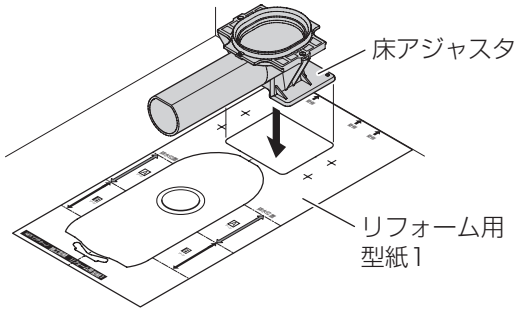
下記の3種類の部品を
接続します。



次ページの B を参照し、施工してください。

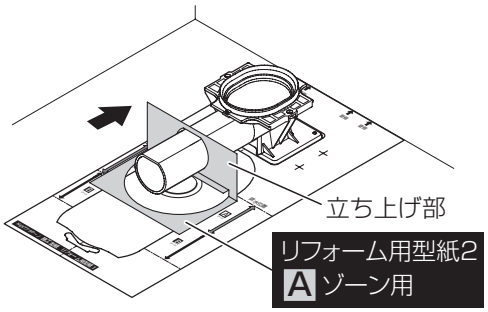
けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

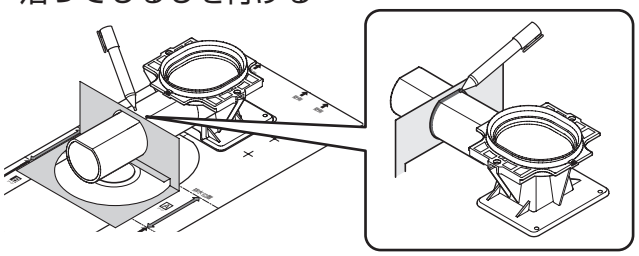


2 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

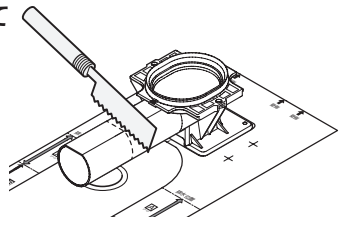
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する



4 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



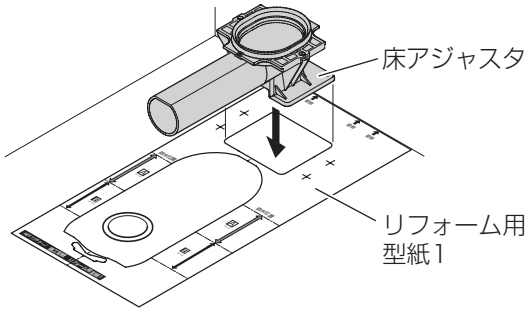
5 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

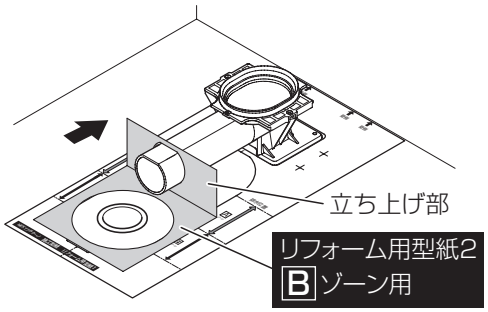
けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

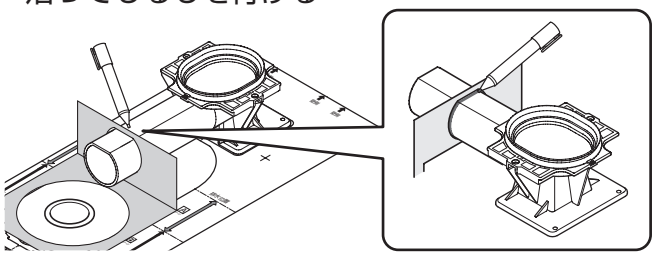


2 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

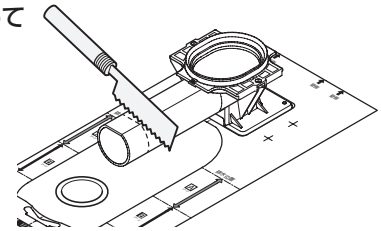
3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する



4 リフォーム用型紙２(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



5 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

⚠注意

必ず守る

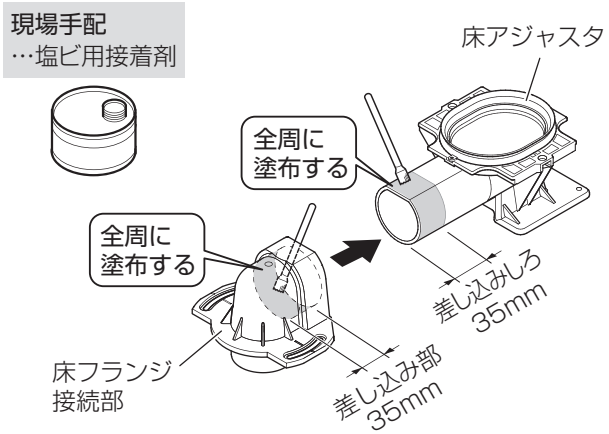
床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く

バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

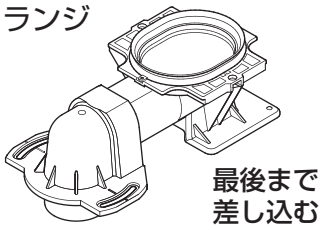
排水アジャスタの組み立て

けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

1 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する

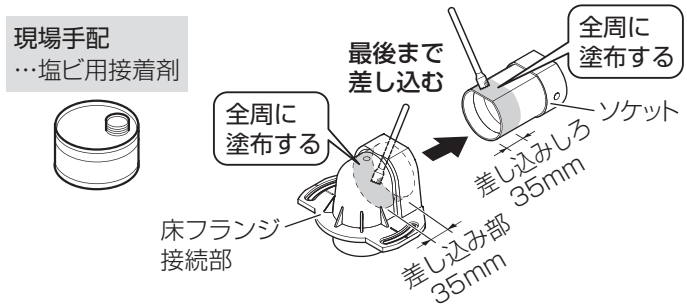


2 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む

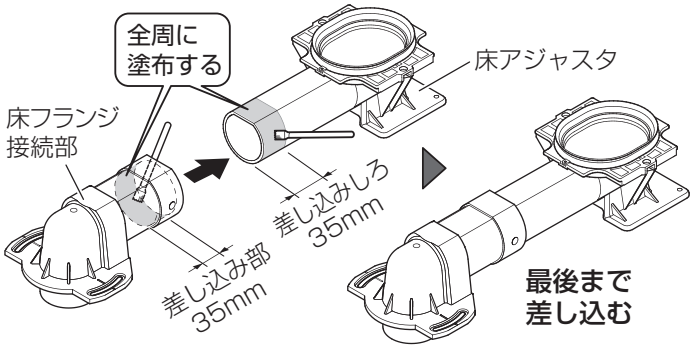


けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

1 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗り、ソケットを差し込む



2 ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる



⚠注意

必ず守る

排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する

施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

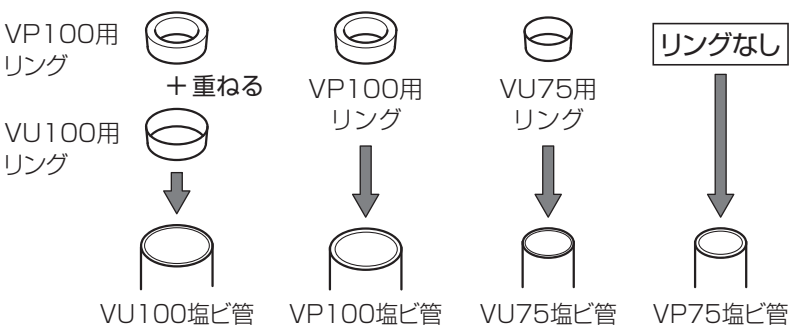
排水アジャスタの取り付け

A ゾーン・B ゾーン共通

ねじ固定前に下穴(φ3mm程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

1 排水管に適合するリングを選ぶ
(VU／VP100用リングは、床フランジ接続部に仮固定されています。)
※下図組み合わせにないリングは使用しません。

VU75用リング	80
VP100用リング	98
VU100用リング	105

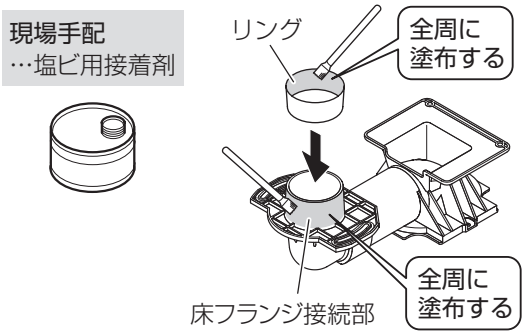


A ゾーン・B ゾーン共通

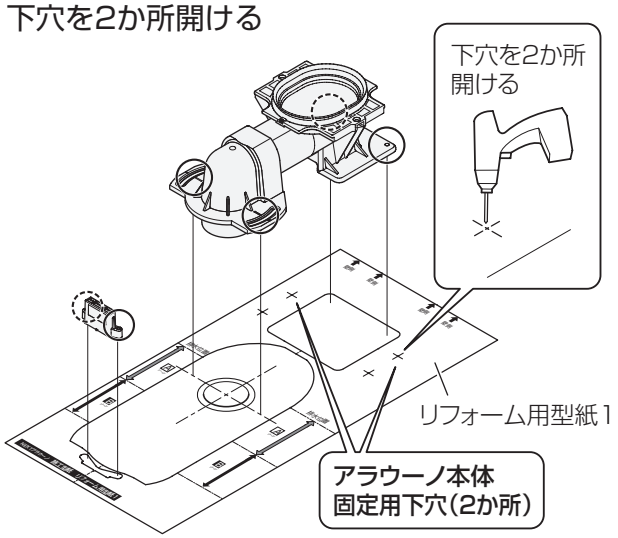
※イラストはAゾーンの場合です。

2 床フランジ接続部の差し込み部とリングの内側に塩ビ用接着剤を塗布する

3 床フランジをリングに差し込む



4 リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3mmの下穴を2か所開ける

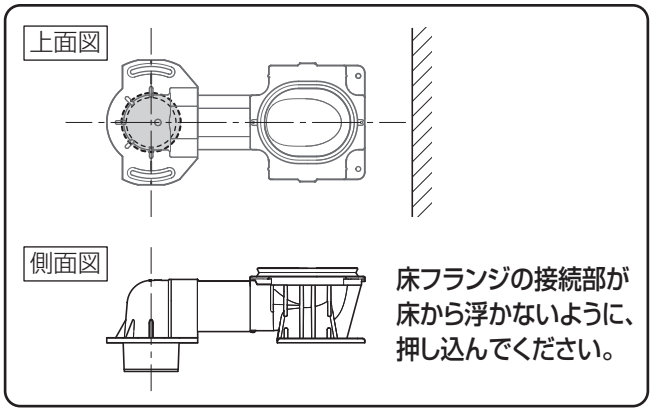


5 2階以上のトイレルームの場合は、排水管のまわりをシーリング防水する

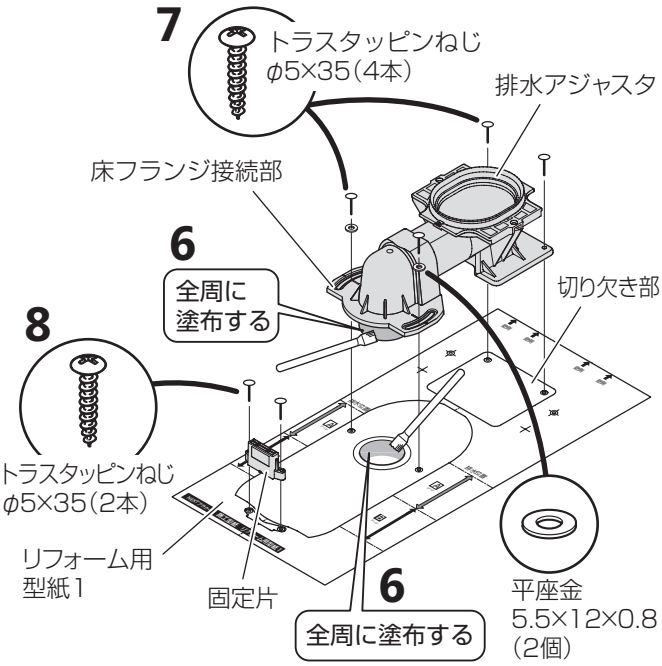
6 床フランジ接続部全周に塩ビ用接着剤を塗布する

7 リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて床フランジ接続部、排水アジャスタを設置し、ねじで4か所固定する

※床フランジ接続部は平座金を使用してください。



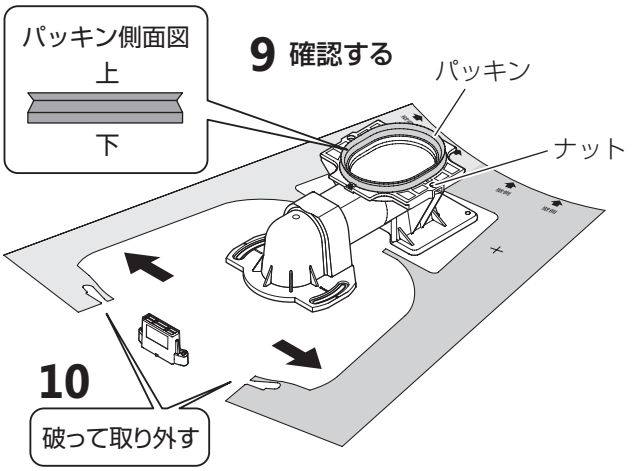
8 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで2か所固定する



9 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

10 リフォーム用型紙1を破って取り外す



⚠注意

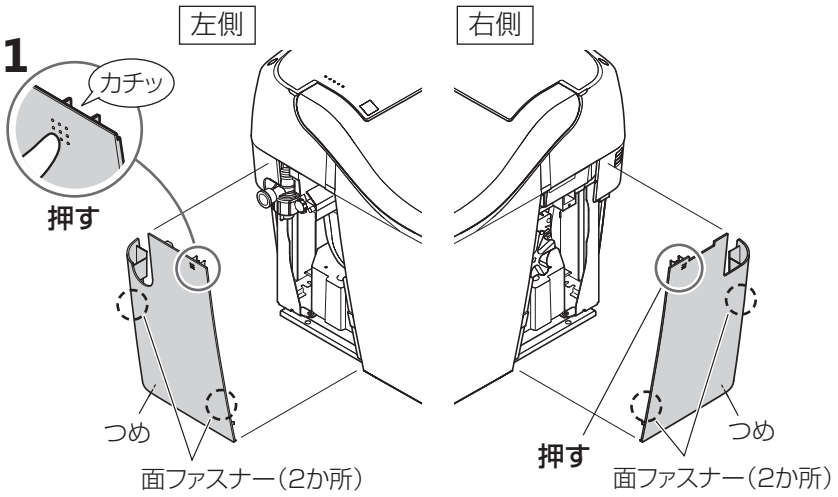
必ず守る

- **●2階以上のトイレルームに設置するときは必ず排水管まわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **●排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジをしっかりと押し込む**
  水漏れの原因となります。
- **●パッキンの上下の向きを確認する**
  水漏れの原因となります。

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの ⁘ 部を押す

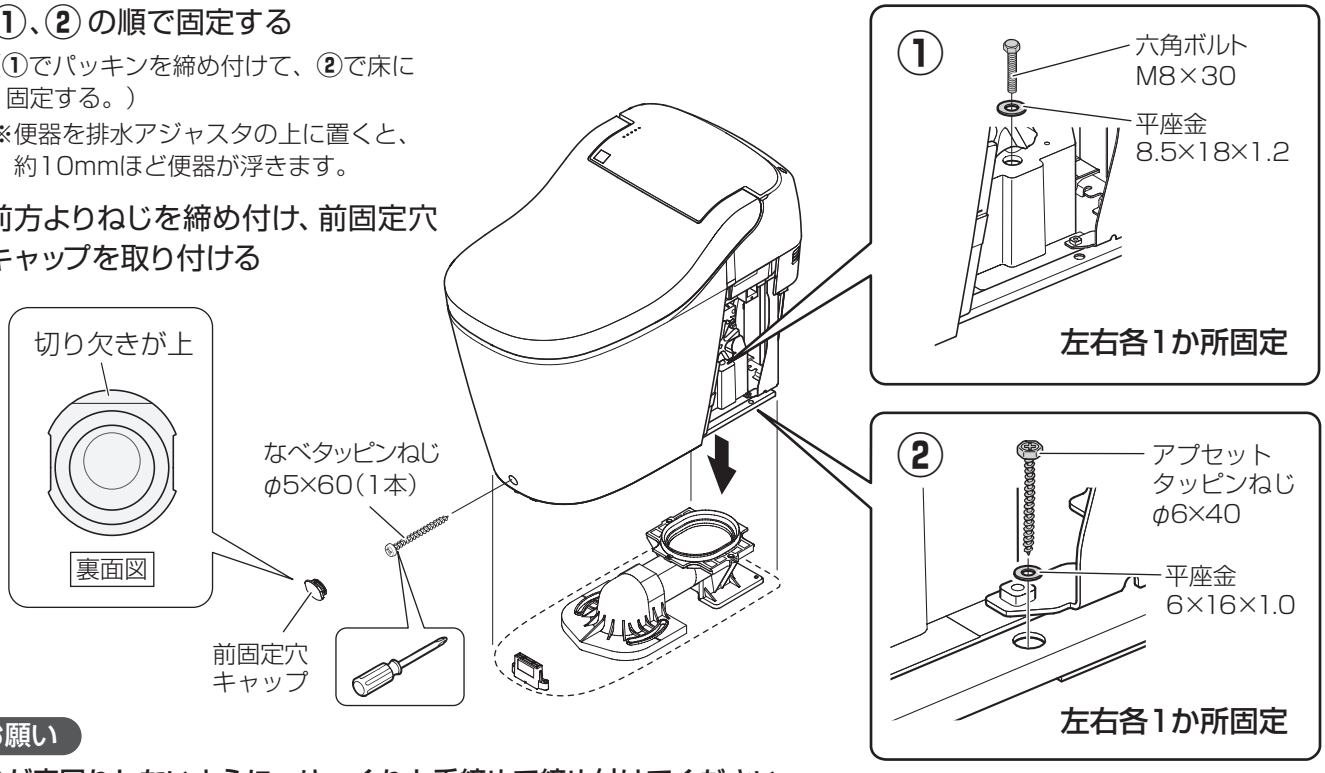
2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。）



便器の取り付け

1 排水アジャスタの上から便器を置き、①、② の順で固定する
（①でパッキンを締め付けて、②で床に固定する。）
※便器を排水アジャスタの上に置くと、約10mmほど便器が浮きます。

2 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける



お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。

⚠警告

禁止

便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない

火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

41ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

後ろ抜きの場合

〔寸法単位：mm〕

はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。

配管工事

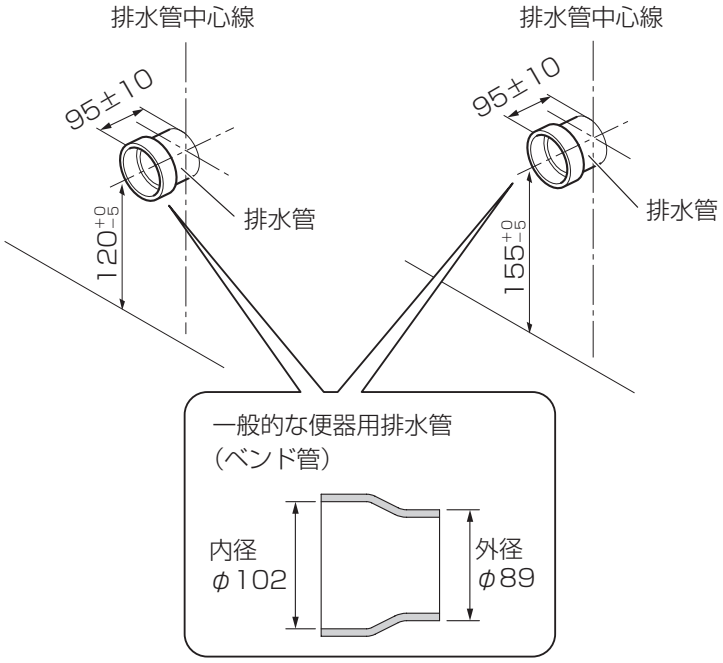
排水管を確認する

⚠注意

必ず守る

●便器に接続する排水管は、必ず1/50以上の十分な排水こう配をとる

●120タイプの場合　●155タイプの場合



床工事

床面を水平に仕上げる

⚠注意

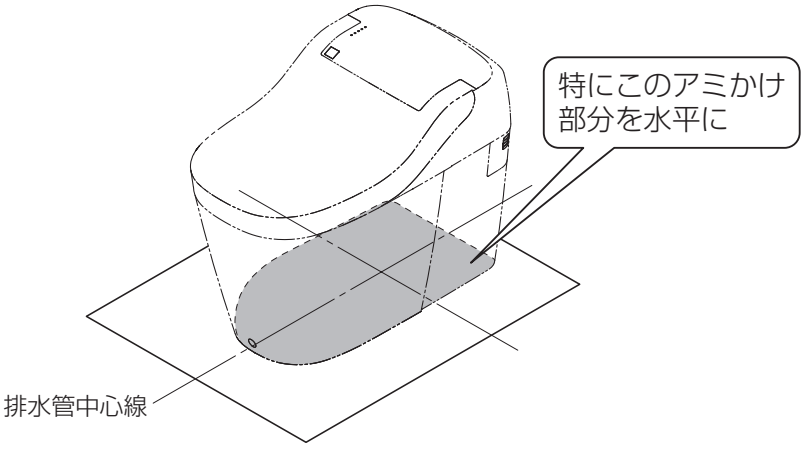
必ず守る

●床面は、水平に施工する

凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する

水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。



手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください（手洗いに同梱の施工説明書を参照）**オプション**

排水管と本体の接続

120 タイプ の場合

下記手順に従って施工してください。

155タイプ の場合

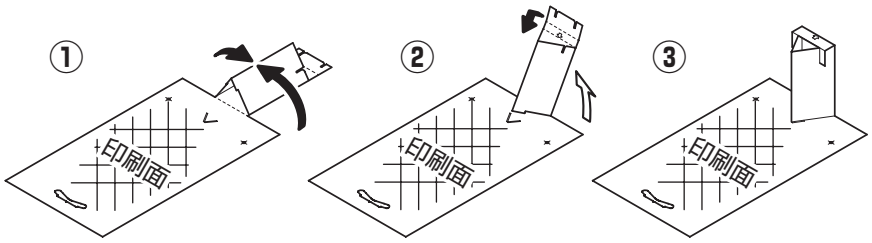
台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書2～5ページ（**2**～**7**）を参照してください。

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

1 型紙の組み立てと固定片の取り付け

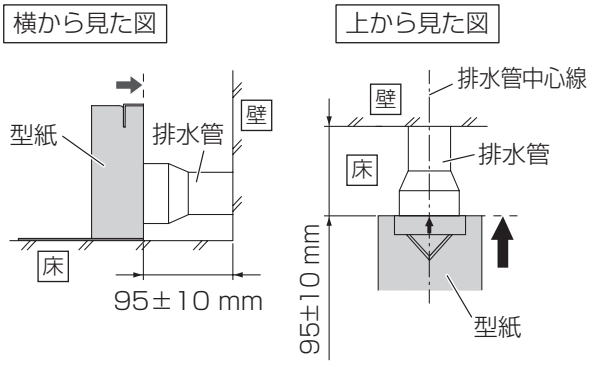
1 型紙を組み立てる

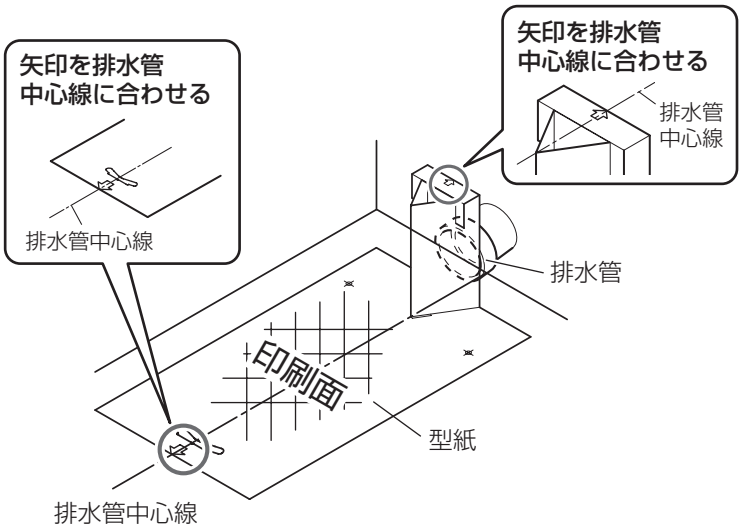
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。



2 排水管の先端に壁排水用型紙を合わせる

（型紙の矢印を排水管の中心に合わせる。）

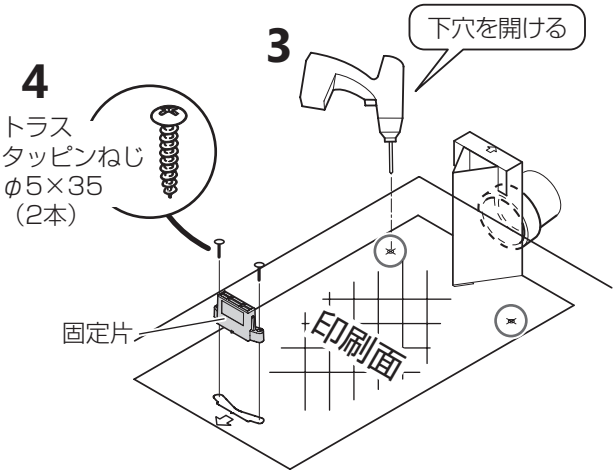




3 便器取り付け穴にφ3の下穴を2か所開ける

4 固定片を型紙の切り欠き部に合わせて固定する

5 型紙を破って取り除く

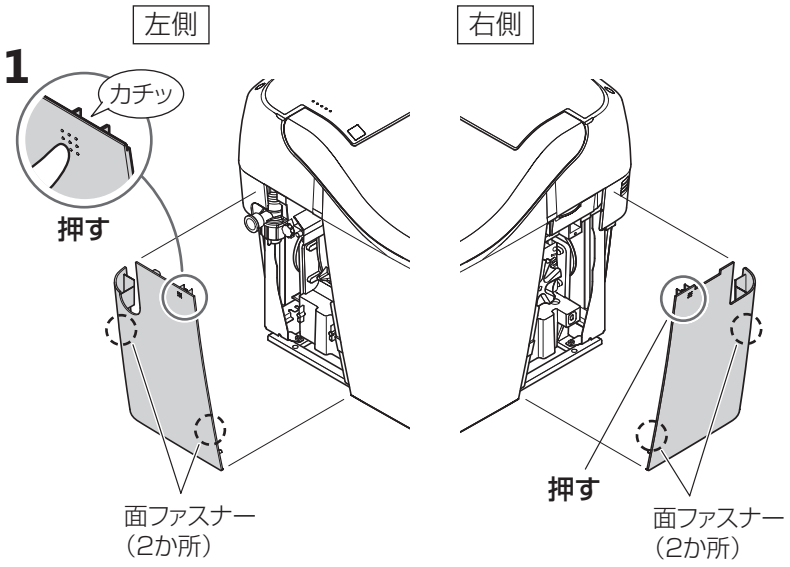


壁 後ろ抜きタイプ

2 サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの ⁘ 部を押す

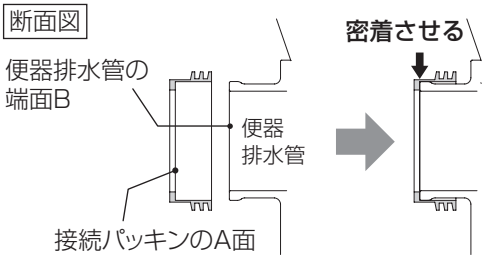
2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所を外す。）

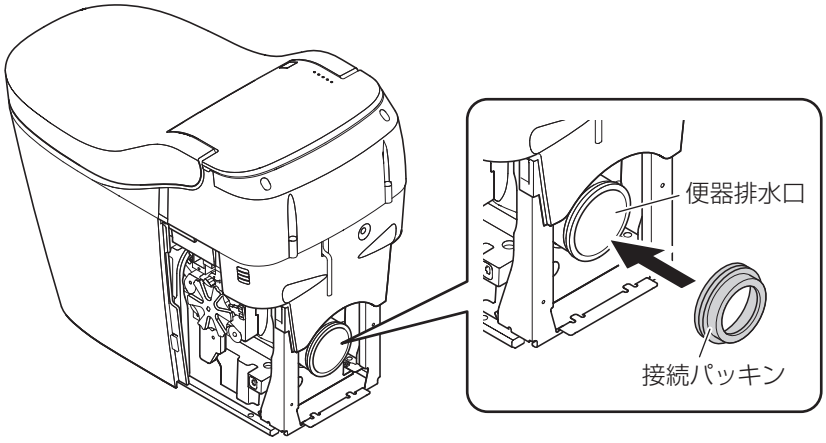


3 排水管の接続

1 便器排水口に接続パッキンを取り付ける

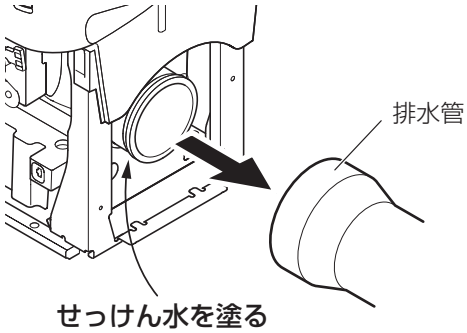
お願い **便器排水管の端面Bと接続パッキンのA面が密着するまで差し込んでください。**

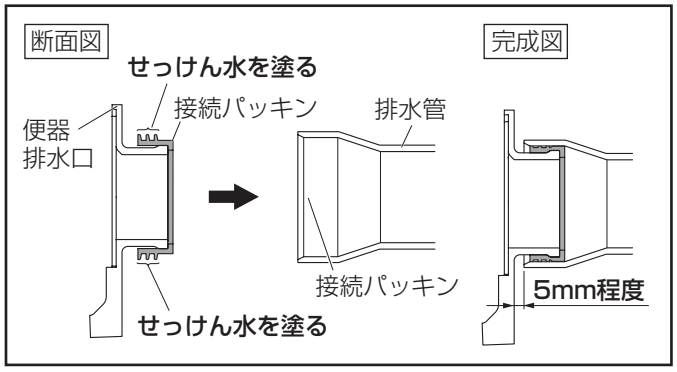




2 接続パッキンの蛇腹部分にせっけん水を塗る

3 本体を排水管につきあたる所（パッキンが見えなくなるまで）まで押し込み、設置する





⚠注意

必ず守る

排水管は奥まで十分に差し込み、接続する

水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

40ページの「便器の取り付け」へすすんでください。

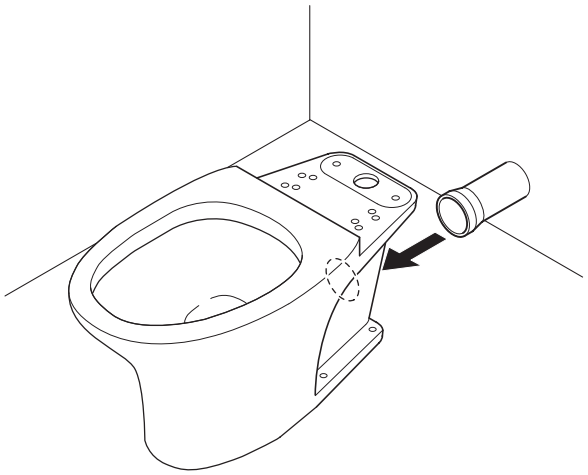
排水ジョイント接続の場合

〔寸法単位：mm〕

はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。

既設便器の取り外し

既設の便器を取り外す



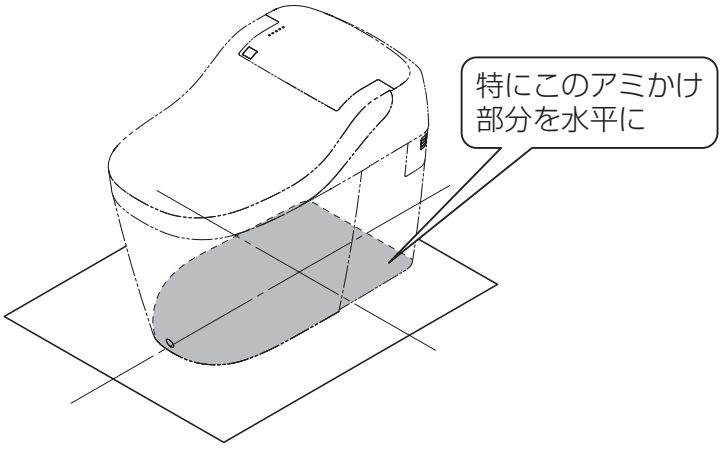
床工事

床面を水平に仕上げる

⚠注意

必ず守る

- **●床面は、水平に施工する**
  凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- **●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する**
  水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

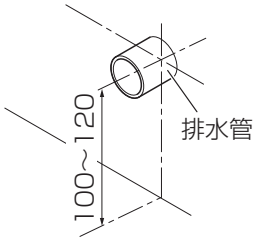


排水管と本体の接続

排水ジョイントSを使用する場合

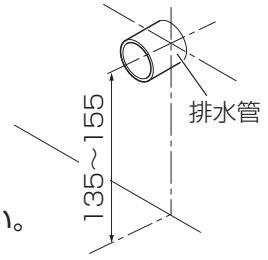
●排水管の中心から床まで
100～120mm

下記手順に従って施工してください。



●排水管の中心から床まで
135～155mm

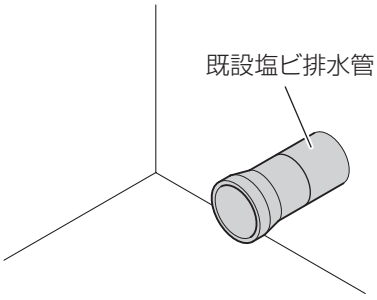
台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書6～12ページを参照してください。

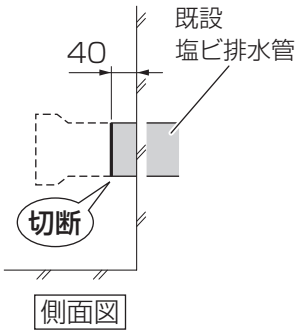


1 既設排水管の切断

1 既設排水管を壁から40mm以上残して切断する

2 既設排水管切断面のバリを取り除く





側面図

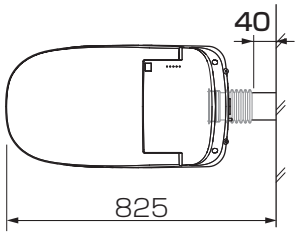
⚠注意

必ず守る

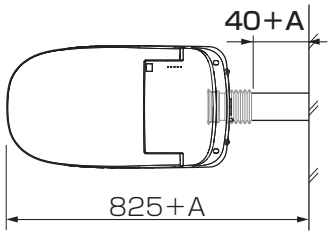
既設排水管切断面のバリは、必ず取り除く

バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

●40mmで切断した場合



●40mm以上で切断した場合

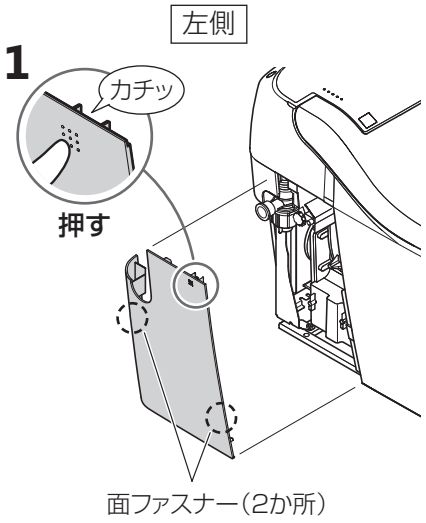


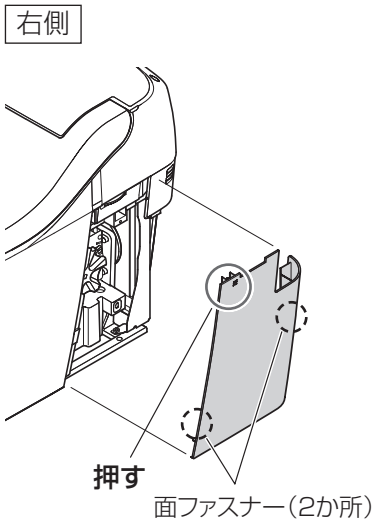
排水管の長さが長くなると、その分便器が前に出ます

2 サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの ⁘ 部を押す

2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所を外す。）





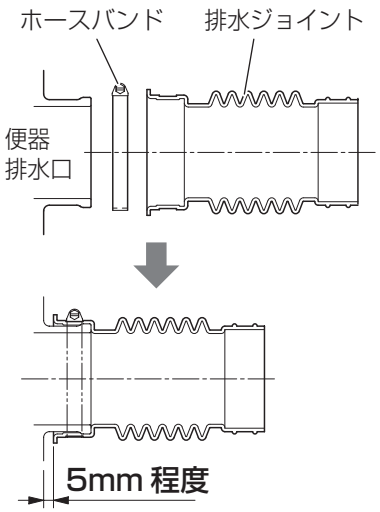
壁 排水ジョイント接続の場合

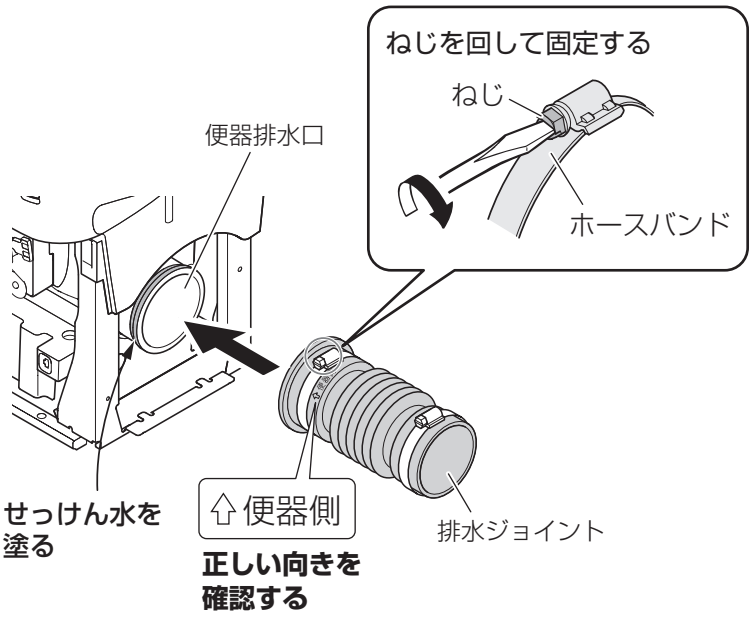
3 排水ジョイントの取り付け

1 便器排水口に排水ジョイントを差し込む

あらかじめ差込部にせっけん水を
塗っておくと、差し込みが容易です。

**便器排水口が下図のように奥まで
差し込まれていることを確認する**



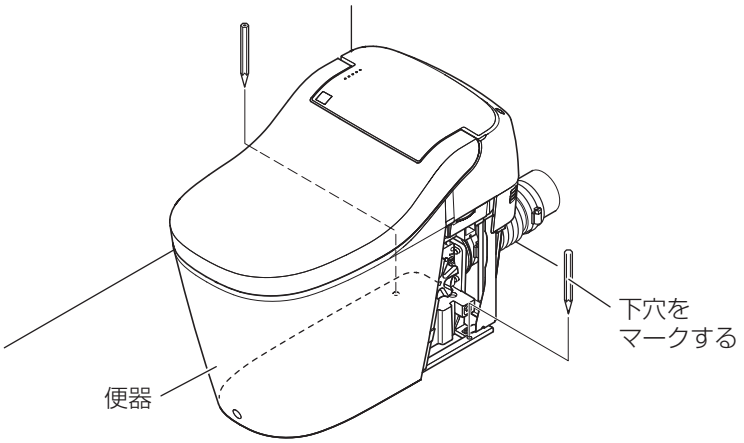


2 マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

4 便器固定位置の確認

便器を固定位置に仮置きし、便器
取り付け穴位置にマークする

・取り付け穴にクッション材がある場合、
貫通させてマークしてください。
・便器がななめになっていないことを確認
してください。



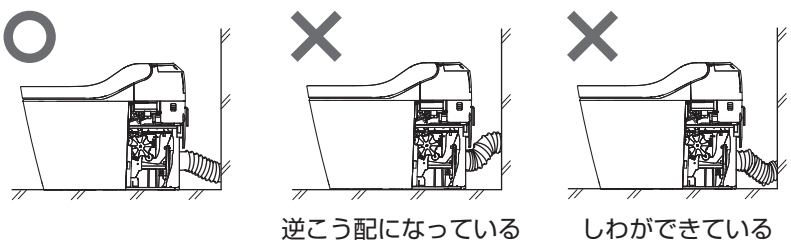
⚠注意

禁止

**●排水ジョイントを逆こう配に
しない**

**●排水ジョイントを無理に曲げ
ない**

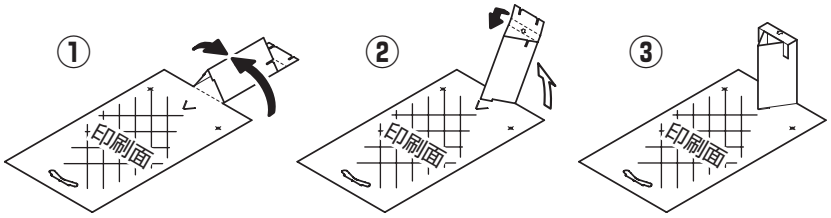
器具の洗浄性能が低下したり、
汚水が器具のトラップ内に逆流し、
水漏れするおそれがあります。



手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください（手洗いに同梱の施工説明書を参照） オプション

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

5 型紙の組み立てと固定片の取り付け



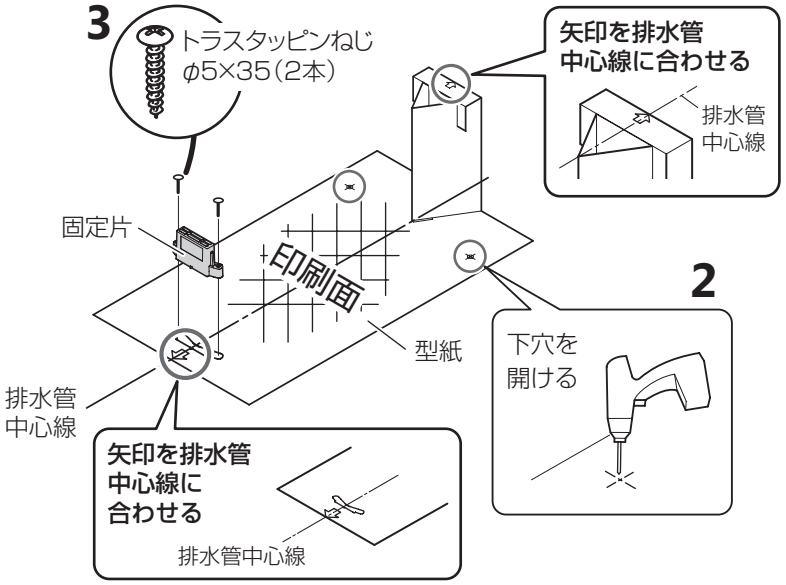
1 型紙を組み立てる
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。

2 **4** でマークした便器取り付け穴に型紙の下穴用の穴を合わせて型紙を置き、φ3の下穴を2か所開ける

型紙の矢印と排水管中心線が合っていることを確認してください。

3 固定片を型紙の切り欠きに合わせて固定する

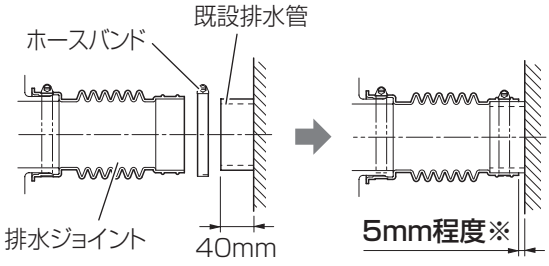
4 型紙を破って取り外す



6 排水管の接続

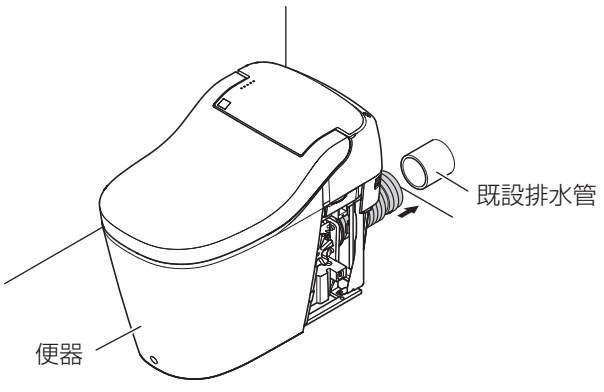
1 排水ジョイントの差込部内周と既設排水管の差込部外周に塩ビ用接着剤を塗り、差し込む

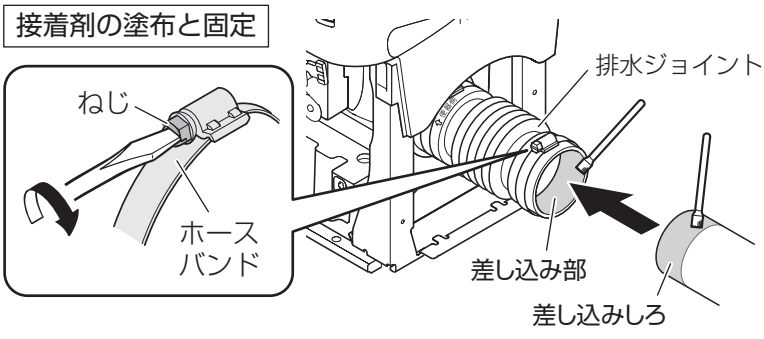
排水管が下図のように奥まで差し込まれていることを確認する



※既設排水管の長さが40mmの場合

2 マイナスドライバーなどで接続部をホースバンドで固定する



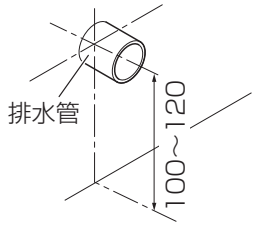


40ページの「便器の取り付け」へすすんでください。

排水ジョイントLを使用する場合

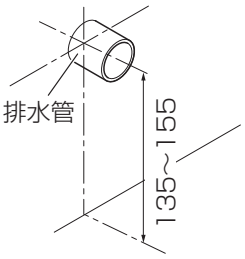
●排水管の中心から床まで
100～120mm

下記手順に従って施工してください。



●排水管の中心から床まで
135～155mm

台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書
7～12ページを参照して
ください。



1 既設排水管の切断

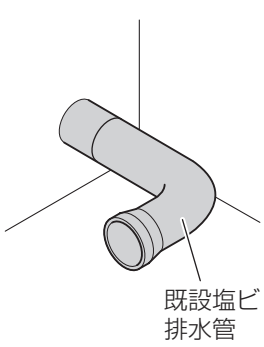
1 既設排水管を便器中心線から115 mmの位置で切断する

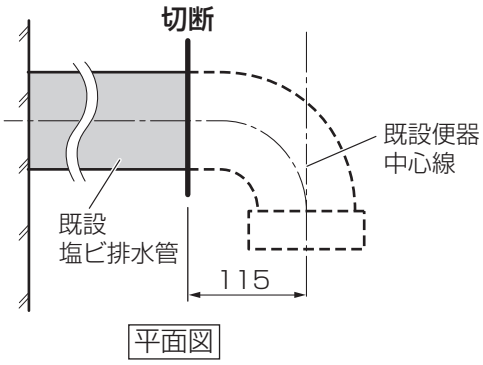
2 既設排水管切断面のバリを取り除く

⚠注意

必ず守る

既設排水管切断面のバリは、必ず取り除く
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

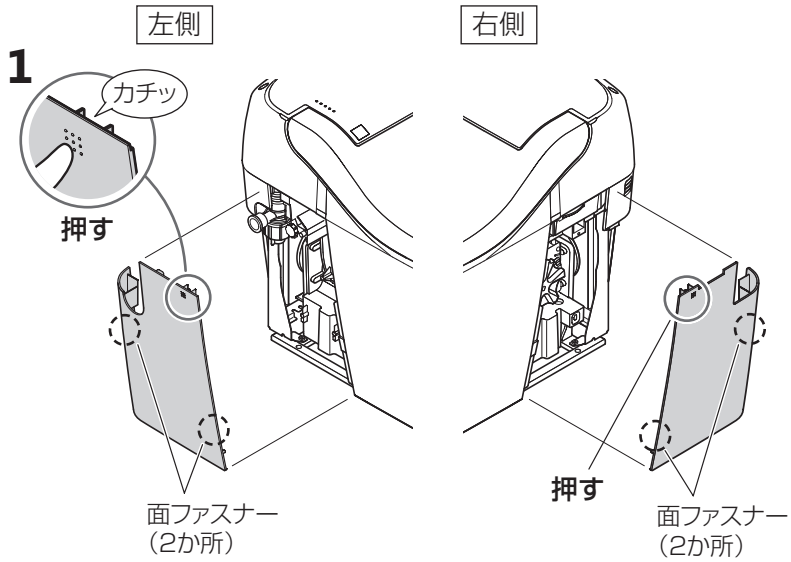




2 サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの ⁘ 部を押す

2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所を外す。）

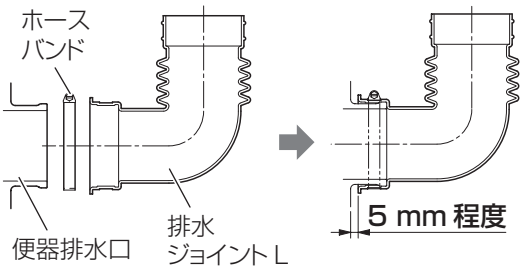


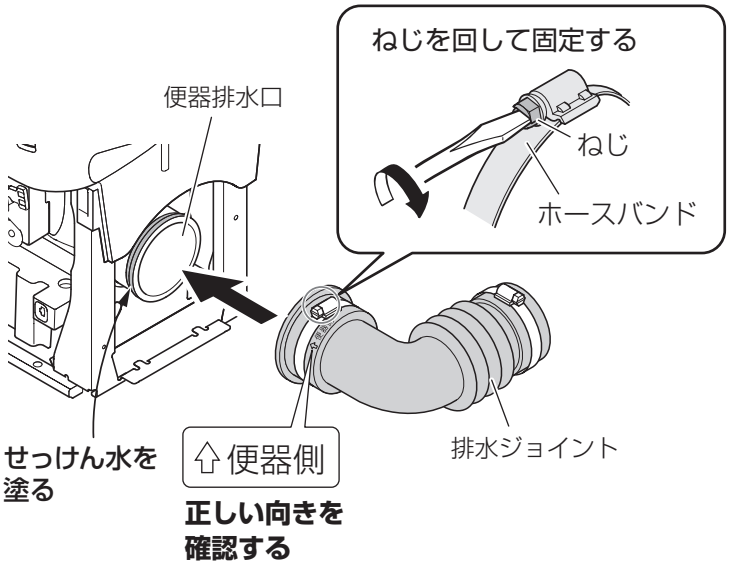
3 排水ジョイントの取り付け

1 便器排水口に排水ジョイントを差し込む

あらかじめ差込部にせっけん水を
塗っておくと、差し込みが容易です。

**便器排水口が下図のように奥まで
差し込まれていることを確認する**



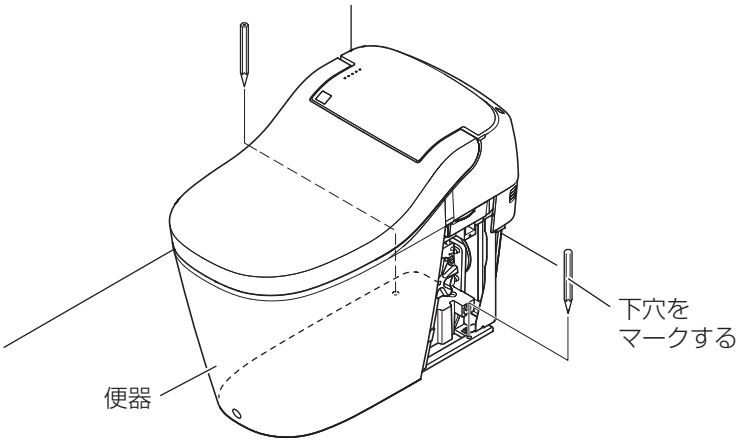


2 マイナスドライバーなどを使用して、
接続部をホースバンドで固定する

4 便器固定位置の確認

便器を固定位置に仮置きし、便器
取り付け穴位置にマークする

・取り付け穴にクッション材がある場合、
貫通させてマークしてください。
・便器がななめになっていないことを確認
してください。



⚠注意

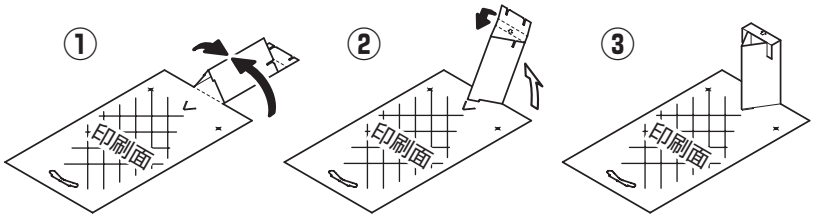
禁止	**排水ジョイントを逆こう配にしない** 器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

専用手洗い背面タイプ(フロート型)を設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください オプション
(手洗いに同梱の施工説明書を参照)

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

5 型紙の組み立てと固定片の取り付け

1 型紙を組み立てる
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。

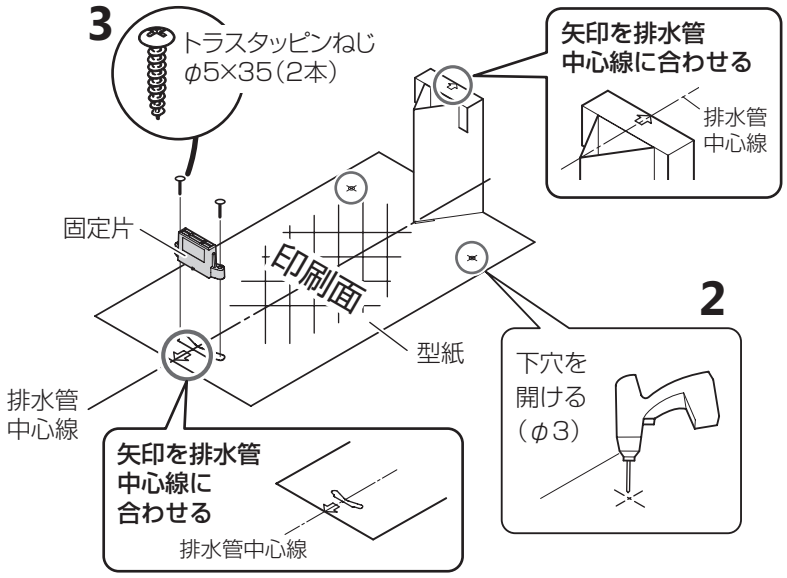


2 **4** でマークした便器取り付け穴に型紙の下穴用の穴を合わせて型紙を置き、φ3の下穴を2か所開ける

型紙の矢印と排水管中心線が合っていることを確認してください。

3 固定片を型紙の切り欠きに合わせて固定する

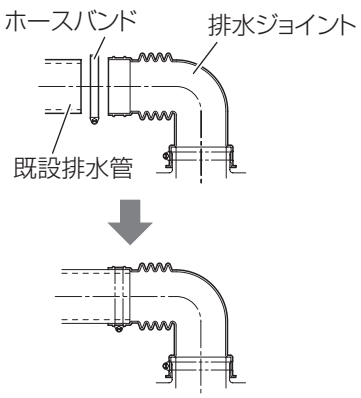
4 型紙を破って取り外す

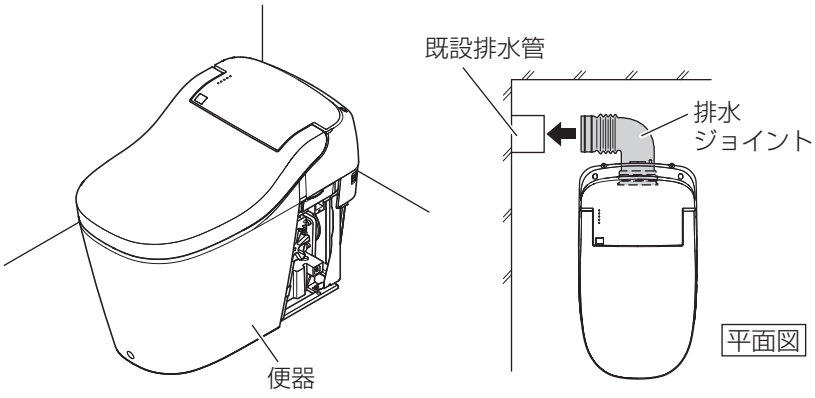


6 排水管の接続

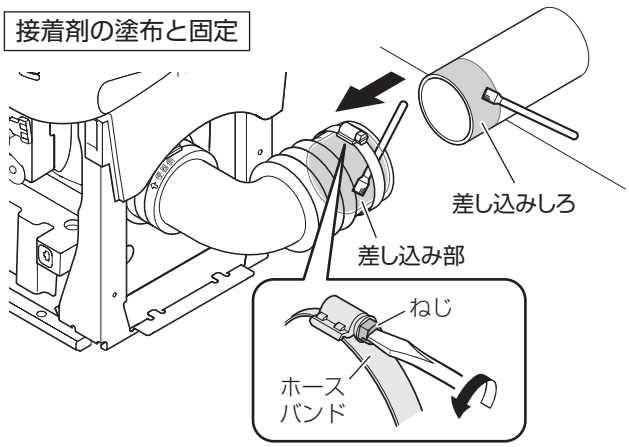
1 排水ジョイントの差込部内周と既設排水管の差込部外周に塩ビ用接着剤を塗り、差し込む

排水管が下図のように奥まで差し込まれていることを確認する





接着剤の塗布と固定



2 マイナスドライバーなどで接続部をホースバンドで固定する

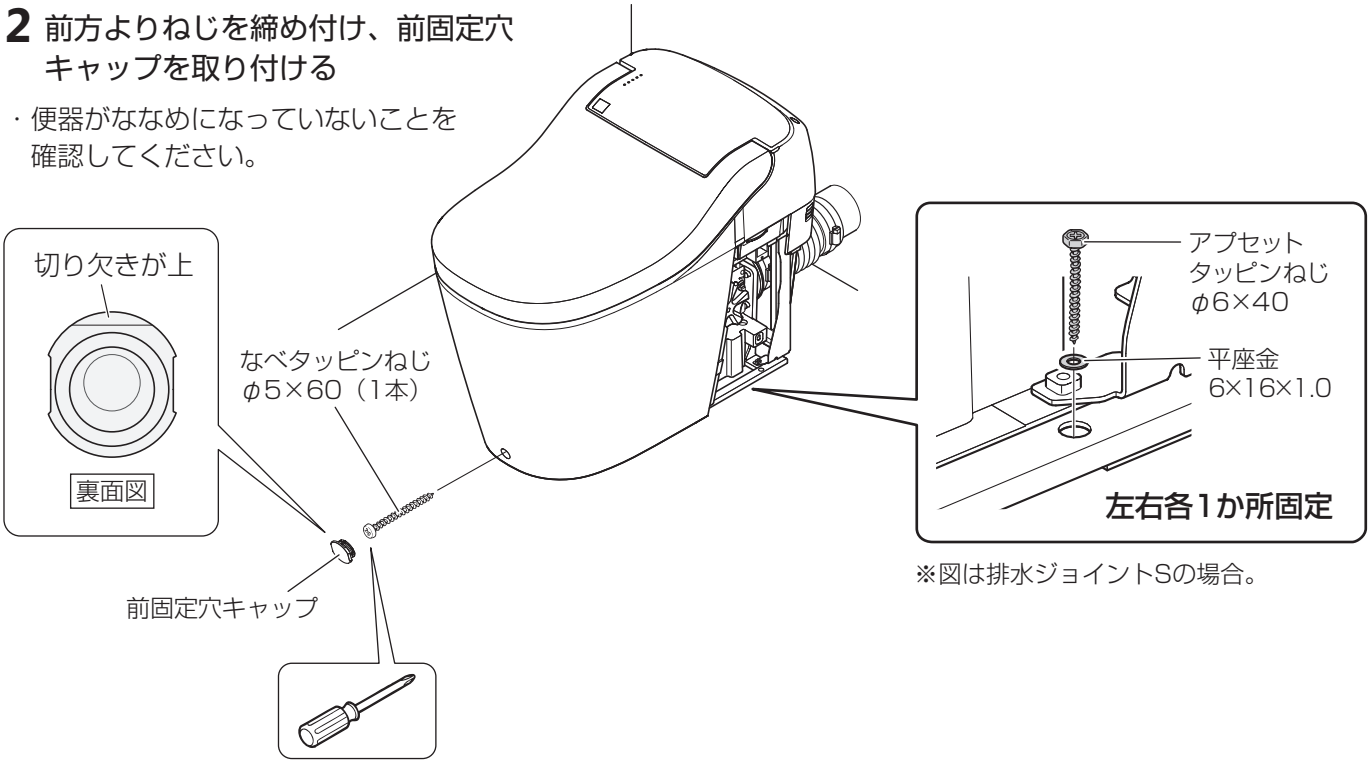
壁排水タイプ共通の施工手順です。

便器の取り付け

1 下穴位置を確認し、ねじ(左右各1か所)で確実に固定する

2 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける

・便器がななめになっていないことを確認してください。



※図は排水ジョイントSの場合。

お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。

⚠警告

禁止

便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない

火災や感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

床からの浮きがないようにしっかりと固定する

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

〔寸法単位：mm〕

止水栓への接続

●給水位置の確認で既設給水位置が給水取付可能範囲にあるか、確認してください。

止水栓と給水ホースを接続する

※給水ホースがねじれたり折れたりした場合は、必ず止水栓の向きを調整してください。
（曲げ半径50 mm以上）
便器洗浄水量などが不足する場合があります。

⚠注意

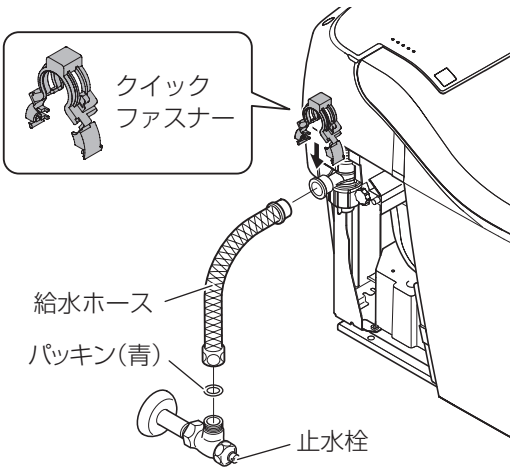
必ず守る

止水栓にがたつきのないことを確認する

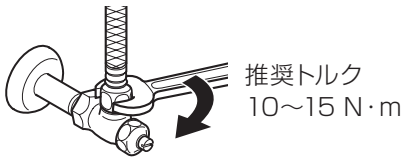
水漏れの原因となります。

向かって左側に給水位置がある場合

給水ホースに止水栓を接続する。



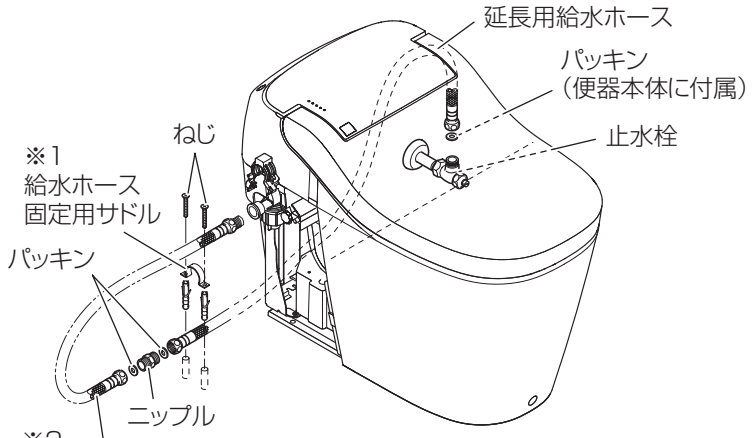
お願い **給水ホースは過大な力で締めすぎないでください。**



向かって右側に給水位置がある場合

オプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を手配し、接続する。

お願い **必ずオプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を使用してください。**
市販のものを使用されると、流量が出ないため洗浄性が悪くなるおそれがあります。



※1 必ず、ニップルの接続部を便器本体に隠れない接続になるよう、サドルで給水ホースを固定してください。（万一、水漏れが起きた場合、早期に発見するため）

※2 右給水の場合は、長さ50 cmの給水ホース（CH100R02）はご使用いただけません。

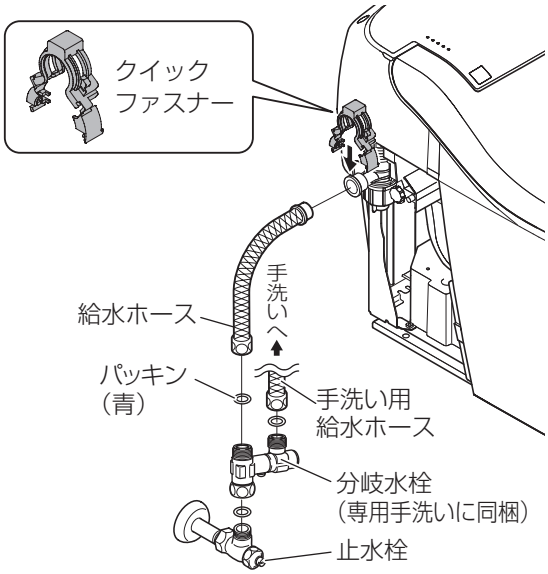
手洗ユニットとセットの場合

給水ホースと手洗い用給水ホースの分岐水栓への取り付け位置に注意してください。

※給水ホースと手洗い用給水ホースの取り付け位置が逆になると、便器、手洗いに適切な流量が供給されません。

止水栓の位置が、手洗いと逆側にある場合

手洗い用給水ホースは、便器本体の後側を通して接続してください。

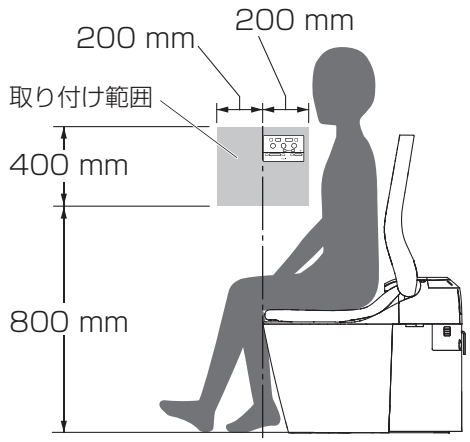


リモコンの準備

1 リモコンからリモコンホルダーを外す

2 リモコンホルダーを取り付ける

取付位置の目安



●お客様と十分ご相談のうえ、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。(「取付位置の目安」参照)

●取り付け前に必ずリモコンの信号が受信できることを確認してください。

●リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受信しますので、本体受信部・リモコン発信部の上部に棚やカウンターなどを設置しないでください。

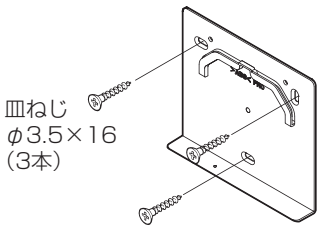
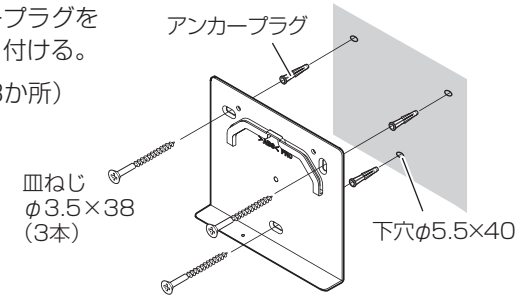
●次のような場合に動作に影響するおそれがあります。

【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあたっている場合】
直射日光をカーテンなどで遮断してください。

【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】
リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。

【同室で2台以上並べて設置される場合】
隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。
もしくは、リモコンのアドレス変更をしてください。(52ページ参照)

■リモコンホルダーの取り付け例

ねじ止めできる壁材	ねじ止めできない壁材
各種合板・厚み5mm以上の壁	石こうボード・タイル・コンクリートなど
同梱の木ねじ3本で壁面に取り付ける。 	下穴を開けてアンカープラグを差し込み、ねじで取り付ける。 下穴：φ5.5×40（3か所） 

3 リモコンに電池を入れる

電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。

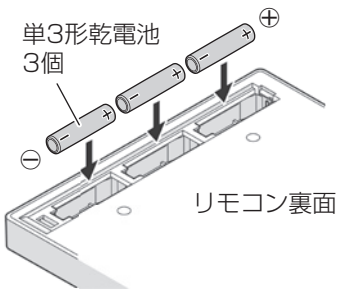
⚠警告

必ず守る

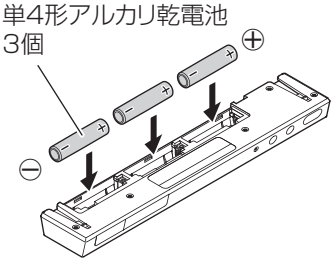
電池の ⊕、⊖ を正しく入れる

取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

フラットリモコンの場合



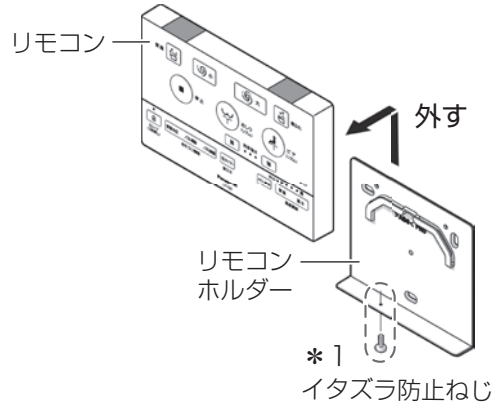
スティックリモコンの場合



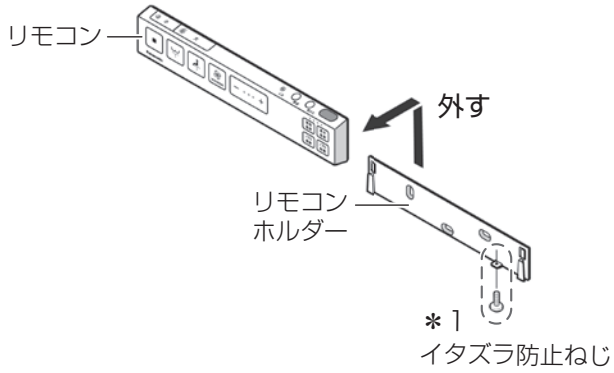
4 リモコンをリモコンホルダーに差し込む

＊1 このねじはCH160＊＊Gのみ使用します。お客様と十分ご相談のうえ、イタズラ防止が必要な場合は、精密ドライバーでねじを固定してください。

フラットリモコンの場合



スティックリモコンの場合



本体への給水と通電

⚠警告

禁止	●電源コードを無理に引っ張ったり押し込んだりしない けがや発火、発煙の原因になります。	必ず守る	●必ず交流100 Vで使用する ●コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 ●アース工事[D種(第3種)接地工事、接地抵抗100 Ω以下]を行う 接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。

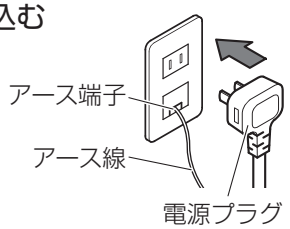
1 アース線を接続する

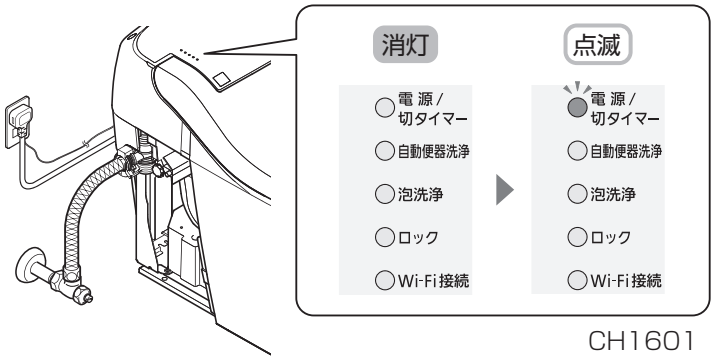
2 止水栓を開く

3 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。

※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。





CH1601

4 温水タンクへ給水する

リモコンの ノズル除菌 ＊ を押してください。

水が出ることを確認してください。
1分経っても水が出ない場合は、再度 ノズル除菌 を押して給水してください。
それでも水が出ない場合は、水道の元栓または止水栓を開いてください。

＊CH160＊＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

5 ■ 停止 を押す

水が止まります。

洗剤タンクの取り付け

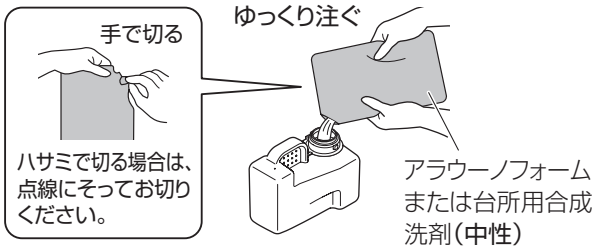
お客様への引き渡しが1か月以上先の場合は、
洗剤を洗剤タンクに入れないでください。

＊CH160＊＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

1 洗剤キャップを取り外す



2 洗剤を入れる

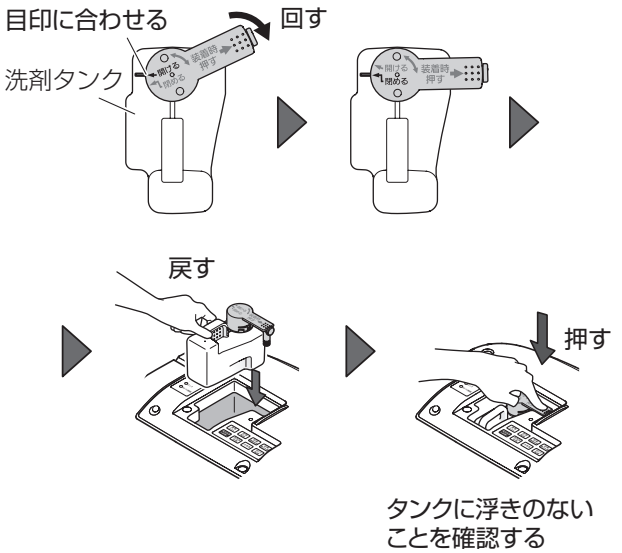


※アラウーノフォームの
パックは強く持つと液が
飛び出ることがあります。

お願い ※種類の異なる洗剤は混ぜないでください。
洗剤が反応して、故障の原因になります。

- **補充のときには、ごみ・ほこりが入らないようにご注意ください。**
- **タンク外に液垂れし本体に付着した場合は、すぐに水ぶきで取り除いてください。**

3 洗剤キャップを閉め、洗剤タンクを戻す



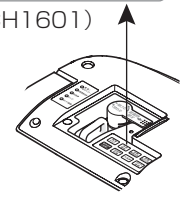
4 洗剤開始 ＊ を押す

モーター音が鳴り、
洗剤供給を開始します。



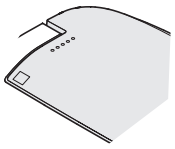
本体ボタン(CH1601)

※約1～2分後「ピー」と鳴って、
洗剤供給が終了してから
次の作業を行ってください。



操作後、トップカバーを閉じてください。

※この操作を完了させないと洗剤
が投入されず、泡が出ません。



5 大 を押して便器洗浄する

- 洗浄後、水面に洗剤の泡が浮いていることを確認してください。
- 泡が出ない場合は、もう一度 洗剤開始 を押してください。

※それでも出ない場合は取扱説明書を参照。

お願い

- **長期不在などで、使用しない場合は洗剤タンクの水洗いと本体内洗浄をしてください。**
- **洗剤キャップを開けたまま使用しないでください。**

お知らせ

- 水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。洗浄性能には影響しません。
  泡の量を調整したい場合は取扱説明書を参照。
- 洗剤開始ボタンを押した当初は、数回の洗浄の間、泡の量が増加する場合があります。故障ではありません。

便器洗浄と水漏れの確認

⚠注意

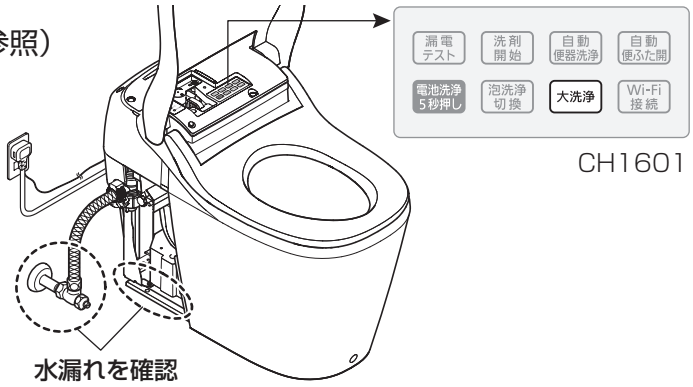
禁止	**設置後、便器本体を一度取り外す場合は、洗剤タンクが入ったまま便器本体を横置き、ななめ、裏返しにしない** 洗剤が漏れ、感電・火災の原因になります。	必ず守る	**止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く** 商品の破損や水漏れの原因になります。

必ず温水タンクの給水を行ってください。（43ページ参照）

本体ボタンの [大洗浄] または

リモコンの [大] を5～6回押し、

止水栓や排水管と本体との接続部から
水漏れがないことを確認する



CH1601

便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）

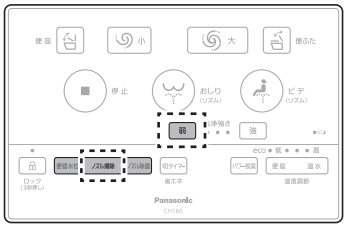
一部の都市では使用条件が決められていることもありますので、下水道局などの指示に従い、
増量の必要がある場合は、増量モードに設定してご使用ください。

<フラットリモコン>

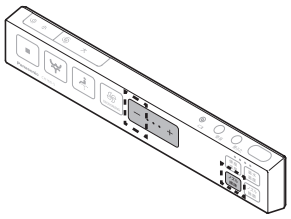
[ノズル掃除] と [弱] を同時に2秒以上押すごとに、洗浄水量が切り替わります。

<スティックリモコン>

[ノズル掃除] と [－ ・・・ ＋]（マイナス） を同時に2秒以上押すごとに、洗浄水量が切り替わります。



フラットリモコン



スティックリモコン

●CH160＊＊G（フラットリモコン）の場合＊1：[ノズル洗浄] と [－] を同時に2秒以上押す。

●CH160＊＊G（スティックリモコン）の場合＊1：[管理モード] と [ ] を同時に2秒以上押す。

＊1…CH160＊＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。



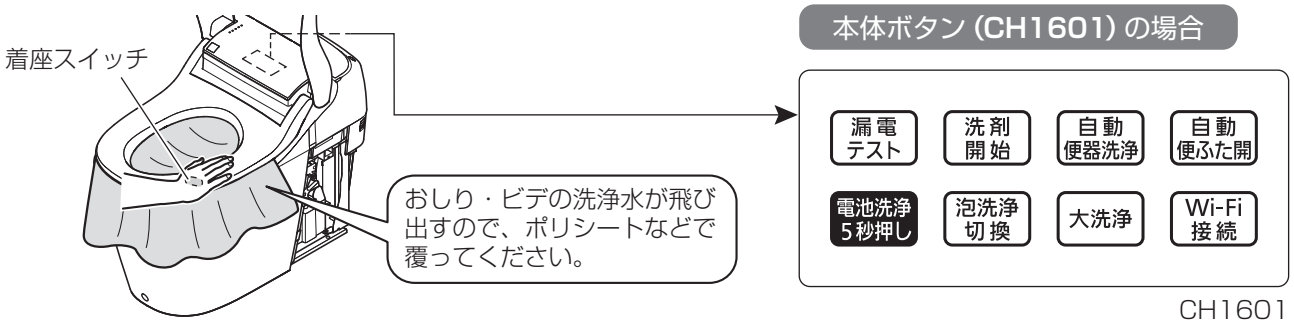
出荷時は標準に設定しています。

＊2…CH1601＊＊Kは標準（4.8L）、CH160＊＊Xは標準（5.5L）

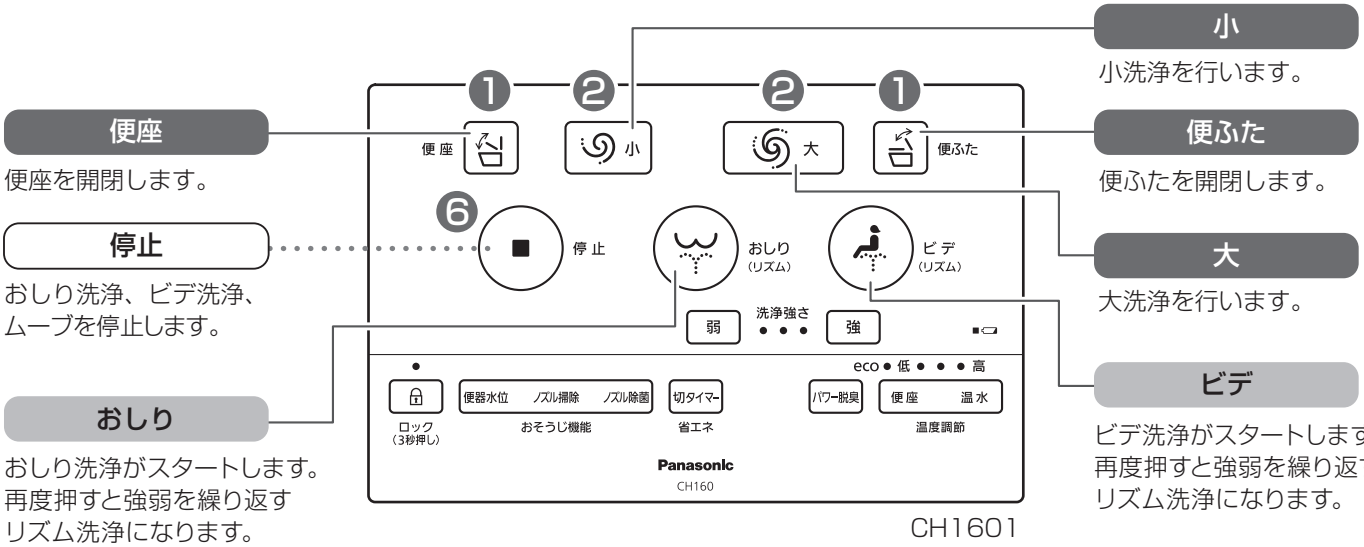
お知らせ
- 下水管の設置条件が悪い場合、（下水本管までの距離が長い・下水管の曲がり部が多い・下水管こう配が緩いなど）洗浄水量が少ないと汚物が下水管内で詰まるおそれがあります。洗浄水量を増量モードにしてご使用ください。ただし、小洗浄の洗浄水量の増量はできません。
- 下水管の設置条件については、水道工事事業者（施工店）に確認してください。

試運転　下記手順に従って、各機能をチェックしてください。

■CH1601・CH1601＊G　※イラストはCH1601で説明しています。



フラットリモコン（CH1601・CH1601＊G）の場合



---

❶ 便座・便ふたが、スムーズに開閉しますか。

▼

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
初めの数回は、泡が出ないことがあります。
その場合は、再度本体ボタンの［洗剤開始］を押してください。
（約1分～2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください）
それでも泡が出ない場合は…
- 洗剤タンクが十分差し込まれていない ➡ 最後まで押し込む
- 洗剤が不足している ➡ 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

▼

❸ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の**着座スイッチ部を押さえながら**ボタンを押す。

❹❺ 電源、自動洗浄、洗剤切換ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。
■停止 で止まりますか。

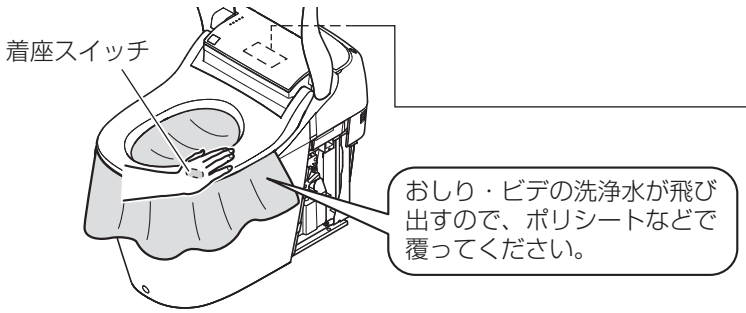
▼

動作に異常がみられる場合は、取扱説明書「故障かな?」をご確認ください。

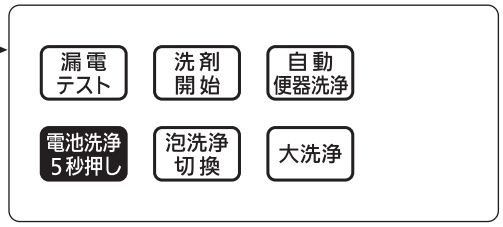
以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。

＊ CH1601＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

■CH1602・CH1602＊G　※イラストはCH1602で説明しています。



本体ボタン（CH1602）の場合



CH1602

フラットリモコン（CH1602・CH1602＊G）の場合

小
小洗浄を行います。

ハネ抑制
水面が下がり、泡で覆われます。

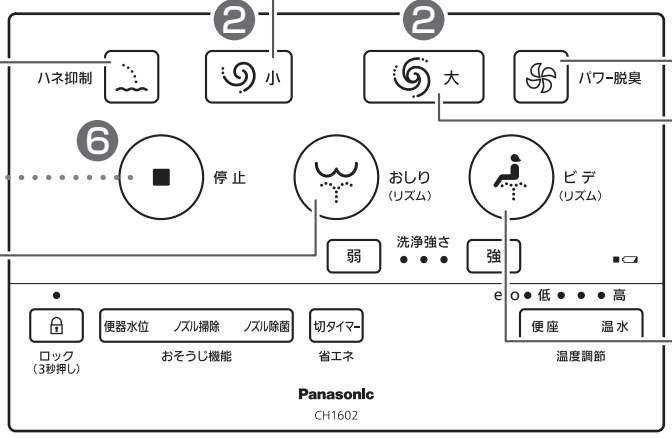
パワー脱臭
オート脱臭（着座時）の約1.5倍の風量で脱臭します。

停止
おしり洗浄、ビデ洗浄、ムーブを停止します。

大
大洗浄を行います。

おしり
おしり洗浄がスタートします。再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

ビデ
ビデ洗浄がスタートします。再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。



CH1602

---

❶ 便座・便ふたが、手でスムーズに開閉しますか。

▼

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
初めの数回は、泡が出ないことがあります。
その場合は、再度本体ボタンの［洗剤開始］＊を押してください。
（約1分～2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください）
それでも泡が出ない場合は…
- ●洗剤タンクが十分差し込まれていない ➡ 最後まで押し込む
- ●洗剤が不足している ➡ 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

▼

❸ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の**着座スイッチ部を押さえながら**ボタンを押す。

❹❺ 電源、自動洗浄、洗剤切換ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。
■停止 で止まりますか。

▼

動作に異常がみられる場合は、取扱説明書「故障かな?」をご確認ください。

以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。

＊ CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

スティックリモコン（CH1601）の場合

大

大洗浄を行います。

小

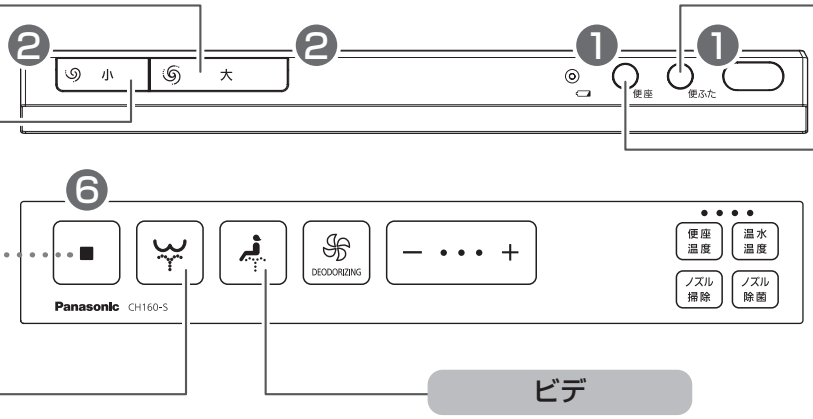
小洗浄を行います。

停止

おしり洗浄、ビデ洗浄を停止します。

おしり

おしり洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。



便ふた

便ふたを開閉します。

便座

便座を開閉します。

ビデ

ビデ洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

スティックリモコン（CH1602・CH1602＊G）の場合

※イラストはCH1602で説明しています。

大

大洗浄を行います。

小

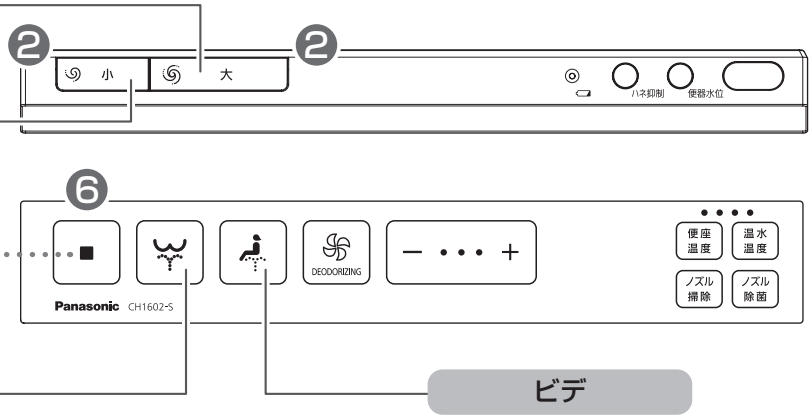
小洗浄を行います。

停止

おしり洗浄、ビデ洗浄を停止します。

おしり

おしり洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。



ビデ

ビデ洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

---

❶ 便座・便ふたが、スムーズに開閉しますか。

▼

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。

初めの数回は、泡が出ないことがあります。

その場合は、再度本体ボタンの 洗剤開始 ＊を押してください。

（約1分～2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください）

それでも泡が出ない場合は…

- ●洗剤タンクが十分差し込まれていない ➡ 最後まで押し込む
- ●洗剤が不足している ➡ 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

▼

❸ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の**着座スイッチ部を押さえながら**ボタンを押す。

❹❺ 電源、自動洗浄、洗剤切換ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。

■ 停止 で止まりますか。

▼

動作に異常がみられる場合は、取扱説明書「故障かな?」をご確認ください。

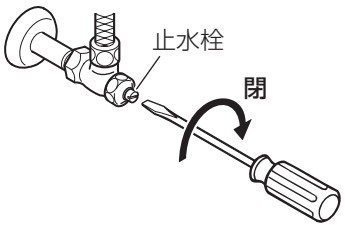
以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。

＊ CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除

施工直後は、ストレーナに配管内の水あかやごみ、シールテープ、壁裏配管の劣化による
鉄さびなどが詰まり、洗浄性能が得られなくなります。
試運転後、必ずストレーナの掃除をしてください。

1 止水栓を閉める



⚠注意

禁止 **止水栓を開いたままストレーナを外さない**
水が噴き出し拡大損害になります。

2 水受けをストレーナの下に置く

お願い

- **必ず水受けを置いてください。**
  50cc～100cc程度水が出るので、ストレーナを締めるまで水受けを用意してください。
- **便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。**

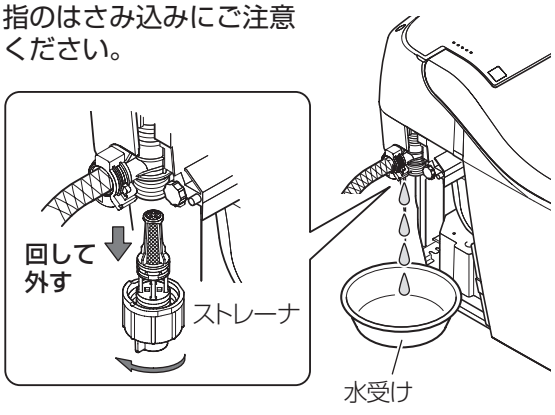
3 リモコンの 大 または

本体ボタンの 大洗浄 を押す

「ピピピッピピピッ」と鳴り、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

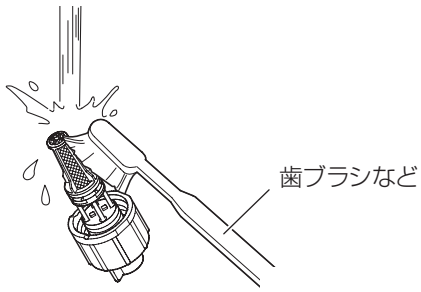
4 ストレーナを外す

指のはさみ込みにご注意ください。



5 ストレーナを水洗いする

歯ブラシなどを使い、きれいに水洗いする。

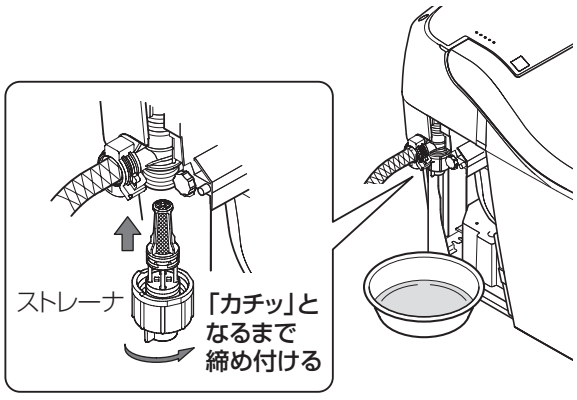


⚠注意

必ず守る
- **ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする**
- **ストレーナはしっかりと締め付ける**
  水漏れの原因になります。

6 ストレーナを取り付け、締め付ける

指のはさみ込みにご注意ください。



7 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

水抜き方法（施工後、長期間使用しない場合）

長期間使用しないときは、本体の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。
また、洗剤タンクを取り外して水洗いしてください。

＊CH160＊＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

1 止水栓を閉める

2 水受けをストレーナの下に置く

お願い **●必ず水受けを置いてください。**

約700cc程度水が出るので、ストレーナを締めるまで水受けを用意してください。

●便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。

3 リモコンの 大 または

本体ボタンの 大洗浄 を押す

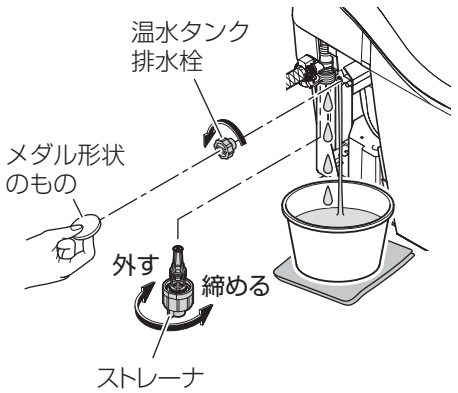
「ピピピッピピピッ」と鳴り、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

4 水抜きをする

① ストレーナを外す。

② 温水タンク排水栓をメダル形状のもので外す。

③ 本体ボタンの 自動便器洗浄 ＊ を5秒間押す。



④ 水が出なくなったら ■ 停止 を押す。

5 アラウーノ専用手洗い連動水栓をご使用の場合

手洗いの施工説明書に従って水抜きを行ってください。

6 ストレーナおよび温水タンク排水栓を元通りに取り付ける

7 洗剤タンクを水洗いし、洗剤の経路を洗浄する

取扱説明書60ページを参照してください。

⚠注意

禁止	**止水栓を開いたままストレーナを外さない** 水が噴き出し拡大損害になります。
必ず守る	**ストレーナはしっかりと締め付ける** 水漏れの原因になります。

8 電源プラグを抜く

9 リモコンの乾電池を抜く

お願い

●便器ボール面の水たまりがなくならないように定期的に水の補充を行ってください。

封水切れとなり、下水臭気・腐食性ガスが逆流し、金属・電子部品の腐食・故障の原因となります。

●定期的に水の補充が行なえない場合、便器内のため水を排水し、水を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。

シーリング方法 CH160＊＊Gのみ

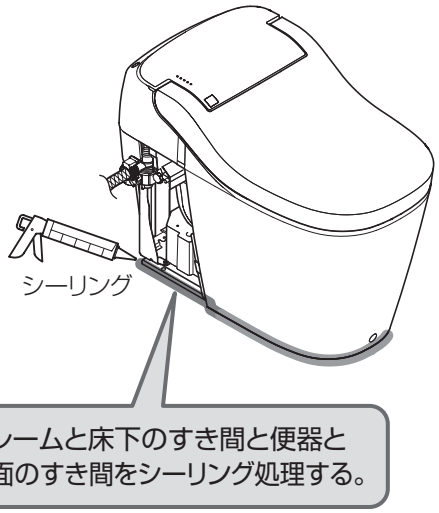
シーリング材が乾いてから、サイドカバーの取り付け（下記参照）を行ってください。

現場手配…シーリング材

フレームと床面のすき間、および便器と床面のすき間をシーリング処理する

お願い

サイドカバーは必ず取り外してください。



サイドカバーの取り付け

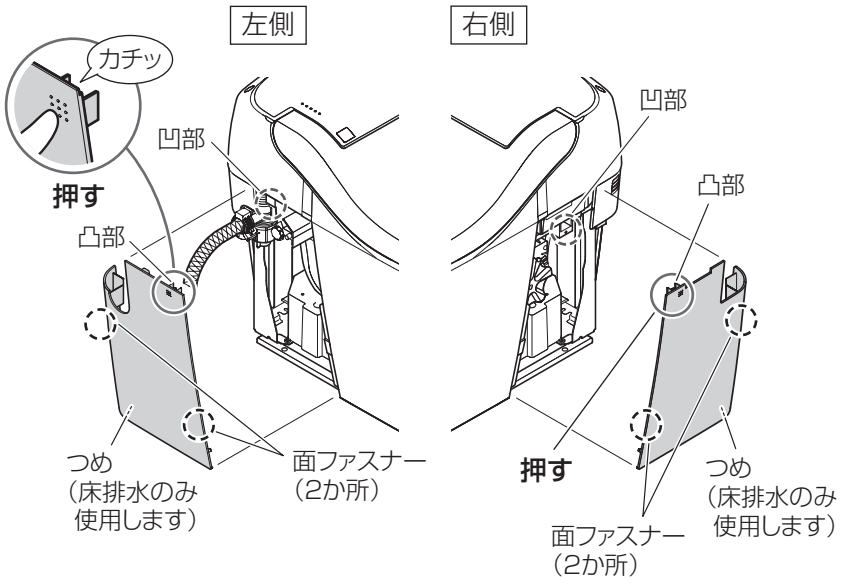
1 サイドカバーの凸部を便器の凹部に合わせ、カバーの ⁘ 部を押す
（カチッと鳴ります）

2 面ファスナーとつめの部分を押し込む
（面ファスナー2か所と、つめ1か所）

お願い

サイドカバーと床の間をシーリングしないでください。

サイドカバーが外れなくなります。

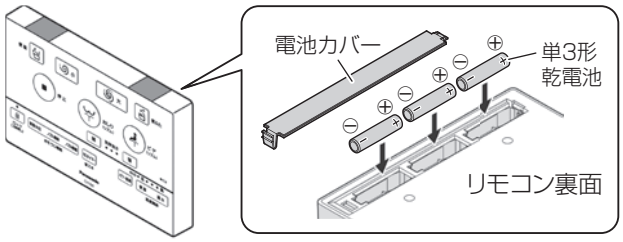


リモコンのチャンネル変更

アラウーノを２台以上設置する場合は、チャンネル変更を実施してください。

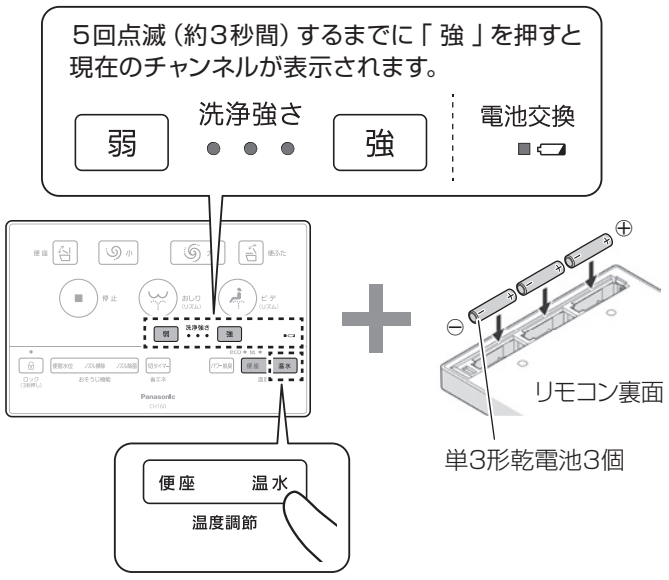
1 リモコンの乾電池3個を取り外す

内部回路を完全に放電させるために、
リモコンのおしりボタンを複数回押してください。



フラットリモコンの場合

2 リモコンの 温水 を押しながら乾電池を入れる

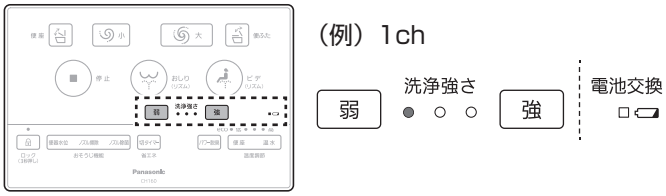


3 洗浄強さLEDの 弱 強 を押し、点灯位置が変わるので希望チャンネルに合わせる

※設定後、しばらく放置するか、「弱」「強」スイッチ以外のスイッチを押すと、LEDが消灯してアドレス変更モードを終了します。

30秒以内に完了しないとチャンネル変更モードが終了します。

初期設定1ch ※1～10chまで可能



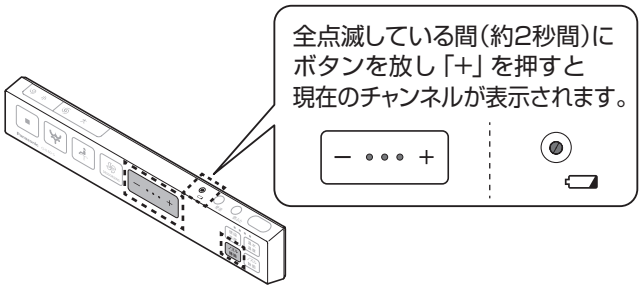
● ：点灯　○ ：消灯

チャンネル	ランプ点灯位置
1ch	弱 洗浄強さ ● ○ ○ 強 電池交換 □
2ch	弱 洗浄強さ ○ ● ○ 強 電池交換 □
3ch	弱 洗浄強さ ○ ○ ● 強 電池交換 □
4ch	弱 洗浄強さ ○ ○ ○ 強 電池交換 ■
5ch	弱 洗浄強さ ● ● ○ 強 電池交換 □
6ch	弱 洗浄強さ ● ○ ● 強 電池交換 □
7ch	弱 洗浄強さ ● ● ● 強 電池交換 □
8ch	弱 洗浄強さ ● ○ ○ 強 電池交換 ■
9ch	弱 洗浄強さ ● ● ○ 強 電池交換 ■
10ch	弱 洗浄強さ ● ● ● 強 電池交換 ■

スティックリモコンの場合

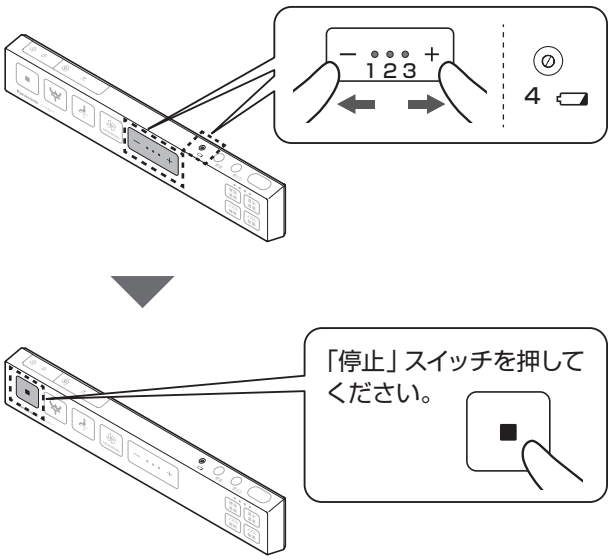
2 リモコンの ノズル掃除 を押しながら乾電池を入れる

※CH1602＊Gは ノズル洗浄



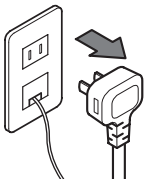
3 洗浄強さ − ••• + を押し、点灯位置が変わるので希望チャンネルに合わせる

初期設定1ch ※1〜4chまで可能



4 アラウーノ便器本体の電源プラグを抜く

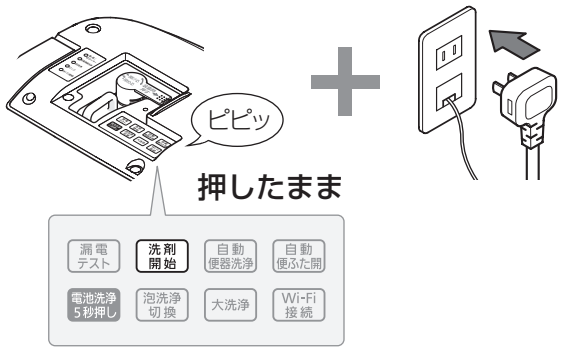
10秒以上放置してください。



5 アラウーノ本体ボタンにある 洗剤開始 を押したままで、電源プラグを差し込む

※電源プラグを差し込んだ後「ピッ」音が鳴ります。

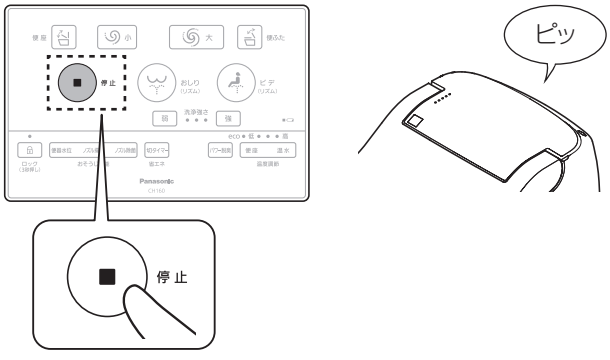
『洗剤開始』スイッチは「ピピッ」音がするまで、5秒以上押し続けてください。



本体ボタン(CH1601)

6 5秒以内に、リモコンの ■ 停止 を押す

※変更が完了するとチャンネル変更確認音「ピッ」が鳴ります。



●設定完了後、洗浄などで設定確認および信号が干渉しないか確認してください。

●リモコン裏面にチャンネル変更がわかるように「2ch」など記載しておきましょう。

MEMO

MEMO

施工後の確認

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	浴室内など、湿気の多い場所に設置していませんか？	
2	中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？	
3	便器にがたつきがありませんか？	
4	便器は床に固定しましたか？	
5	「止水栓」は開いていますか？	
6	交流100 V 15 Aに適した電源コンセントに接続していますか？	
7	アース線はアース端子に接続していますか？	
8	電源コンセントにがた・緩みはありませんか？	
9	サイドカバーは確実に取り付けていますか？	
10	洗浄ボタンを操作し、次項を確認してください。	
	●大洗浄でトイレットペーパーが確実に流れますか？	
	●洗浄水は、一周まわっていますか？一周まわらない場合は、 ①水圧を確認してください。 ②ストレーナを掃除してください。	
	●便器と床面に水漏れはありませんか？	
	●配管部の水漏れはありませんか？ （事前に配管をふき、トイレットペーパーを当て、水漏れがないことを確認してください。）	
	●大洗浄時に泡は出ていますか？	
11	温水洗浄便座は正常に動作しているか確認しましたか？	
12	ストレーナの掃除をしましたか？	
13	長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？（この場合、便器ボール面の水の補給が必要です。）	
14	長期間使用しない場合、ため水を足すか、ビニール袋に水を入れて排水口をふさぐようお客様にお伝えください。	

引き渡し

取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明ください。
施工説明書、取扱説明書、保証書（別添付）に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
※CH160＊＊Gの場合、保証書は取扱説明書付きです。

施工日	施工店名	担当者

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2021-2024
CH922016011
2024年12月発行　D0221-7124